

2020年2月

一般社団法人全国高等学校PTA連合会・株式会社リクルートマーケティングパートナーズ 合同調査

第9回
「高校生と保護者の進路に関する意識調査」
2019年
報告書

少子高齢化・人口減やグローバル化や技術革新・AIの活用の進展。学習指導要領改訂や授業方法内容の改革など、急激な社会の変化の中で、高校生の進路観の育成、進路先の決定における保護者の関わりがますます重要になっています。行政、学校教育はむろんですが、高校生にとって最も身近な大人である「保護者」ができることはなんでしょうか。

高校生と保護者の進路をめぐる意識と行動の実態を調べ、両者のよりよい意思疎通のあり方を研究するとともにその成果を広く社会に提言することを目的に、一般社団法人全国高等学校PTA連合会と株式会社リクルートマーケティングパートナーズは、全国の高校生をもつ保護者とその子どもに対して、コミュニケーションの実態と様々な進路観に関するアンケート調査を2003年より隔年で実施してまいりました。その9回目となる調査の分析結果をまとめましたので、ここにご報告申し上げます。

一般社団法人全国高等学校PTA連合会
会長 牧田和樹
進路対策委員長 山田博章

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ
まなび事業統括本部長 山口文洋

▼本調査や「キャリアガイダンス」に関するお問い合わせ▼

(株)リクルートマーケティングパートナーズ リクルート進学総研

<http://souken.shingakunet.com/>

※ この調査結果については、キャリア教育専門誌『キャリアガイダンス』Vol.431(リクルート)にも掲載しています。

※ 出版・印刷物等へデータ転載する際には、“一般社団法人全国高等学校PTA連合会・(株)リクルートマーケティングパートナーズ調べ”と付記していただきますようお願い申し上げます。

調査結果トピックス

I 進路選択における親子コミュニケーションの実態

- 進路について親子で「話す」割合は、高校生は82%、保護者は89%。前回同様、「話す」との認識は保護者が高いが、認識のズレは縮小。

・高校2年生の時点で、卒業後の進路について保護者との対話頻度について、高校生の「よく話をする」は22%、「話す・計」は82%。一方、保護者の「話す・計」は89%。高校生よりも保護者のほうが「話している」認識が高いが、前回に比べて差は小さく、認識のズレは縮小。【5ページ】

II 進路・将来にまつわる考え

- 家庭の経済事情が進路決定に「影響がある」と回答した保護者は75%。「影響がある」と回答した割合は、子どもに進学してほしいと思っている保護者の77%、就職してほしいと思っている保護者の73%であり、いずれも7割を上回る。

・家庭の経済事情の進路決定への影響について、「非常に影響がある」と回答した保護者は32%、「影響がある・計」で75%。希望進路別にみると、「影響がある・計」は進学希望者全体が77%、就職希望者が73%であり、いずれも7割超が影響があると回答している。【30ページ】

III 進路・将来にまつわる期待と不安

- 進路を考えると、高校生は「不安」が69%、「楽しい」が27%。進路について親子で話す高校生は、「楽しい」が相対的に高く、前向き。

・高校生の進路を考えるとときの気持ちは「不安な気持ち」「どちらかというと不安」あわせて69%が不安と感じている。一方、「楽しい・計」は27%。進路対話頻度別にみると、話す層は話さない層に比べ「楽しい・計」の割合が高く、進路を考えることに前向きな姿勢がみられる。【34ページ】

- 『社会人基礎力』のうち、将来必要とされるが現在は不足している高校生の能力は、「主体性」「発信力」「実行力」。

・経済産業省で定義されている『社会人基礎力』:3つの能力(12の能力要素)について、「将来必要とされる能力」を3つまで高校生に選んでもらったところ「主体性」(55%)、「実行力」(38%)、「発信力」(36%)が挙げられた。同様に「現在持っている能力」について尋ねたところ、「傾聴力」(38%)、「規律性」(35%)、「柔軟性」(27%)が挙げられた。

・高校生が考える「将来必要とされるが、現在は不足している能力」は、「主体性」「発信力」「実行力」で必要-現状の差が顕著。

・保護者にも尋ねた結果、子どもに現在不足している能力は同様に「主体性」「発信力」「実行力」だった。【42~43ページ】

- 未来社会が「好ましい」との回答は、高校生が51%、保護者が37%。保護者は「好ましい」認識が傾向増加。

・これからの社会について「とても好ましい」「まあまあ好ましい」と感じている高校生は51%、保護者は37%。「好ましい」という回答は、高校生は前回と同程度。一方、保護者は漸増傾向であり、肯定的な認識に転じつつある。

・高校生が「好ましい」と思う理由としては、「少子高齢化」を危惧する反面、「グローバル化」が若い人に有利、「AIにより便利になる」「個人が尊重される社会に変わってきている」などの回答が挙げられた。【46~47ページ】

IV 家庭での教育

- 「なぜ勉強しなければいけないのか」を話し合った経験について、「ある」は高校生が19%、保護者が52%、「将来なぜ働かなければならないか」を話し合った経験について、「ある」は高校生が16%、保護者が47%。いずれも保護者が話していると思うほど、高校生には伝わっていない。

・「なぜ勉強しなければいけないのか」保護者と話し合ったことがあるかについて、高校生の19%が「ある」と回答。また、「将来なぜ働かなければならないか」については、高校生の16%が「ある」。一方、保護者は、「なぜ勉強しなければいけないのか」の「ある」が52%、「将来なぜ働かなければならないか」の「ある」が47%であり、いずれも高校生のスコアを大きく上回っている。勉強する理由・働く理由は、保護者の「話した」との認識ほど子どもに伝わっていない。【51~52ページ】

V グローバル化社会・AIの普及発達に対する高校生と保護者の意識

- 高校生の将来への社会・経済のグローバル化の影響は、高校生の61%・保護者の57%が「ある」。高校生と保護者のいずれも「ある」との認識が広がっている。

・高校生の将来に社会・経済のグローバル化の影響が「ある」と思う高校生は61%、保護者は57%。高校生と保護者のいずれも「ある」のスコアが増加傾向にあり、グローバル化の影響があるとの認識が広がっている。【55ページ】

VI 教育改革の評価と高校での対応状況

- 教育改革の内容のうち、期待できるものの上位には、高校生と保護者のいずれも『高校の教育』の項目が並ぶ。一方、不安であるものの上位には、『大学入学者選抜』の項目が並ぶ。

・教育改革の内容について、高校生が「期待・計」と回答したものの上位は、「ICT技術を活用」(70%)、「高校と大学、専門学校が連携」(64%)、「学び合う授業」(63%)であり、『高校の教育』『大学の教育』の項目が並ぶ。一方、「不安・計」の上位は、「大学入学共通テスト」(60%)、「英語の4技能が評価される」(52%)、「英語資格試験」(51%)と『大学入学者選抜』に関する項目が並ぶ。

・保護者が「期待・計」と回答したものの上位は、「探究学習」(62%)、「ポートフォリオ」(57%)、「学び合う授業」(56%)とすべて『高校の教育』の項目。一方「不安・計」上位は「大学入学共通テスト」(56%)、「英語資格試験」(51%)、「英語の4技能が評価される」(50%)であり、すべて『大学入学者選抜』の項目。高校生と保護者のいずれも高校の教育の改革には期待、大学入学者選別の改革は不安と評価しているようだ。【60~63ページ】

VII 学校・教師への要望

- 保護者が高校の進路指導に要望することは、「進路に関する情報提供」と「進路・職業を知る体験・実習の機会」

・高校の進路指導に対する保護者の要望は、「もっと進路に関する情報提供をしてほしい」(45%)がトップ。以下「進路について考えさせる体験・行動の機会をもっと設けてほしい」(41%)、「職場見学・インターンシップなど実際の仕事を知る機会をもっと設けてほしい」(29%)、「もっと職業に関する知識をもって指導してほしい」(27%)、「もっと進学や就職に関して具体的に指導してほしい」(26%)と続いており、進路に関する情報提供および進路・職業を知る体験・実習の機会が欲しいとの要望が挙げられている。【70ページ】

コンテンツ

調査概要・回答者プロフィール	4
I 進路選択における親子コミュニケーションの実態	
1. 進路について話す頻度	5
2. 進路について話す内容	6
3. 進路について話さない理由	7
4. 保護者がよく使う言葉／その言葉をどう感じるか	8
5. 希望進路・進路の悩みの共有度	10
6. 保護者からのアドバイス／アドバイスしてほしい内容	12
7. 保護者がアドバイスすることの困難	13
8. 進路選択についての相談相手	15
9. 進路選択について影響を受ける人物	16
10. 目指している・あこがれている人／その理由	18
11. 進路選択について保護者が取る態度	19
12. 保護者の行動・態度	20
13. 保護者にしてほしい行動・態度	21
14. 保護者にやめてほしい行動・態度	22
15. 保護者の進路選択行動	23
II 進路・将来にまつわる考え	
16. 高校卒業後の希望進路	26
17. 進学先検討で重要な情報	27
18. 進学先検討の重視点	28
19. 家庭の経済事情の進路決定への影響	30
20. 進学に関する経済支援の認知	31
III 進路・将来にまつわる期待と不安	
21. 進路意識と将来への自信	33
22. 進路を考えるとときの気持ち	34
23. 進路選択についての気がかり	35
24. 将来についての気がかり	36
25. 将来就きたい・就いてほしい職業／その理由	39
26. 社会人基礎力:現在持っている能力と将来必要とされる能力	42
27. 社会人基礎力:必要な能力を身につけるために有効な活動	44
28. 未来社会への認識:これからの社会は好ましいか／その理由	46
IV 家庭での教育	
29. 日常のコミュニケーションや行動／そのうち教育改革を踏まえて特に心掛けたいこと	48
30. なぜ学び・働くのかについての話し合い／その内容	51
31. 保護者の仕事についての会話／その内容	53
32. キャリア教育の認知と期待／意見・要望	54
V グローバル化社会・AIの普及発展に対する意識	
33. 将来の進路に対するグローバル化社会の影響	55
34. グローバル社会で通用する人材になりたい(なってほしい)か／その理由	56
35. 留学したい(させたい)か	58
36. AI(人工知能)などの普及・発展の将来への影響	59
VI 教育改革の評価と高校での対応状況	
37. 教育改革への期待と不安	60
38. 高校での教育改革への対応状況	65
VII 学校・教師への要望	
39. 家庭と学校の役割に関する認識	68
40. 進路指導への要望	69

調査概要・回答者プロフィール

▶ 調査概要

- 調査実施者 一般社団法人全国高等学校PTA連合会 / 株式会社リクルートマーケティングパートナーズ
- 調査対象 全国の高校2年生とその保護者
全国高等学校PTA連合会より依頼した9都道府県の各3校ずつ計27校の公立高等学校
2年生2クラス分の高校生と保護者
- 調査期間 2019年9月1日～10月25日
- 調査方法 学校を通じた質問紙による自記式調査
①高校生：ホームルームにてアンケートに回答
②保護者：高校生から保護者へアンケートを手渡し
③学級担任が高校生と保護者分を取りまとめ、その後学校責任者が学校分として返送
- 有効回答数 高校生1,997人 ※全問無回答1人を除く
保護者1,759人 ※全問無回答6人を除く

▶ 回答者プロフィール

【高校生】

- 性別 男子47.0% 女子48.5% その他1.1% (無回答3.4%)
- 所属学科 普通科71.3% 専門学科21.8% 総合学科6.9%
- 地域分布 北海道11.5% 青森県11.3% 山梨県11.2% 東京都11.9% 石川県11.8% 愛知県10.5%
和歌山県10.5% 鳥取県11.7% 熊本県9.7%
- 高校卒業後の希望進路
大学72.1% 短大1.7% 専門職大学0.5% 専門職短大0.2% 専門学校9.1%
海外の大学等0.3% 就職15.0% その他0.9% (無回答0.5%)

【保護者】

- 続柄 父親11.6% 母親85.3% その他0.5% (無回答2.6%)
- 子どもの性別 男子47.4% 女子50.0% その他0.2% (無回答2.4%)
- 所属学科 普通科 73.2% 専門学科 20.7% 総合学科6.1%
- 地域分布 北海道9.4% 青森県12.6% 山梨県12.5% 東京都11.9% 石川県12.3% 愛知県9.8%
和歌山県9.1% 鳥取県13.0% 熊本県9.4%
- 子どもの高校卒業後の希望する進路
大学57.2% 短大1.1% 専門職大学1.5% 専門職短大0.3% 専門学校3.7% 海外の大学等0.2%
就職9.9% その他0.6% 子どもが希望する進路なら何でもよい23.6% (無回答1.8%)

【注】

※第7回調査(2015年)は、2015年9～10月に全国の高校2年生とその保護者を対象に実施
(有効回答数:高校生1,887人/保護者1,584人)

※第8回調査(2017年)は、2017年9～10月に全国の高校2年生とその保護者を対象に実施
(有効回答数:高校生1,987人/保護者1,722人)

※報告書内の表記について

- グラフの数値は、小数点第2位以下を四捨五入して表示している
- 本文の数値は、グラフ中の数値の小数点第1位を四捨五入して記載している
- <フリーコメント>末尾カッコ内は以下の属性を表す
高校生: [都道府県/性別/希望進路]
保護者: [都道府県/続柄/子どもの性別/希望進路]

※調査対象校のうち1校において、不備がある調査票が配布されたため、集計の対象から除外した

- 高校生 p48-49「保護者との日常のコミュニケーションや行動」、p58「留学したいと思うか」、
p60-61「教育改革の内容への期待と不安」
- 保護者 p48-49「子どもとの日常のコミュニケーションや行動」、p62-63「教育改革の内容への期待と不安」

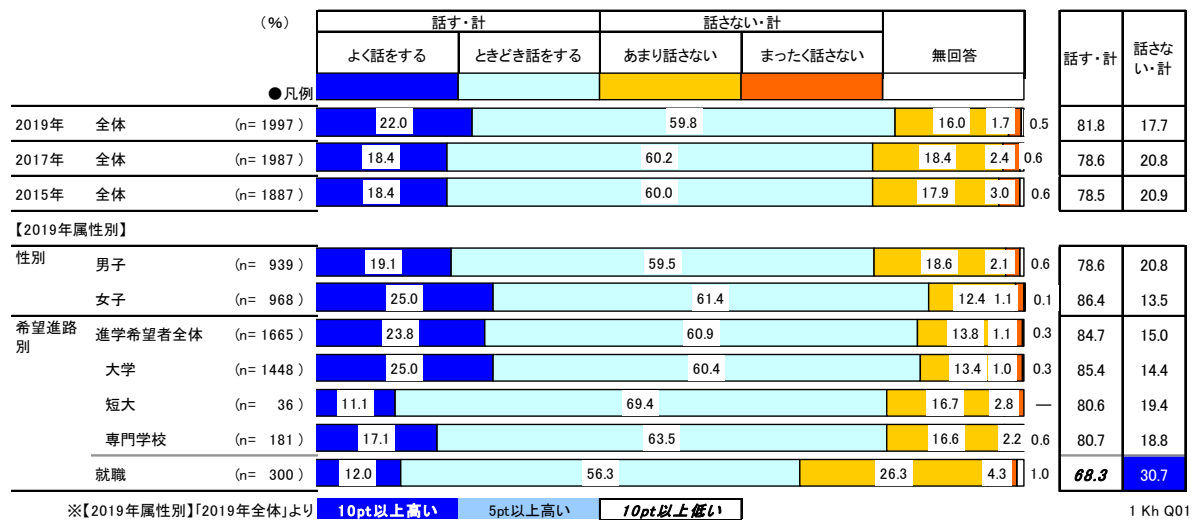
I 進路選択における親子コミュニケーションの実態

1. 進路について話す頻度

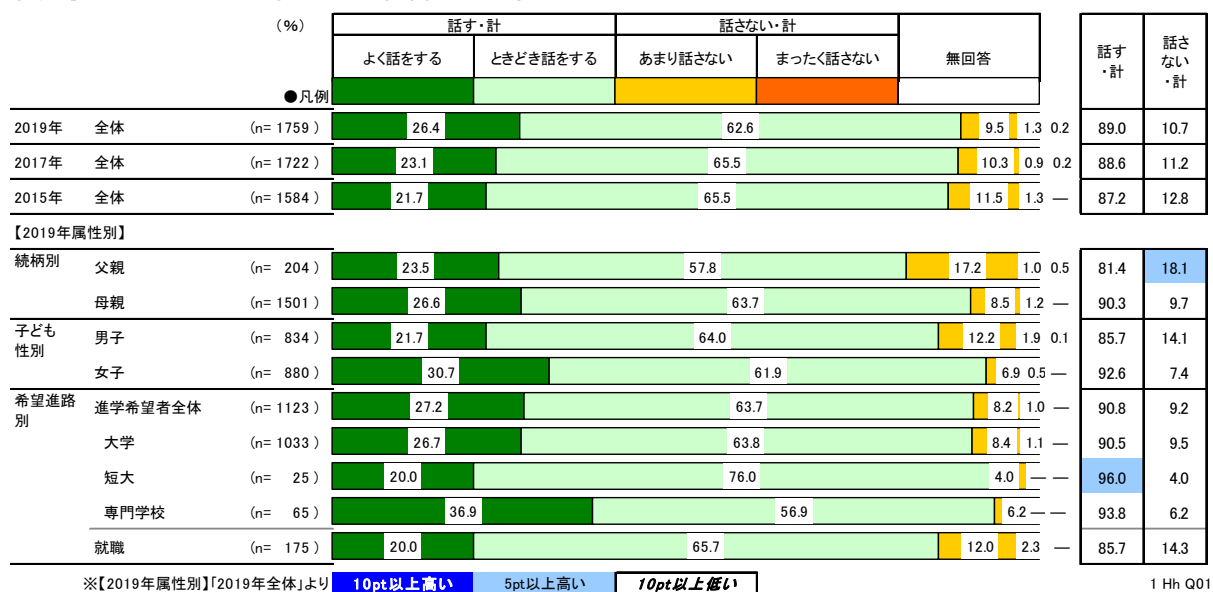
- ▶ 高校生の82%、保護者の89%が進路について「話す」(話す・計)。保護者の認識が高校生に比べ高い。
- ▶ 高校生・保護者いずれも「よく話をする」割合が、前回から微増。
- ▶ 高校生では「女子」、保護者では「母親」の「話す」割合が高い。

- 高校2年生の時点で卒業後の進路について保護者と話しているかという質問に、高校生の22%が「よく話をする」と回答。「ときどき話をする」(60%)を含め、82%が進路について会話をしている(話す・計)。
- 性別にみると、「話す・計」の割合は女子(86%)が男子(79%)よりも高い。
- 希望進路別にみると、「話す・計」は進学希望者全体(85%)が就職希望者(68%)よりも高い。
- 同様に保護者にも、子ども(高校生)と話しているかと尋ねたところ、26%が「よく話をする」と回答。「ときどき話をする」(63%)を含む「話す・計」(89%)は、高校生の回答を上回る。
- 続柄別にみると、「話す・計」の割合は母親(90%)が父親(81%)よりも高い。
- 子どもの性別にみると、「話す・計」は女子(93%)が男子(86%)よりも高い。

【高校生】 進路についての話を保護者としているか (全体/単一回答)



【保護者】 進路についての話を子どもとしているか (全体/単一回答)



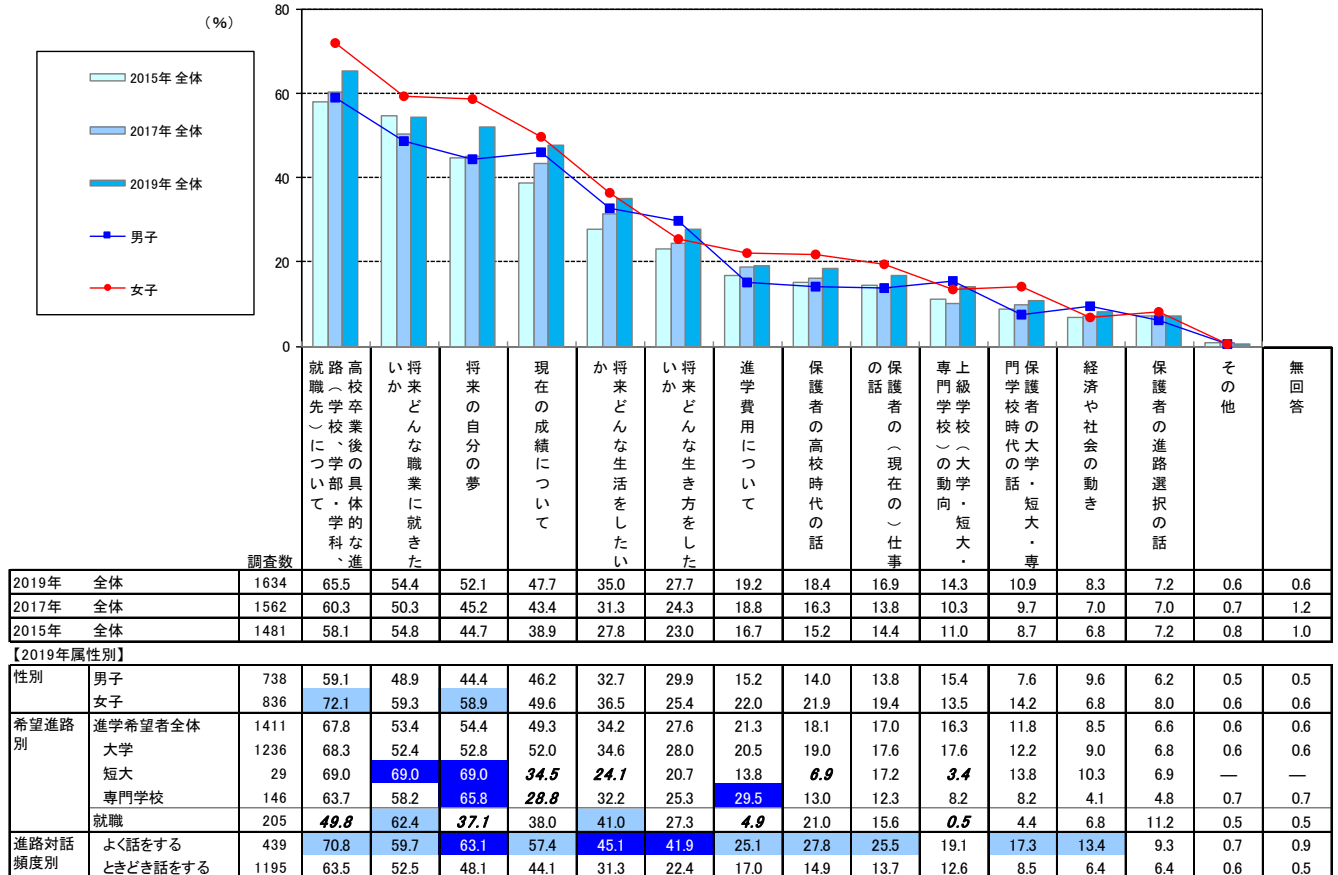
2.進路について話す内容

▶ 進路について話す内容は、「卒業後の具体的な進路について」がトップ。

- ① 高校卒業後の具体的な進路について (66%)
- ② 将来どんな職業に就きたいか (54%)
- ③ 将来の自分の夢 (52%)
- ④ 現在の成績について (48%)
- ⑤ 将来どんな生活をしたいか (35%)

- 5ページの『進路について保護者と話しているか』に「会話がある」「よく話をする」～「ときどき話をする」と回答した高校生に、どんな話をしているかすべて選んでもらった。回答上位は上記の通り。過去調査結果と比較して、上位の顔ぶれは変わらないが、スコアが上昇している。
- 性別にみると、女子は男子に比べスコアが高い項目が多く、会話の内容が幅広い。特に「高校卒業後の具体的な進路について」「将来どんな職業に就きたいか」「将来の自分の夢」は男子を大きく上回る。
- 希望進路別にみると、進学希望者全体は「高校卒業後の具体的な進路について」、就職希望者は「将来どんな職業に就きたいか」がそれぞれトップ。
- 進路対話頻度別(5ページの『進路について保護者と話しているか』の回答別)にみると、全項目で「よく話をする」層のほうが「ときどき話をする」層よりもスコアが高く、会話頻度が高い高校生ほど進路について会話する内容が幅広いことがわかる。

【高校生】 進路について保護者とどんな話をしているか（よく話をする～ときどき話をする／複数回答）



※ 「2019年全体」降順ソート

※【2019年属性別】

100.0 「2019年全体」より10ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

3.進路について話さない理由

▶ 進路について話さない理由は、「めんどくさいから」「自分が進路についてあまり考えていないから」。

- ①めんどくさいから (33%)
- ②自分が進路についてあまり考えていないから (32%)
- ③話しても何も変わらないから (27%)
- ④自分が忙しいから (14%)
- ④もともと会話がなから (14%)

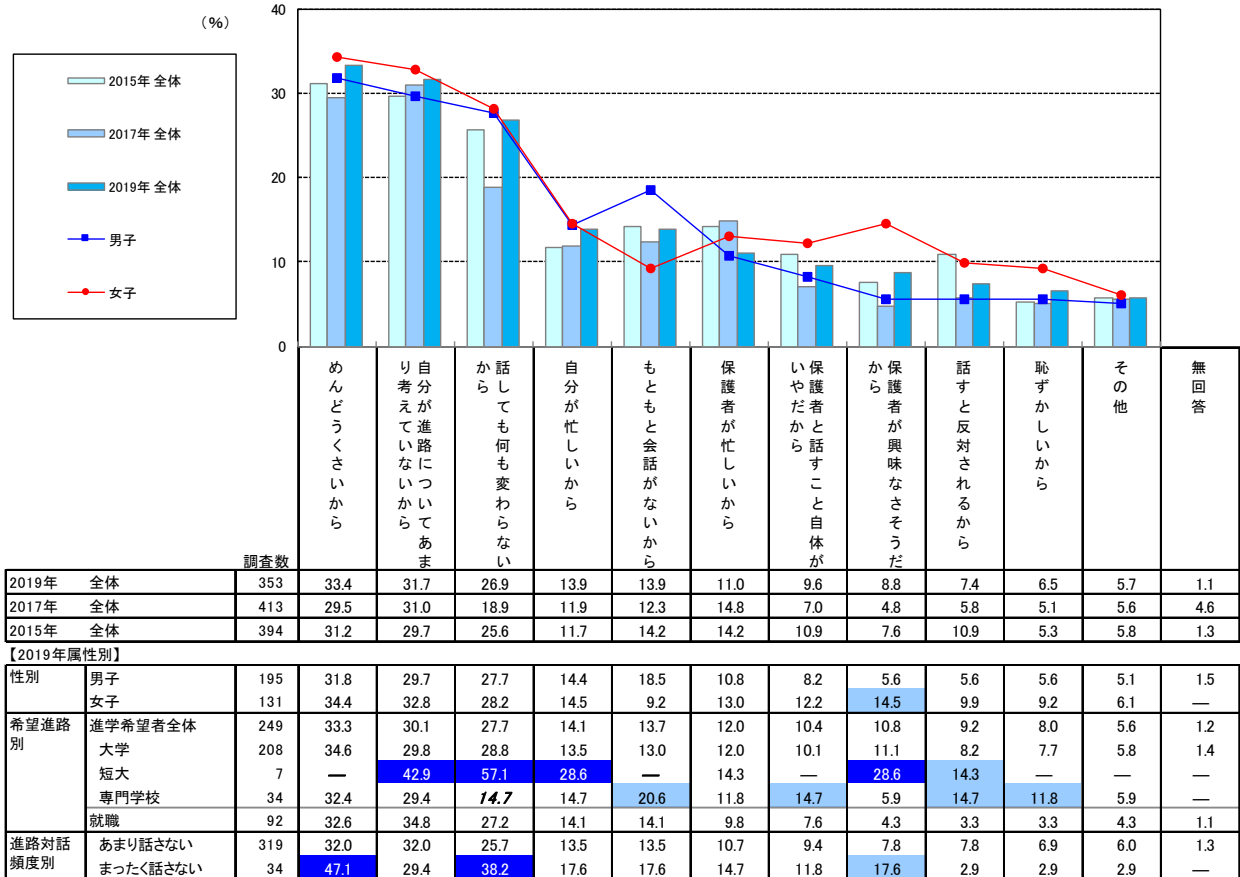
●5ページの『進路について保護者と話しているか』に「会話がなから」「あまり話さない～「まったく話さない」と回答した高校生に、その理由をすべて選んでもらった。回答上位は上記の通り。

過去調査結果と比較すると、2017年の1位「自分が進路についてあまり考えていないから」のスコアは同程度だが、2位の「めんどくさいから」が増加したことで、順位が入れ替わった。3位の「話しても何も変わらないから」は、2017年に減少したが今回再び増加し、2015年と同程度のスコアに戻った。

●性別にみると、男女ともに「めんどくさいから」がトップ。

男子は女子に比べて「もともと会話がなから」と普段の会話量を理由として挙げる割合が高く、女子は男子に比べ「保護者が興味なさそうだから」と無関心な態度を理由として挙げる割合が高い。

【高校生】 進路について保護者と話さない理由（あまり話さない～まったく話さない／複数回答）



※「2019年全体」降順ソート

※【2019年属性別】

100.0 「2019年全体」より10ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

▶ 進路の話をするときによく使う言葉について、保護者自身の認識も「自分の好きなことをしなさい」がトップ。

- ①自分の好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい (60%)
- ②自分でよく考えなさい (50%)
- ③自分で決めなさい (30%)
- ④資格取得を目指しなさい (30%)
- ⑤勉強しなさい (27%)

- 保護者の回答上位は上記の通り。前回と上位項目の顔ぶれは同様だが、「自分で決めなさい」が微増、「資格取得を目指しなさい」が微減で順位が入れ替わった。
- 続柄別にみると、母親は父親に比べて“よく考えなさい”“資格取得”“頑張れ”のスコアが高い。
- 子どもの性別にみると、“資格取得”のスコアは女子(34%)が男子(26%)に比べて高い。
- 希望進路別にみると、就職希望者は“資格取得”“技術”が全体に比べて高い。

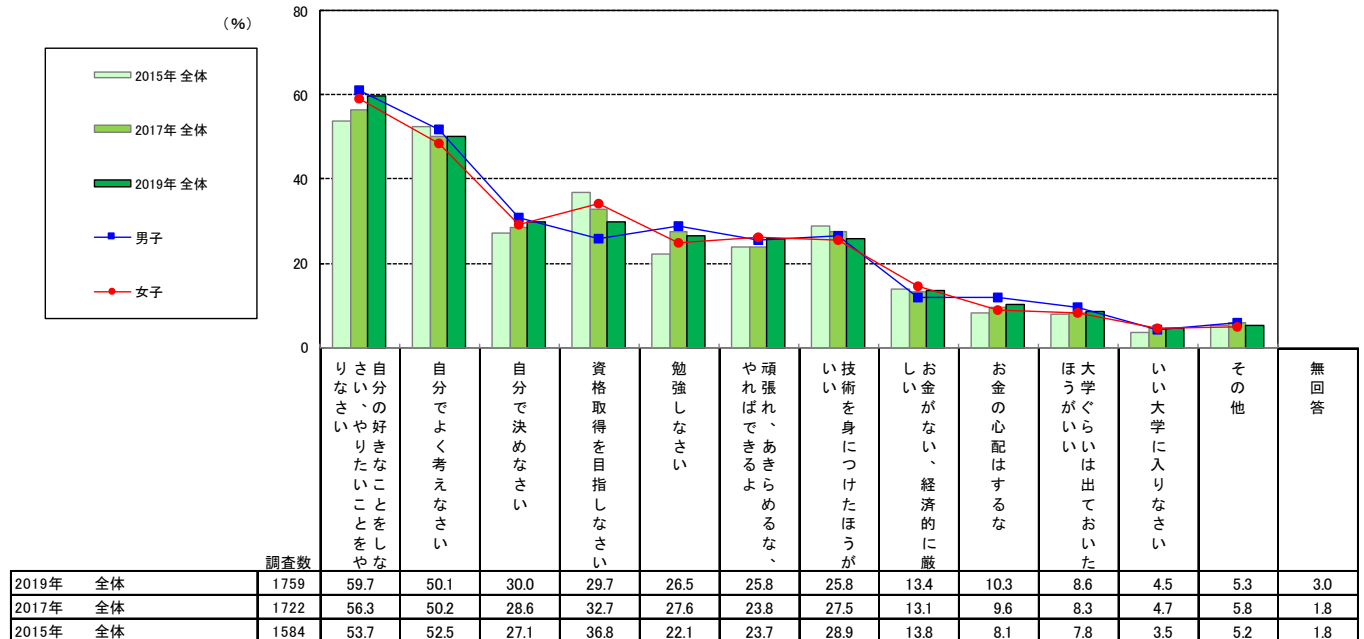
▶ 高校生・保護者ともトップは「自分の好きなことをしなさい」だが、スコアをみると保護者の認識がより高い。

▶ 一方、「勉強しなさい」は保護者の認識以上に高校生は認識。

“資格取得”“技術”については保護者が伝えていると認識しているほど子どもに届いていない。

- 「勉強しなさい」は、高校生では2位(39%)だが保護者では5位(27%)。高校生が感じるほど、保護者は話しているとは認識していない。
- 一方、保護者の上位項目のうち、「自分の好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい」「自分でよく考えなさい」「資格取得を目指しなさい」および「技術を身につけたほうがいい」は、いずれも保護者のスコアが高校生を上回っており、保護者が話していると思っているほど高校生には伝わっていない。

【保護者】子どもと進路の話をするときに使う言葉（全体／複数回答）



【2019年属性別】		調査数	好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい	自分でよく考えなさい	自分で決めなさい	資格取得を目指しなさい	勉強しなさい	頑張れ、あきらめなさい、やめなさい	技術を身につけたほうがいい	お金がない、経済的に厳しい	お金の心配はするな	大学がいろいろ出ておいたほうがいい	いい大学に入りなさい	その他	無回答
続柄別	父親	204	62.3	44.1	28.4	20.1	19.6	17.6	20.1	10.3	11.3	5.9	5.9	4.9	2.9
	母親	1501	59.8	51.0	30.2	31.3	27.7	27.2	26.6	13.7	10.3	9.3	4.4	5.5	2.5
子ども性別	男子	834	61.2	51.8	30.9	26.0	28.7	25.5	26.6	12.0	11.8	9.5	4.4	5.9	1.9
	女子	880	59.1	48.6	29.2	34.1	24.9	26.3	25.5	14.5	9.0	8.1	4.5	4.9	3.2
希望進路別	進学希望者全体	1123	59.3	50.6	28.1	27.2	30.2	29.4	21.8	12.5	11.8	12.2	6.9	4.9	1.0
	大学	1033	59.3	50.6	28.7	24.5	31.3	30.3	19.8	12.7	12.0	12.7	7.5	4.9	0.8
	短大	25	44.0	40.0	8.0	60.0	12.0	12.0	36.0	8.0	12.0	20.0	—	4.0	4.0
	専門学校	65	64.6	53.8	27.7	58.5	20.0	21.5	47.7	10.8	9.2	1.5	—	4.6	3.1
	就職	175	61.1	55.4	26.9	45.7	22.3	24.0	50.9	18.9	3.4	0.6	—	4.0	1.7
進路対話頻度別	話す・計	1566	61.0	50.3	30.1	30.4	27.2	26.9	26.2	13.2	11.0	8.7	4.7	5.0	2.8
	話さない・計	189	49.7	49.7	29.1	24.9	21.7	16.9	22.2	15.3	5.3	8.5	3.2	7.9	2.1

※「2019年全体」降順ソート

※【2019年属性別】

- 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上高い
- 100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い
- 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

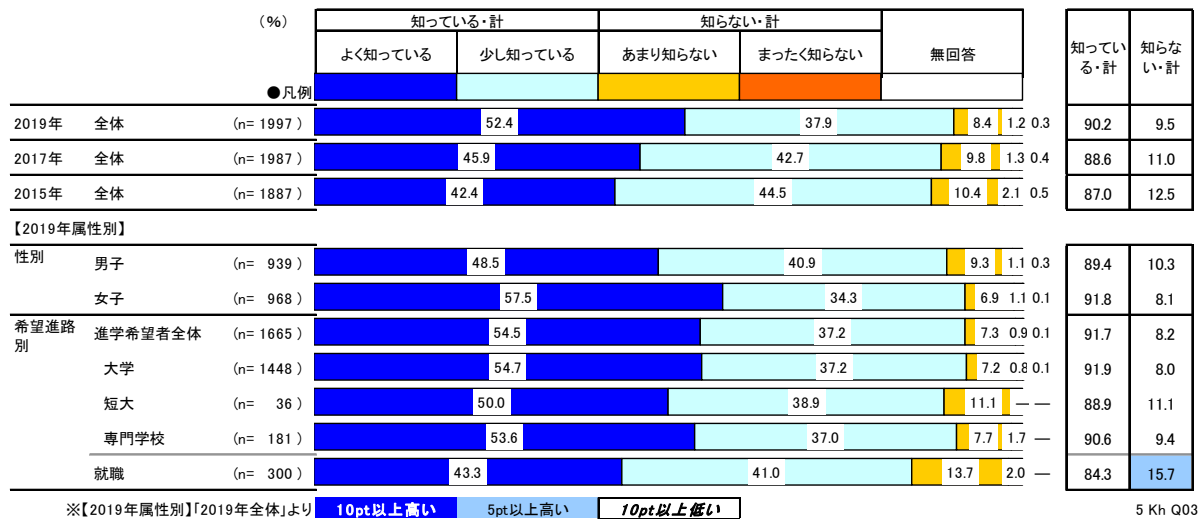
5. 希望進路・進路の悩みの共有度

1) 希望進路の共有度

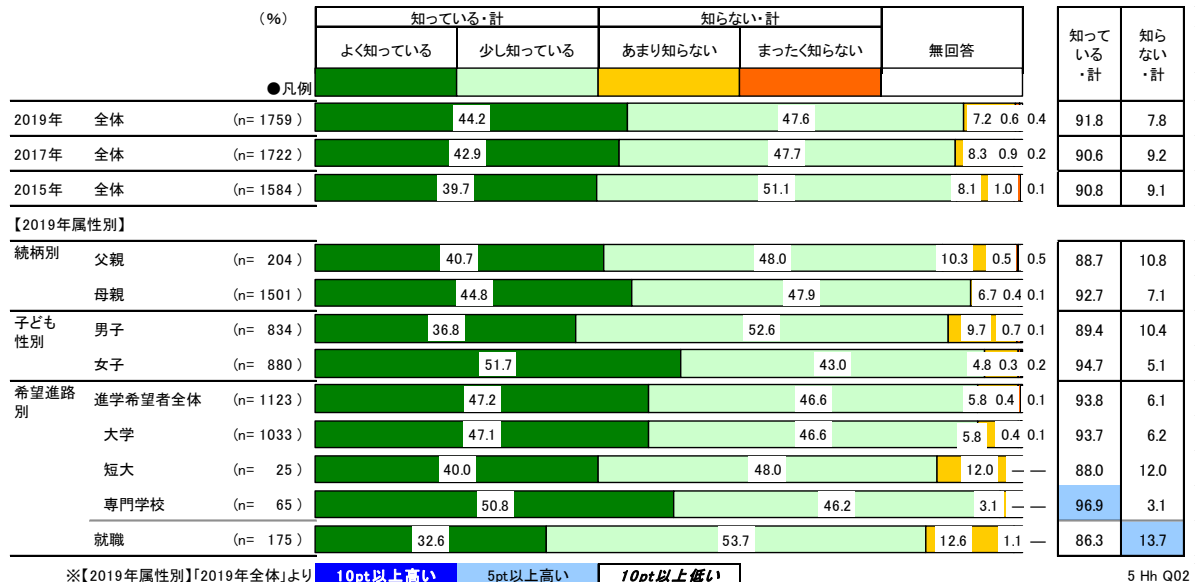
- ▶ 高校生の90%、保護者の92%が希望進路や進路に対する考えを「知っている」（知っている・計）。
- ▶ 「よく知っている」の割合は、高校生・保護者ともに増加傾向。

- 高校生の希望進路や進路についての考えを保護者はどの程度知っているかという質問に、高校生の52%が「よく知っている」と回答。「少し知っている」(38%)を含め、90%が考えを共有している(知っている・計)。過去調査結果と比較すると「よく知っている」の割合は微増傾向。
- 性別にみると、「知っている・計」の割合は女子(92%)が男子(89%)よりもやや高い。
- 希望進路別にみると、「知っている・計」は、進学希望者全体(92%)が、就職希望者(84%)に比べて高い。
- 同様に保護者にも、子ども(高校生)の希望進路や進路についての考えを知っているか尋ねたところ、44%が「よく知っている」。「少し知っている」(48%)を含め、「知っている・計」は92%。高校生の回答と同程度。
- 続柄別にみると、「知っている・計」の割合は母親(93%)が父親(89%)よりも高い。
- 子どもの性別にみると、「知っている・計」の割合は女子(95%)が男子(89%)よりも高い。

【高校生】 希望進路や進路に対する考えを保護者は知っているか（全体／単一回答）



【保護者】 子どもの希望進路や、進路に対する考えを知っているか（全体／単一回答）



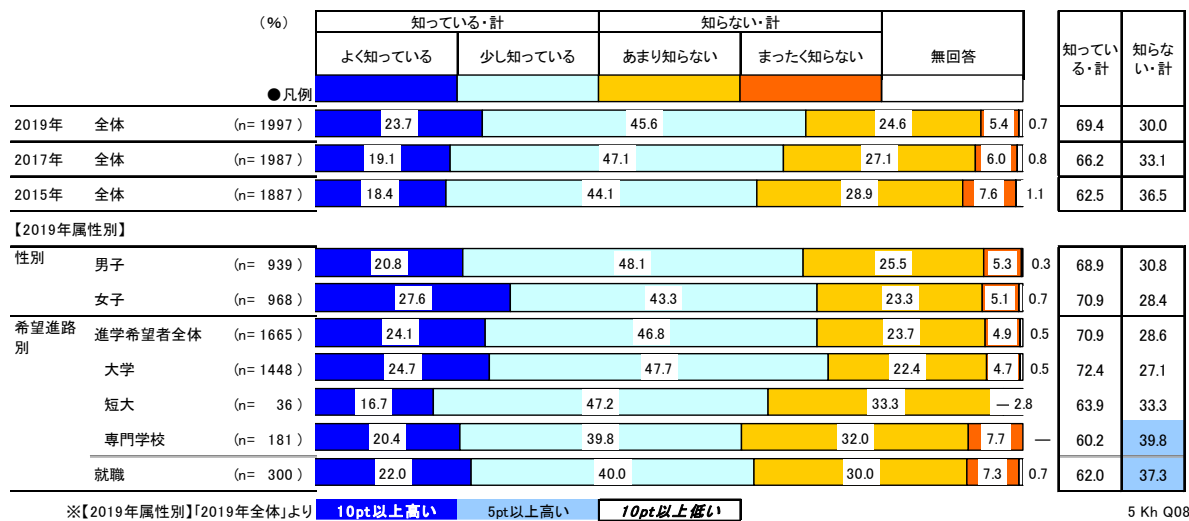
2) 進路選択の不安の共有度

▶ 高校生の69%、保護者の71%が進路選択の悩みや不安を「知っている」。

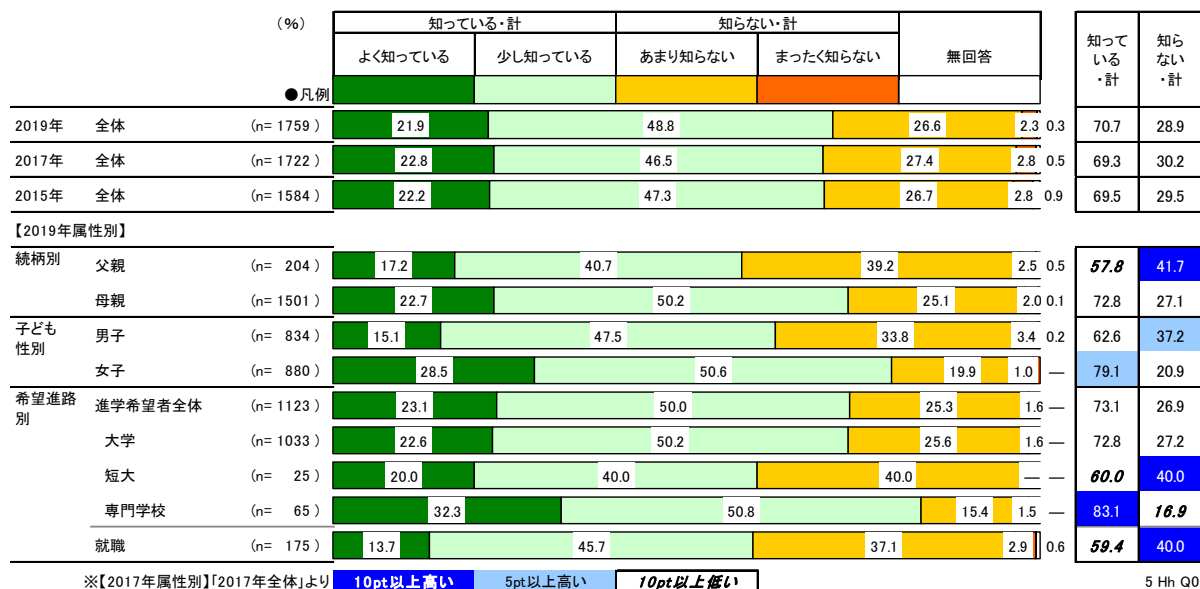
▶ 高校生における「知っている」割合は漸増傾向であり、今回保護者の認識と同程度の水準となった。

- 高校生の進路選択の悩みや不安を保護者はどの程度知っているかという質問に、高校生の24%が「よく知っている」と回答。「少し知っている」(46%)を含め、69%が共有(知っている・計)。過去調査結果と比較すると「知っている・計」の割合は増加傾向。
- 性別にみると、「知っている・計」の割合は、男子が69%、女子が71%。
- 希望進路別にみると、「知っている・計」の割合は、進学希望者全体(71%)が就職希望者(62%)に比べて高い。
- 一方、保護者は、子ども(高校生)の進路に関する悩みや不安を22%が「よく知っている」と回答。「少し知っている」(49%)を含め、「知っている・計」は71%。2015年以降、70%前後で推移。
- 続柄別・子どもの性別にみると、10ページの『希望進路の共有度』と同様、父親(58%)よりも母親(73%)、男子(63%)よりも女子(79%)のほうが「知っている・計」の割合が高く、共有度が高い。

【高校生】 保護者は進路選択の悩みや不安を知っているか (全体/単一回答)



【保護者】 子どもの進路に関する悩みや不安を知っているか (全体/単一回答)

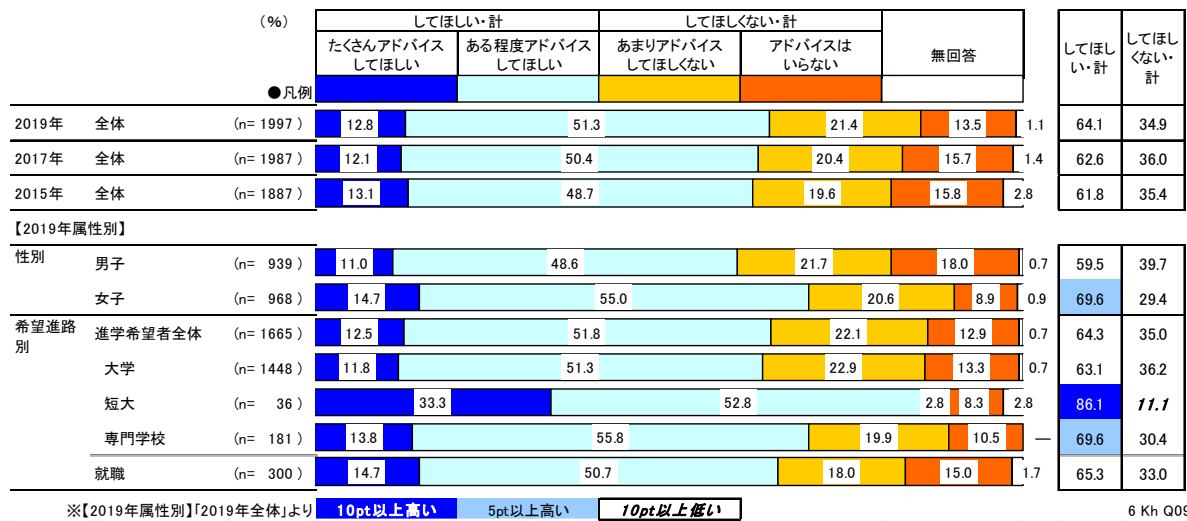


6.保護者からのアドバイス/アドバイスしてほしい内容

▶ 高校生の64%が、保護者にアドバイスを「してほしい」。保護者の78%が、相談・アドバイスを「している」。

- 進路選択について保護者からアドバイスしてほしいかという質問に、高校生の13%が「たくさんアドバイスしてほしい」。「ある程度アドバイスしてほしい」(51%)を含め、64%が保護者からのアドバイスを必要とする(してほしい・計)。
- アドバイスしてほしい内容や理由を書いたところ、「してほしい」理由としては「視野の広さへの期待」、「してほしくない」理由としては「自分で決めたい」「干渉しないでほしい」といった意見が挙がった。
- 一方保護者に、子どもの相談に乗ったりアドバイスしているか尋ねたところ、25%が「よくしている」。「少ししている」(54%)を含め、78%が相談に乗ったりアドバイスをしている(している・計)。保護者の認識が高校生の回答を上回る。
- 続柄別にみると、「している・計」の割合は母親(80%)が父親(67%)よりも高い。

【高校生】 進路選択に際して、保護者にアドバイスしてほしいか (全体/単一回答)



6 Kh Q09

<フリーコメント> 保護者にアドバイスしてほしい内容や理由【高校生】

■たくさんアドバイスしてほしい

- 自分だけの視点では、気づかないこともあるだろうから、保護者から見た視点やアドバイスを教えてくれるとうれしい。その大学の良いところ、特徴、受験についてなど。[山梨県/女子/大学]
- 自分では、視野が狭く、情報が偏ってしまうから。[青森県/女子/大学]

■ある程度アドバイスしてほしい

- ある程度の経験や知識は参考になると思うが、自分で考えて行動することも大切だと思っている。[和歌山県/男子/就職]

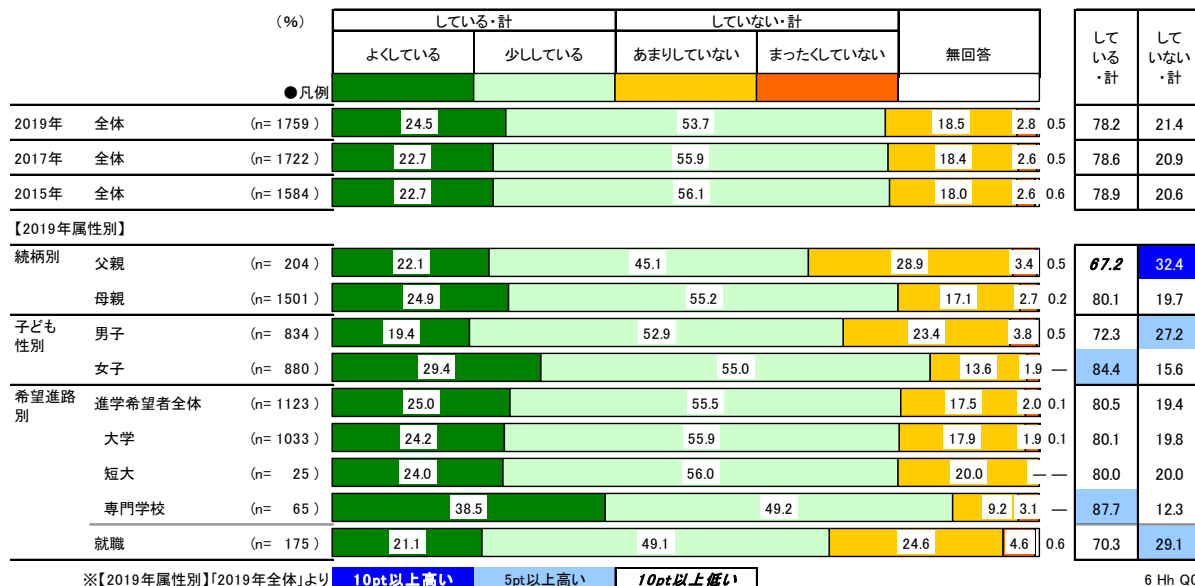
■あまりアドバイスしてほしくない

- 自分の進路については自分でよく考えたり、先生や資料などから情報を収集しているため、あまり干渉してほしくないから。[山梨県/女子/大学]
- 少しはしてほしいけれど、もうそろそろ、自分のことは自分で決めて行動していけるように、そっと見守ってほしい。[東京都/女子/大学]

■アドバイスは いない

- 自分のことは自分で決めた方がいいから。[鳥取県/女子/大学]
- 自分の進路は自分の意志で決めたいから。[和歌山県/女子/就職]

【保護者】 子どもの進路に関する悩みや不安について、相談に乗ったりアドバイスしているか (全体/単一回答)



6 Hh Q04

7. 保護者がアドバイスすることの困難

1) 子どもの進路選択についてアドバイスすることは難しいか

▶ 保護者の73%が進路選択について子どもにアドバイスすることは「難しい」。

- 12ページで保護者に子どもの進路選択について『子どもの進路に関する悩みや不安について、相談に乗ったりアドバイスしているか』実施状況を尋ねたが、あわせてアドバイスすることの難しさの程度を質問した。「非常に難しい」が22%、「やや難しい」(51%)を含む「難しい・計」は73%。過去調査結果と比較すると、2015年以降「難しい・計」は増加傾向。
- 続柄別にみると、「難しい・計」の割合は母親(74%)が父親(65%)を大きく上回り、母親は父親に比べ「難しい」と感じながらアドバイスしていることがわかる。
- 子どもの性別にみると、「難しい・計」の割合は女子(75%)が男子(72%)に比べやや高い。
- 希望進路別にみると、「難しい・計」の割合は、進学希望者全体(77%)が就職希望者(62%)に比べて高く、アドバイスすることを難しいと感じている。

【保護者】 進路選択について子どもにアドバイスすることは難しいか（全体／単一回答）

	(%)	難しい・計				難しい・計
		非常に難しい	やや難しい	難しいとは感じていない	その他	
●凡例						
2019年 全体	(n= 1759)	21.7	51.4	25.6	0.6	73.1
2017年 全体	(n= 1722)	19.6	51.9	27.8	0.2	71.4
2015年 全体	(n= 1584)	20.3	50.5	28.2	0.3	70.8
【2019年属性別】						
続柄別						
父親	(n= 204)	16.2	48.5	34.8	—	64.7
母親	(n= 1501)	22.5	51.8	24.7	0.7	74.2
子ども性別						
男子	(n= 834)	21.2	50.4	27.1	0.8	71.6
女子	(n= 880)	22.3	52.4	24.7	0.3	74.7
希望進路別						
進学希望者全体	(n= 1123)	23.1	53.5	23.1	0.3	76.6
大学	(n= 1033)	24.1	53.2	22.3	0.3	77.3
短大	(n= 25)	12.0	60.0	28.0	—	72.0
専門学校	(n= 65)	10.8	55.4	33.8	—	66.2
就職	(n= 175)	13.1	49.1	36.6	1.1	62.3

※【2019年属性別】「2019年全体」より 10pt以上高い 5pt以上高い 10pt以上低い

7 Hh Q05

2) 子どもの進路選択についてアドバイスすることが難しい理由

▶ アドバイスが難しい理由のトップは、保護者が「入試制度をはじめ最新の進路情報を知らないから」であり、

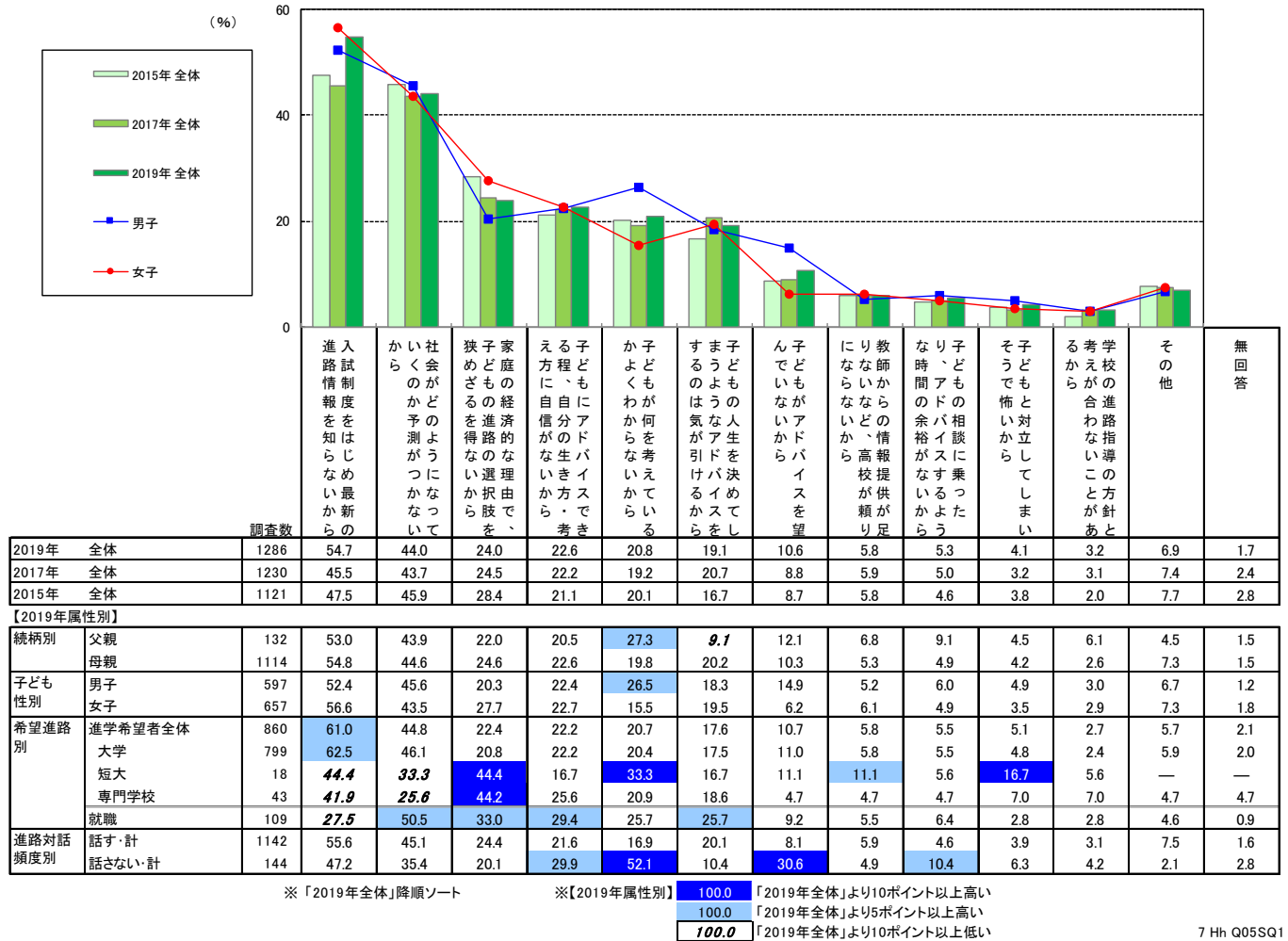
- ① 入試制度をはじめ最新の進路情報を知らないから (55%)
- ② 社会がどのように変わっていくのか予測がつかないから (44%)
- ③ 家庭の経済的な理由で、子どもの進路の選択肢を狭めざるを得ないから (24%)
- ④ 子どもにアドバイスできる程、自分の生き方・考え方に自信がないから (23%)
- ⑤ 子どもが何を考えているかよくわからないから (21%)

● 13ページの『進路選択について子どもにアドバイスすることは難しいか』について「難しい」(「非常に難しい」～「やや難しい」)と回答した保護者に、その理由をすべて選んでもらった。回答上位は上記の通り。

過去調査結果と比較すると、トップの「入試制度をはじめ最新の進路情報を知らないから」は2017年に比べて大きく増加。5位には「子どもが何を考えているかよくわからないから」がランクインした。

● 続柄別・進路対話頻度別にみると、父親・話さない層では母親・話す層に比べ「子どもが何を考えているかよくわからないから」が相対的に高く、子どもとの関係の希薄さを理由に挙げている。

【保護者】 進路選択についてアドバイスを難しいと感じる要因 (アドバイスが「難しい」回答者/複数回答)



7 Hh Q05Q1

<フリーコメント> 心配なことや気がかり その他の回答【保護者】

- この学年から大学入試が大きく変化すること。特に英語に関して新聞等でも説明されていたりするが、非常に理解しづらい。
[愛知県/母親/女子/大学]
- 受験制度が変更になることで、英語の登録などすべき事が増えたり、各学校からの入試情報が届いていないから。
[東京都/母親/女子/大学]

- 社会の変化が激しく、5年先の社会がどのように変わっていくか予測不能なため、大学を出ても仕事があるのか不安。今の売り手市場のうちに就職するのが良いようにも思うが本人の希望とは違うため言い出しにくい。[石川県/父親/男子/何でもいい]
- 本人が決めなければいけないことだが、どうアドバイスしていいかわからない。[石川県/母親/男子/大学]

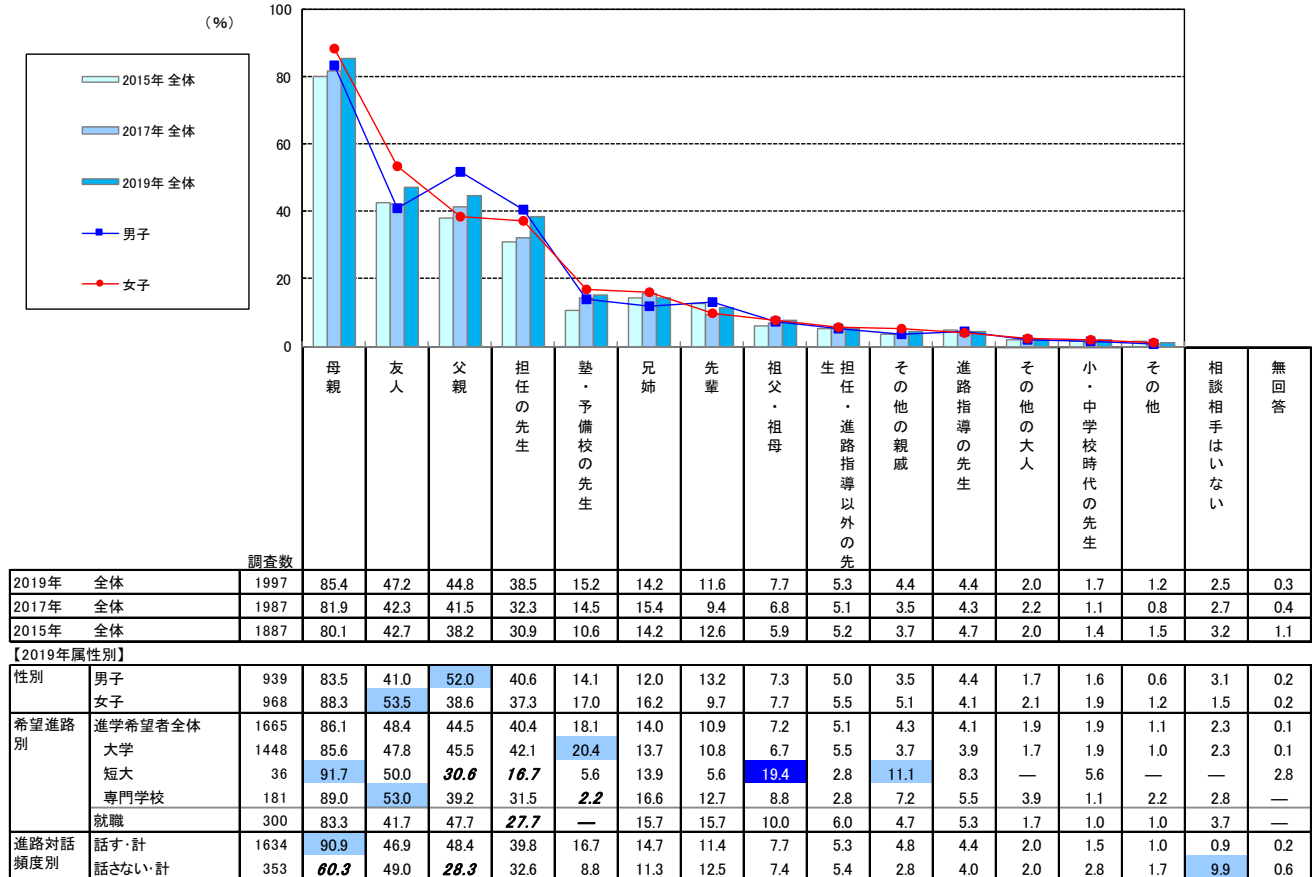
8.進路選択についての相談相手

▶ 高校生が進路を考えるうえで相談する相手は、「母親」が突出。

- ① 母親 (85%)
- ② 友人 (47%)
- ③ 父親 (45%)
- ④ 担任の先生 (39%)
- ⑤ 塾・予備校の先生 (15%)

- 高校生に、進路を考えるうえで相談する人すべてを尋ねたところ、「母親」が突出。過去調査結果と同様、8割超。
- 性別にみると、男女とも「母親」がトップ。2位に男子は「父親」(52%)、女子は「友人」(54%)が続く。
- 希望進路別にみると、いずれの進路とも「母親」がトップ。
- 高校生に一番の相談相手についてその理由を書いてもらったところ、「母親」は自身に寄り添ってくれる態度や理解、具体的な進路選択への関与などが理由として挙がる。「父親」は話しやすさの他、進学・就職を経験した社会人として、体験談を踏まえた情報を与えてくれる“信頼感”がうかがわれる。「友人」は、気軽に話せる相手であることや、同じ状況・立場にある“仲間意識”などの理由が挙がる。
→フリーコメントは17ページに掲載

【高校生】 進路についての相談相手 (全体/複数回答)



※「2019年全体」降順ソート

※【2019年属性別】

- 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上高い
- 100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い
- 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

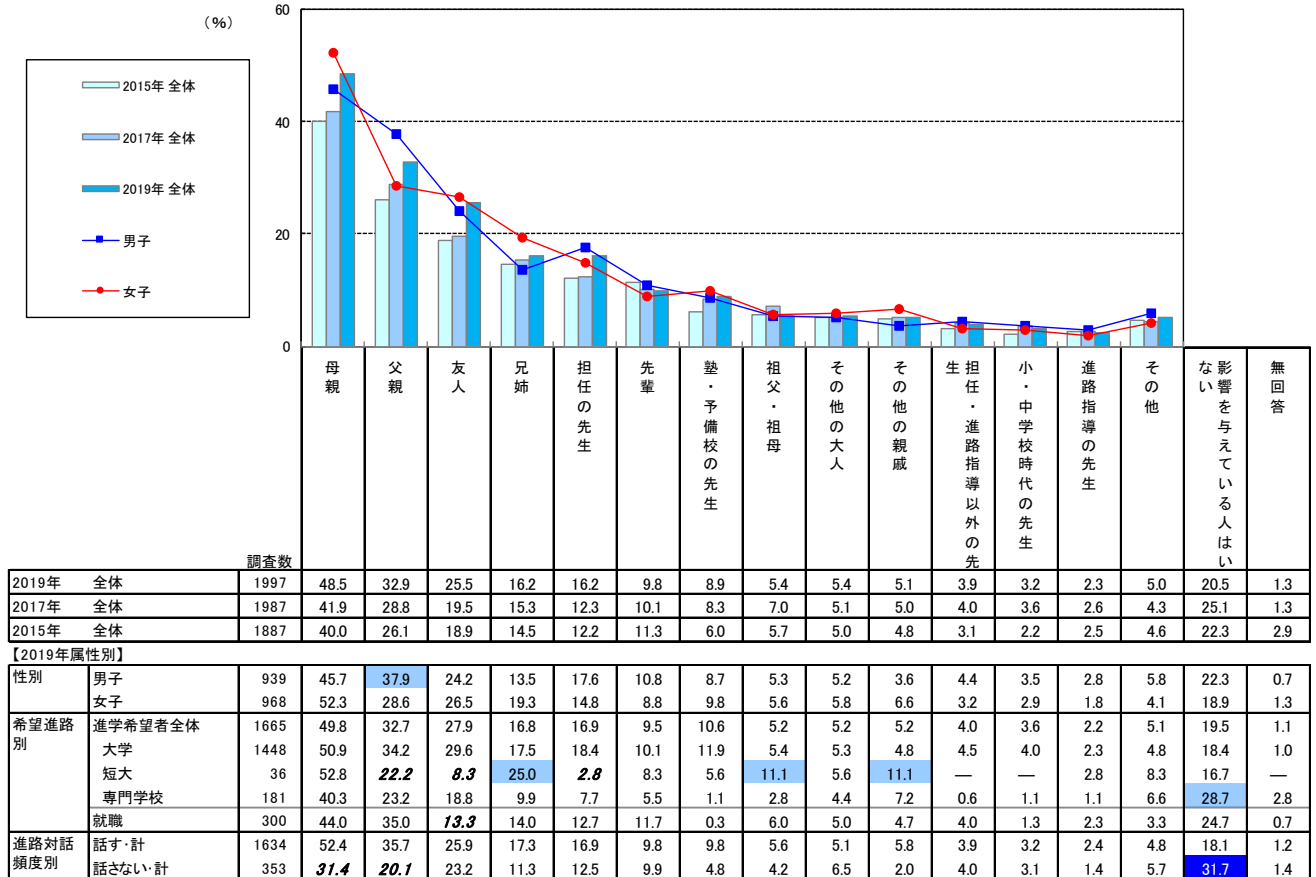
9.進路選択について影響を受ける人物

▶ 高校生が進路を考えるうえで影響を受ける相手も、「母親」がトップ。

- ① 母親 (49%)
- ② 父親 (33%)
- ③ 友人 (26%)
- ④ 兄姉 (16%)
- ④ 担任の先生 (16%)

- 進路を考えるうえで高校生に影響を与えている人すべてを尋ねた。15ページの『進路選択についての相談相手』と同様、「母親」が突出。過去調査結果と比較して「母親」「父親」「友人」が増加傾向。
- 性別にみると、男女とも「母親」がトップ、2位「父親」、3位「友人」。『相談相手』と同様に「父親」は男子(38%)が女子(29%)に比べ相対的に高い。
- 希望進路別にみると、いずれの進路とも「母親」がトップ。
- 進路対話頻度別にみると、話さない層で「影響を与えている人はいない」が比較的高く、ひとりで進路を考える高校生が多い。
- 高校生に一番影響を受ける相手についてその理由を書いてもらったところ、「母親」「父親」いずれも進路について相談する頻度・アドバイスを受ける頻度が多いことが理由として挙げられた。また、両親が就いている仕事の影響・憧れなどがうかがわれる意見が挙がる。「友人」については、希望進路が似た状況・立場にある仲間であり、情報交換できる、共に頑張る、刺激し合う関係であることといった理由が挙げられた。
→フリーコメントは17ページに掲載

【高校生】 進路を考えるうえで（高校生に対して）影響を与えている人（全体／複数回答）



※【2019年全体】降順ソート

※【2019年属性別】

- 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上高い
- 100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い
- 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

<フリーコメント> 進路選択について一番の相談相手、その理由【高校生】

■母親

- 一番寄り添ってくれるから。[石川県/男子/大学]
- 一番頼りがいがある、相談しやすい。[鳥取県/女子/短大]
- 一番自分のことを理解していると思うから。[北海道/女子/大学]
- よくオープンキャンパスへ一緒に行くため。[東京都/女子/大学]
- 一緒に大学を調べてくれたり、いろいろ話をきいてくれるから。[和歌山県/女子/大学]
- 気になっている学校や、学力、受験方法について調べてくれるから。[北海道/女子/大学]

■友人

- 一番気軽に話せるから。[和歌山県/男子/大学]
- 気軽に話せるし、一番共感してもらいやすいから。[鳥取県/女子/大学]
- 同じ悩みを共有できるから。[和歌山県/男子/就職]
- 一番、今の自分の状況をわかってくれたうえで話せるから。[和歌山県/女子/大学]
- 一方的に話すだけだが思考が整理される。[山梨県/女子/大学]
- 同じ「受験者」の立ち場としてたくさん共感できる節があり納得しやすい。[東京都/女子/大学]

■父親

- 話しやすいし、客観的に言ってくれるから。[東京都/男子/大学]
- よく私と進路の話をするし、親身になって考えてくれるから。[青森県/女子/大学]
- 一番近くにいる父の進んでいる進路が自分と似ているから。[東京都/男子/大学]
- 一番社会についてよく知っているから。[青森県/男子/就職]
- 良い仕事に就いているし、自分の事をわかっているから。[東京都/男子/大学]

■担任の先生

- 過去のデータ等から、判断や、アドバイスをしてくれるから。[石川県/男子/大学]
- 情報もたくさん持っているし、自分の学力をよく知っている。[愛知県/女子/大学]
- 的確なアドバイスをくれるから。[山梨県/男子/大学]
- 不安な面の解決策と一緒に考えてくださる。[鳥取県/女子/大学]

■塾・予備校の先生

- 信頼がおけて知識が豊富で身近だから。[東京都/女子/大学]
- 大学に関する知識に富んでいて、学校の先生より話しやすい。[青森県/男子/大学]
- 現役生がチューターとして相談に親身に乘ってくれるから。[東京都/男子/大学]

■兄姉

- 将来の進路について近い仕事をやっているから。[和歌山県/男子/大学]
- 私も姉も理系で、進みたい道も少し似ているから。[山梨県/女子/大学]
- 年齢や大学受験の状況に近い。[東京都/男子/大学]

■相談相手はいない

- 相談しなくても自分で調べる方が早い。[山梨県/男子/大学]
- 相談しても解決しないから。[青森県/女子/大学]

<フリーコメント> 進路選択について一番影響を受ける人物、その理由【高校生】

■母親

- よく進路について相談し、様々な意見を言われるから。[東京都/男子/大学]
- 一緒に考えてくれるし、アドバイスをしてくれるから。[鳥取県/女子/大学]
- 相談に乗ってくれ、選択肢を与えてくれる。[石川県/女子/大学]
- 大学進学を好意的にとらえるきっかけをつくってくれたから。[石川県/男子/大学]
- 仕事の話聞いて、こんな仕事もあるんだと思う。[北海道/女子/大学]
- 自分の就きたい職業を仕事としているから。[北海道/女子/大学]

■父親

- いろいろな経験談を聞かせてくれるし、私の意見が正しいかどうか判断してくれるから。[和歌山県/女子/大学]
- 「自分で選んで進め」というスタンスがいいなと思ったから。[東京都/男子/大学]
- 父と同じような仕事がしたいと思っているから。[東京都/女子/大学]
- 父親の仕事をしているのを見て、自分もやりたいと思ったから。[和歌山県/女子/専門学校]
- スポーツをやるきっかけを与えてくれたから。[北海道/男子/大学]

■友人

- 共に頑張ろうと思える存在であるから。[鳥取県/男子/大学]
- 情報交換できるから。[愛知県/女子/大学]
- 周りがきちんと考えているから自分も考えようと思える。[鳥取県/女子/大学]
- なりたい職業が決まっているから。[熊本県/女子/大学]

■兄姉

- その進路にした理由もその後の活動も側で自分が見ているから。[東京都/男子/大学]
- 一番身近にいる受験経験者だから。[山梨県/男子/大学]
- 日々の大学の話を聞いているから。[東京都/女子/大学]
- 最近就職したから。[北海道/女子/就職]
- 姉と同じ進路を目指しているから。[北海道/女子/専門学校]

■担任の先生

- 一番進路について詳しいから。[山梨県/男子/大学]
- 今の大学の状況に一番詳しいから。[北海道/女子/大学]
- 自分をよりよい大人にするために最適な指導をしてくれるから。[山梨県/NA/就職]
- 熱心に進路について考えてくれるから。[熊本県/男子/専門学校]

■塾・予備校の先生

- 具体的なデータを提示してくれるから。[熊本県/男子/大学]
- 今の成績の状況などについていろいろ言ってくれるから。[愛知県/女子/大学]
- 専門的な知識をくれるから。[東京都/女子/大学]
- 入試についてよく知っているから。[山梨県/男子/大学]

■影響を与える人はいない

- まだ進路が決まっていないから。[和歌山県/男子/就職]
- 自分で決めたから。[東京都/男子/大学]
- 自分のしたいことを進路として選んでいるから。[和歌山県/男子/大学]

10. 目指している・あこがれている人／その理由

▶ 目指している人やあこがれている人が「いる」高校生は29%。

▶ 目指している人物として、家族では「父親」が13%、「母親」が12%。

- 高校生に目指す人・憧れている人はいるか尋ねたところ、「いる」は29%。
過去調査結果と比較すると、2017年から微増。
- 目指す人・憧れている人がいると回答した高校生に、その対象を選んでもらったところ、「有名人」が最も多く26%。以下、「父親」(13%)、「母親」(12%)が続く。
- 性別にみると、男子は「父親」(19%)、女子は「母親」(20%)の割合が高く、同性の親を理想とする傾向がみられる。
- あこがれている理由として、父親は「仕事」、母親は「家事との両立」に関するコメントがあがる。

【高校生】 目指している・憧れている人はいるか（全体／単一回答）

			（%）		
			いる	いない	無回答
●凡例			■	■	■
2019年	全体	(n= 1997)	28.6	70.3	1.1
2017年	全体	(n= 1987)	26.1	72.6	1.3
2015年	全体	(n= 1887)	26.3	70.9	2.9
【2019年属性別】					
性別	男子	(n= 939)	26.4	72.7	0.9
	女子	(n= 968)	31.0	68.2	0.8
希望進路別	進学希望者全体	(n= 1665)	29.4	69.7	0.9
	大学	(n= 1448)	29.0	70.2	0.8
	短大	(n= 36)	30.6	69.4	—
	専門学校	(n= 181)	32.6	65.2	2.2
	就職	(n= 300)	23.3	76.3	0.3

10 Kh Q17

【高校生】 目指している・憧れている人（目指している人「いる」回答者／単一回答）

			（%）				
			父親	母親	有名人	その他	無回答
●凡例			■	■	■	■	■
2019年	全体	(n= 572)	12.9	11.9	26.2	47.0	1.9
2017年	全体	(n= 519)	16.4	12.7	24.7	43.0	3.3
2015年	全体	(n= 496)	15.5	14.7	24.4	40.5	4.8
【2019年属性別】							
性別	男子	(n= 248)	19.0	3.2	32.3	44.4	1.2
	女子	(n= 300)	8.0	19.7	21.0	49.0	2.3
希望進路別	進学希望者全体	(n= 490)	11.4	10.6	26.9	49.4	1.6
	大学	(n= 420)	12.1	9.8	25.7	50.7	1.7
	短大	(n= 11)	—	18.2	36.4	45.5	—
	専門学校	(n= 59)	8.5	15.3	33.9	40.7	1.7
	就職	(n= 70)	22.9	21.4	21.4	31.4	2.9

10 Kh Q17SQ1

<フリーコメント> 目指している・あこがれている理由【高校生】

■父親

- 仕事に熱心に向き合っているから。[山梨県/男子/大学]
- 仕事しながら自分のやりたいことすべて実現させているから、自分もやりたい事やって人生楽しみたい。[北海道/女子/大学]
- 仕事はもちろん、遠い所へ遊びに行ってもらって、「両立」ができていることを実感させてくれるから。[青森県/女子/大学]

※有名人

「明石家さんま」「石原さとみ」「ヒカキン」「スティーブ・ジョブズ」「松下幸之助」、スポーツ選手、ミュージシャン、俳優、タレント、作家、アナウンサーなど

※その他

「祖父」「兄」「姉」など両親以外の家族・親戚、幼稚園～高校・塾の「先生」「先輩」、「Youtuber」や就きたい職業の従事者など

■母親

- しっかりとした大人のイメージがあるから。[石川県/女子/就職]
- 家事も仕事もこなし私たちを支えてくれているから。[鳥取県/女子/大学]
- 自分の将来の夢である職業をしているから。[愛知県/女子/大学]

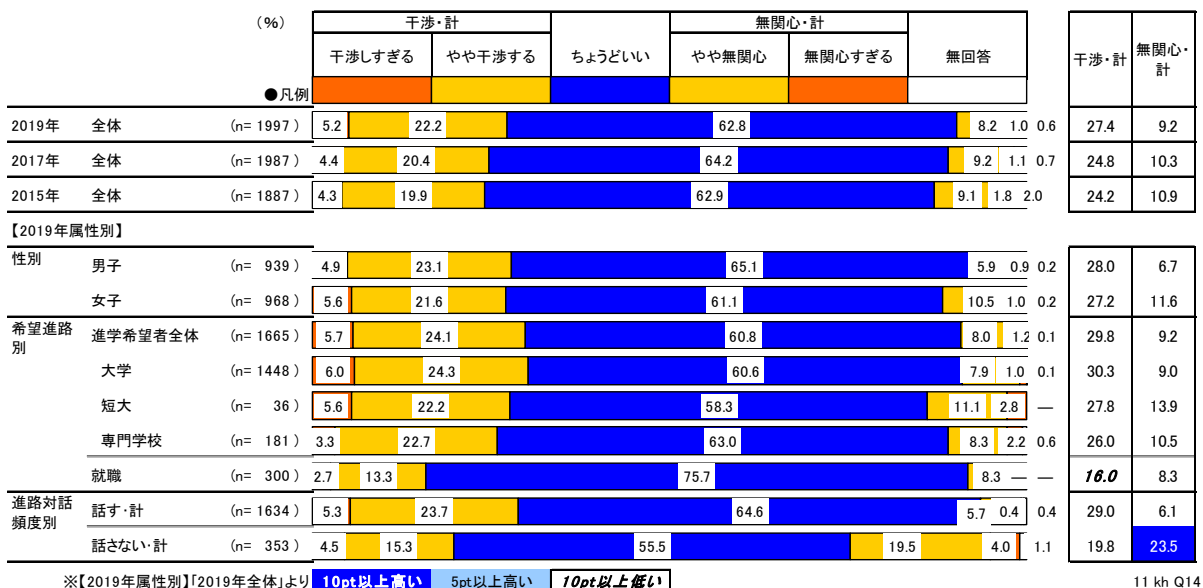
11.進路選択について保護者が取る態度

▶ 進路選択に関する保護者の態度が「ちょうどいい」と感じている高校生は63%。

▶ 「干渉」と感じるのは27%、「無関心」は9%。

- 進路選択に関する保護者の態度を高校生はどのように感じているか尋ねた。「ちょうどいい」は63%と過半数を占める。「干渉しすぎる」「やや干渉する」の合計は27%(干渉・計)、「無関心すぎる」「やや無関心」の合計は9%(無関心・計)。
- 性別にみると、「ちょうどいい」と感じる割合が男子(65%)が女子(61%)に比べやや高い。女子は「無関心・計」の割合(12%)が男子(7%)に比べやや高い。
- 希望進路別にみると、「ちょうどいい」と感じる割合は就職希望者(76%)が進学希望者全体(61%)に比べて高い。進学希望者全体は、「干渉・計」が30%と、就職希望者(16%)に比べて、干渉的と感じる割合が高い。
- 進路対話頻度別にみると、「ちょうどいい」の割合は話す層(65%)が話さない層(56%)に比べて高い。話す層は「干渉・計」(29%)、話さない層は「無関心・計」(24%)の割合がそれぞれ相対的に高い。

【高校生】 進路選択に関する保護者の態度 (全体/単一回答)



12. 保護者の行動・態度

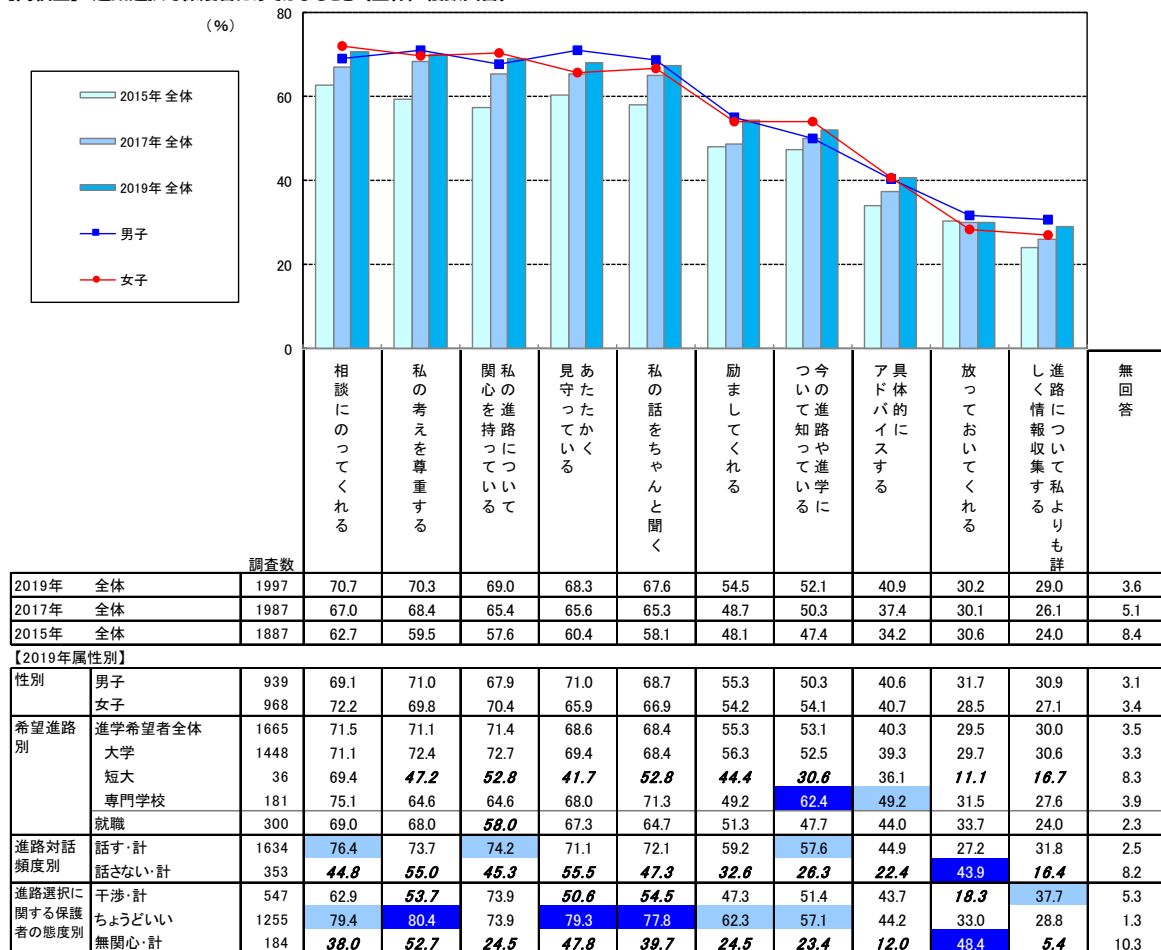
▶ 進路選択での保護者の行動・態度は「相談にのってくれる」「私の考えを尊重する」。

- ① 相談にのってくれる (71%)
- ② 私の考えを尊重する (70%)
- ③ 私の進路について関心を持っている (69%)
- ④ あたたく見守っている (68%)
- ⑤ 私の話をちゃんと聞く (68%)

▶ 上位5項目のうち、進路について話す高校生ほど「相談にのってくれる」「私の進路について関心を持っている」が高い。

- 進路選択に関する保護者の行動・態度を呈示し、自分の保護者にあてはまるものすべてを高校生に選んでもらった。回答上位は上記の通り。過去調査結果と比較すると、上位5項目の順位は入れ替わるが顔ぶれは変わらない。5項目とも過去調査結果と比べてスコアが増加傾向。
- 性別にみると、男子は「私の考えを尊重する」「あたたく見守っている」(71%)が同率トップ。女子は「相談にのってくれる」(72%)がトップ。
- 進路対話頻度別にみると、話す層のほうが「放っておいてくれる」を除く項目のスコアが高く、保護者は幅広い行動・態度で高校生の進路選択に関与していることがわかる。
- 19ページの『進路選択に関する保護者の態度』の回答別にみると、保護者の態度が「ちょうどいい」層では「私の考えを尊重する」「相談にのってくれる」「あたたく見守っている」「私の話をちゃんと聞く」が8割前後に達する。「干渉」層は「進路について私よりも詳しく情報収集する」、「無関心」層では「放っておいてくれる」がそれぞれ他層に比べて高い。

【高校生】 進路選択で保護者にあてはまること (全体/複数回答)



※「2019年全体」降順ソート

※【2019年属性別】

100.0 「2019年全体」より10ポイント以上高い

100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い

100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

12 Kh Q12SQ1

13.保護者にしてほしい行動・態度

▶ 高校生が進路選択で保護者にしてほしい行動・態度は、「私の考えを尊重する」「あたたかく見守っている」。

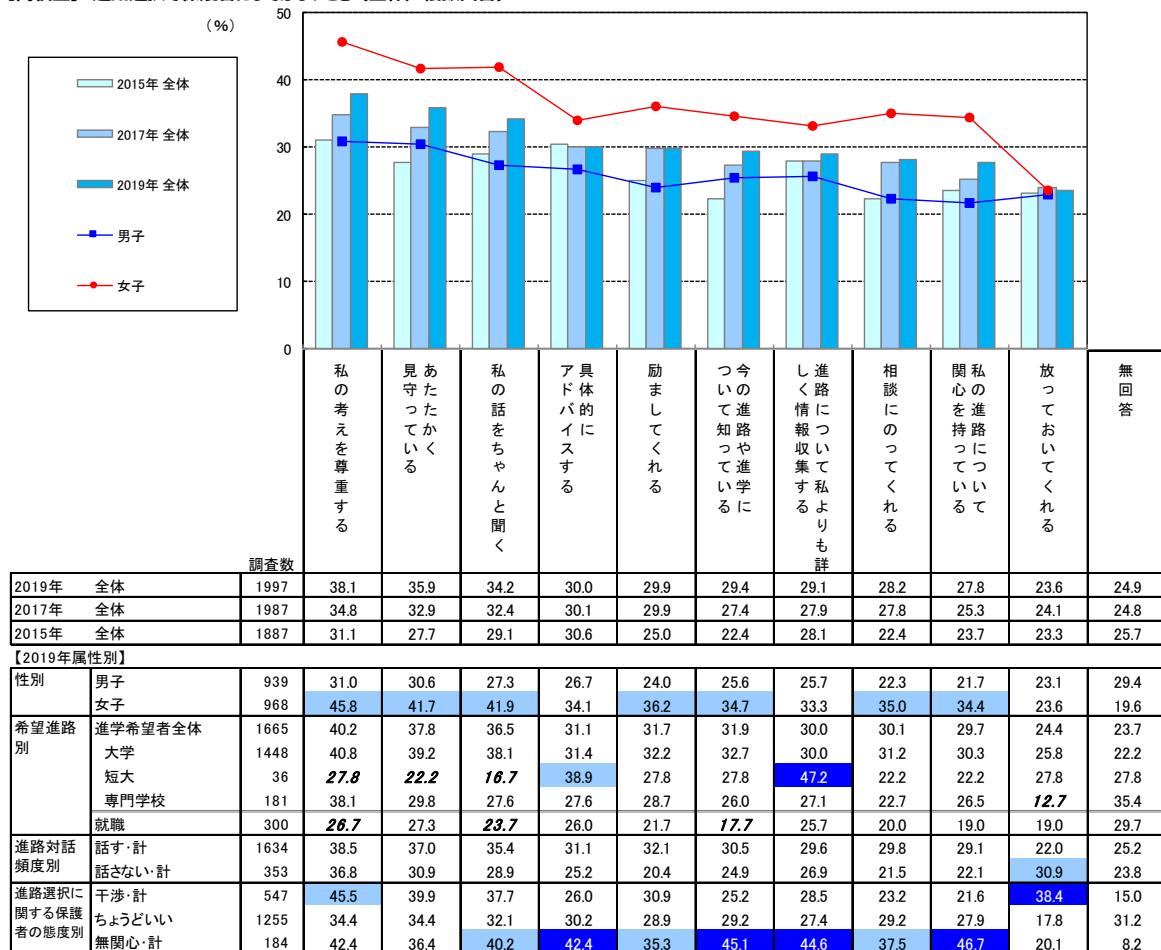
- ①私の考えを尊重する (38%)
- ②あたたかく見守っている (36%)
- ③私の話をちゃんと聞く (34%)
- ④具体的にアドバイスする (30%)
- ⑤励ましてくれる (30%)

▶ 進路選択に関して保護者の態度を「干渉」と感じている高校生は、「考えを尊重」「放っておいてくれる」といった、自身で考えて行動できるような距離感を希望。

一方、「無関心」と感じている高校生は、「アドバイス」「進路や進学について知っている」「情報収集」「進路に関心」といった具体的な関心・関与をそれぞれ希望している。

- 20ページ『保護者の行動・態度』と同じ選択肢を用い、保護者に希望する行動・態度を高校生に選んでもらったところ、回答上位は上記の通り。
過去調査結果と比較すると、「私の考えを尊重する」「あたたかく見守っている」「私の話をちゃんと聞く」「今の進路や進学について知っている」「相談にのってくれる」「私の進路について関心を持っている」などが増加しており、進路選択行動に関わってほしいという要望が増加傾向にあることがうかがわれる。
- 性別にみると、「放っておいてくれる」は同程度、他は女子のスコアが男子を上回り、保護者への要望が幅広い。
- 進路対話頻度別にみると、話さない層は「放っておいてくれる」が話す層に比べ高く、保護者関与に否定的。
- 進路選択に関する保護者の態度別にみると、「干渉」層では「私の考えを尊重する」「放っておいてくれる」が他層に比べ高く、自身で考えて行動できるような環境を希望している。一方、「無関心」層では「具体的にアドバイスする」「今の進路や進学について知っている」「進路について私よりも詳しく情報収集する」「私の進路について関心を持っている」が他層に比べ高く、保護者の積極的な関与を希望している。

【高校生】 進路選択で保護者にしてほしいこと（全体／複数回答）



※「2019年全体」降順ソート

※【2019年属性別】

100.0 「2019年全体」より10ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

13 Kh Q12SQ2

14. 保護者にやめてほしい行動・態度

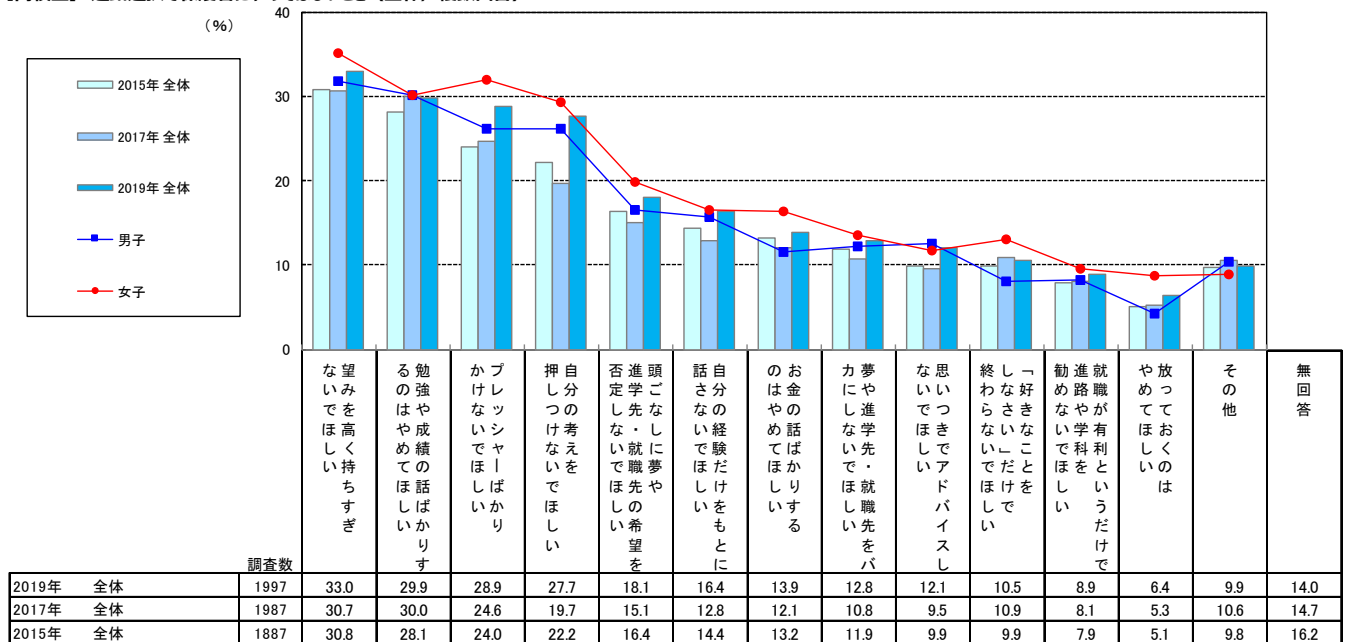
▶ 高校生が進路を考えるうえで保護者にやめてほしい行動・態度は“高望み”と“勉強や成績の話ばかりする”。

- ① 望みを高く持ちすぎないでほしい (33%)
- ② 勉強や成績の話ばかりするのはやめてほしい (30%)
- ③ プレッシャーばかりかけないでほしい (29%)
- ④ 自分の考えを押しつけないでほしい (28%)
- ⑤ 頭ごなしに夢や進学先・就職先の希望を否定しないでほしい (18%)

▶ 進路選択に関して保護者が「干渉」「無関心」と感じている高校生は、やめてほしい行動・態度が多い。

- 高校生に進路を考えるうえで保護者にやめてほしい行動・態度を選んでもらった。トップは「望みを高く持ちすぎないでほしい」、ついで「勉強や成績の話ばかりするのはやめてほしい」。過去調査結果と比較すると上位の顔ぶれは変わらないが、「自分の考えを押しつけないでほしい」は2017年から大きく増加した。
- 性別にみると、男女ともに「望みを高く持ちすぎないでほしい」がトップ。女子のスコアが男子を上回る項目が多く、女子のほうが保護者の行動・態度に対する不満があることがうかがわれる。
- 進路選択に関する保護者の態度別にみると、「干渉」層では「望みを高く持ちすぎないでほしい」「勉強や成績の話ばかりするのはやめてほしい」「プレッシャーばかりかけないでほしい」「自分の考えを押しつけないでほしい」「頭ごなしに夢や進学先・就職先の希望を否定しないでほしい」が全体に比べ高い。一方、「無関心」層では、「お金の話ばかりするのはやめてほしい」が高い他、「『好きなことをしなさい』だけで終わらないでほしい」「放っておくのはやめてほしい」といった、放任に関する項目が全体に比べ高い。

【高校生】 進路選択で保護者にやめてほしいこと（全体／複数回答）



性別		調査数	望みを高く持ちすぎないでほしい	勉強や成績の話ばかりするのはやめてほしい	プレッシャーばかりかけないでほしい	自分の考えを押しつけないでほしい	進学先・就職先の希望を否定しないでほしい	頭ごなしに夢や進学先・就職先の希望を否定しないでほしい	自分の経験だけをもちに話さないでほしい	お金の話ばかりするのはやめてほしい	夢や進学先・就職先をバカにしないでほしい	思いつきでアドバイスしない	「好きなことをしなさい」だけで終わらないでほしい	進路や学業が有利かどうかで進路を押しつけてほしい	放っておくのはやめてほしい	その他	無回答
男子	939	31.8	30.2	26.1	26.2	16.6	15.7	11.5	12.2	12.5	8.1	8.3	4.3	10.4	15.5		
女子	968	35.1	30.1	32.0	29.3	19.9	16.6	16.3	13.5	11.7	13.0	9.5	8.7	8.9	11.7		
希望進路別	進学希望者全体	1665	33.8	31.4	30.5	28.8	18.8	16.2	14.1	13.3	12.3	10.8	9.3	6.4	9.0	13.3	
	大学	1448	34.3	31.7	31.3	28.9	18.4	16.6	14.0	13.4	12.6	10.9	9.5	6.4	8.4	13.0	
	短大	36	41.7	30.6	33.3	30.6	27.8	8.3	13.9	8.3	8.3	13.9	11.1	5.6	11.1		
	専門学校	181	28.2	28.7	23.8	27.6	20.4	14.4	14.9	13.3	9.9	8.8	7.7	6.6	13.8	16.6	
	就職	300	30.7	23.3	21.0	22.0	14.7	17.3	13.0	10.3	11.7	10.0	6.3	6.3	14.0	16.3	
進路対話頻度別	話す・計	1634	32.7	29.9	30.5	26.4	17.7	15.5	13.5	12.3	11.2	9.5	8.4	6.2	9.9	14.3	
	話さない・計	353	34.3	30.9	21.8	33.4	19.8	19.8	16.1	15.0	16.4	14.7	11.3	7.4	9.9	12.7	
進路選択に関する保護者の態度別	干渉・計	547	44.8	48.6	46.6	47.0	28.9	24.3	20.1	20.1	15.0	8.0	16.8	2.7	4.0	3.8	
	ちょうどいい	1255	28.5	22.5	21.8	18.8	12.4	12.3	9.3	8.9	9.7	9.5	5.2	6.4	12.7	19.3	
	無関心・計	184	29.9	26.6	26.1	32.6	25.0	21.7	27.2	18.5	20.1	25.0	10.9	17.9	7.1	5.4	

※「2019年全体」降順ソート ※【2019年属性別】 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

15. 保護者の進路選択行動

1) 子どもの進路選択行動への関与状況

- ▶ 「行ったことがある」行動は進路選択・職業・分野の“アドバイス”が多い。
「今後行いたい」行動は、興味をもった学校について“資料請求”“入試方法を調べる”などの行動。
- ▶ 2015年以降、全般に「行ったことがある」割合が漸増傾向。進路選択行動に関与する時期が早まっている。

- 子どもの進学を希望する保護者に、子どもの進路選択行動10項目それぞれについて保護者としてどう関わっているか、また、今後どうしたいかを尋ねた。
- 子どもが高校2年生の時点で、すでに「行ったことがある」行動は、“アドバイス”に関する行動が多い。
 - ① 子どもに合う分野をアドバイスする (67%)
 - ② 将来の職業をアドバイスする (61%)
 - ③ どんな学部、学科、コースがあるかを調べる (58%)
 - ④ 就職か進学かを選ぶ際にアドバイスする (54%)
- 子どもが高校2年生の時点で、「行ったことはないが今後行いたい」行動は、“資料請求”“入試方法を調べる”。
 - ① 興味をもった学校の資料請求をする (42%)
 - ② 興味をもった学校の入試方法を調べる (42%)
 - ③ 興味をもった学校の見学に行く (34%)
- 過去調査結果と比較して、「行ったことがある」割合が増加している項目が多い。

【保護者】進路選択行動の関わり方（進学希望者／各単一回答）

	(%)	経験意向・計				経験意向・計
		行ったことがある	行ったことはないが、今後行いたい	行ったことはない、今後も行うつもりはない	無回答	
(2019年 n=1123 2017年 n=1192 2015年 n= 946)						
●凡例						
興味をもった学校の入試方法を調べる	2019年	43.5	41.8	10.4	4.4	85.2
	2017年	35.5	49.7	10.5	4.3	85.2
	2015年	30.2	56.1	9.5	4.1	86.4
どんな学部、学科、コースがあるかを調べる	2019年	57.7	27.4	10.9	4.0	85.1
	2017年	49.9	35.7	9.7	4.6	85.7
	2015年	46.0	40.9	9.2	3.9	86.9
子どもに合う分野をアドバイスする	2019年	67.0	17.4	10.8	4.9	84.3
	2017年	60.2	23.7	11.9	4.3	83.8
	2015年	57.1	29.9	8.8	4.2	87.0
子どもに合う学校にどんな学校があるかを調べる	2019年	53.0	30.5	12.2	4.4	83.4
	2017年	47.3	35.9	12.4	4.4	83.2
	2015年	44.6	41.5	9.6	4.2	86.2
興味をもった学校の見学に行く(オープンキャンパス・学校見学会を含む)	2019年	46.9	33.5	15.9	3.7	80.4
	2017年	39.2	41.6	15.7	3.5	80.8
	2015年	32.6	47.5	15.9	4.1	80.0
将来の職業をアドバイスする	2019年	61.2	18.4	16.0	4.4	79.6
	2017年	60.4	23.9	11.2	4.5	84.3
	2015年	58.5	27.4	9.3	4.9	85.8
具体的な受験校を子どもにアドバイスする	2019年	52.9	25.0	17.4	4.7	77.9
	2017年	34.7	41.1	18.9	5.3	75.8
	2015年	32.5	46.6	16.5	4.4	79.1
興味をもった学校の資料請求をする	2019年	30.5	42.2	22.4	4.9	72.7
	2017年	27.6	46.5	21.1	4.9	74.1
	2015年	27.2	51.6	16.4	4.9	78.8
大学か短大か専門学校かを選ぶ際にアドバイスする	2019年	50.9	16.5	27.2	5.4	67.4
	2017年	55.9	16.4	22.8	4.9	72.3
	2015年	54.8	22.1	18.6	4.5	76.8
就職か進学かを選ぶ際にアドバイスする	2019年	54.2	12.7	27.3	5.7	67.0
	2017年	59.1	15.0	21.2	4.7	74.1
	2015年	59.9	20.2	15.2	4.7	80.1

※「経験意向・計」のスコアで降順ソート

15 Hh Q8M

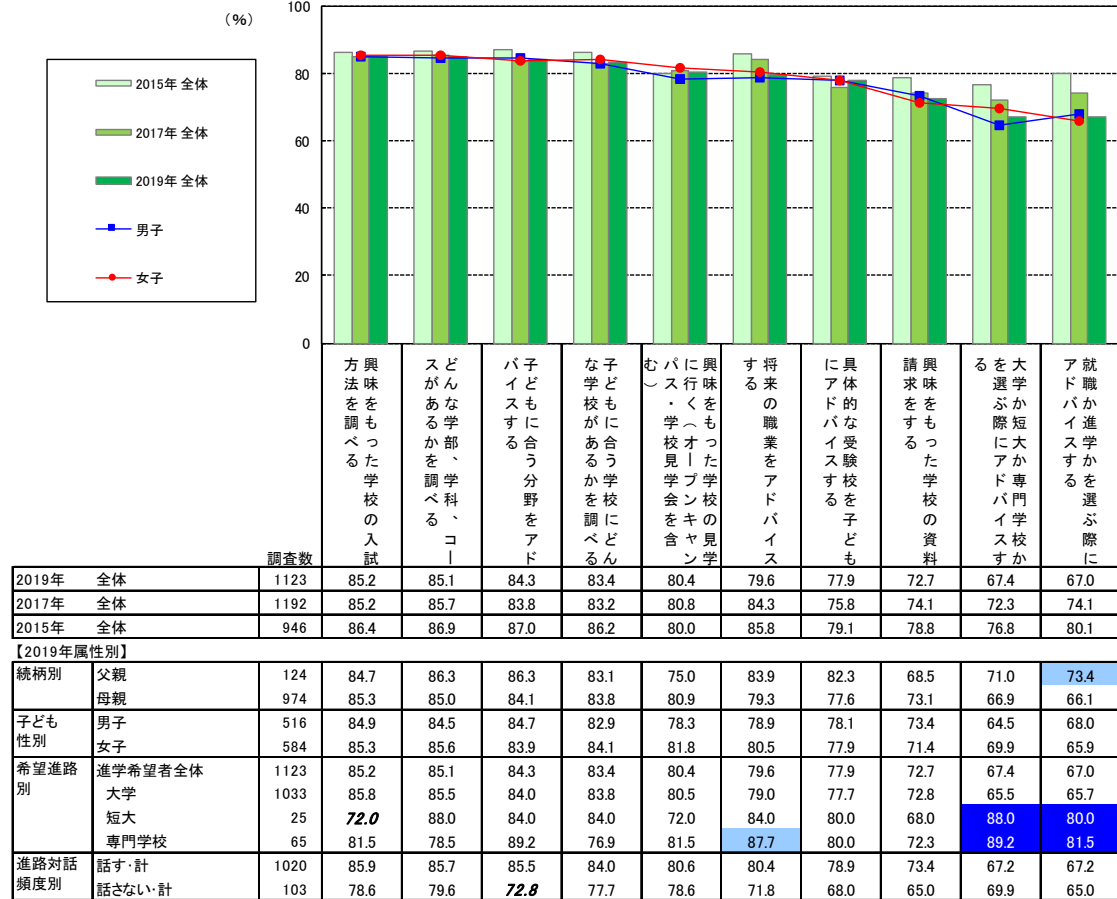
2) 子どもの進路選択行動への関与状況：経験意向・計

▶ 関与の経験意向（「行ったことがある」と「今後行いたい」合計）は、進学先の情報収集と子どもに合う分野のアドバイス。5位には、学校見学がランクイン。

- ① 興味をもった学校の入試方法を調べる (85%)
- ② どんな学部、学科、コースがあるかを調べる (85%)
- ③ 子どもに合う分野をアドバイスする (84%)
- ④ 子どもに合う学校にどんな学校があるかを調べる (83%)
- ⑤ 興味をもった学校の見学に行く (80%)

- 23ページでみた通り、全般に「行ったことがある」割合は2015年から微増の項目が多いが、「今後行いたい」を含む「経験意向・計」の割合で見ると、上位4項目は前回と同程度を維持。前回3位の「将来の職業をアドバイスする」が低下し、「興味をもった学校の見学に行く」がランクインした。
- 続柄別にみると、父親は「就職か進学かを選ぶ際にアドバイスする」が母親に比べて高い。
- 子どもの性別には、大きな差異はみられない。

【保護者】 進路選択行動の関わり方：「経験意向・計（行ったことがある+今後行いたい）」の割合（進学希望者/各単一回答）



※ 「2019年全体」降順ソート ※【2019年属性別】 **100.0** 「2019年全体」より10ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

3) 子どもの進路選択行動に具体的にかかわる理由

▶保護者が子どもの進路選択に関与する理由は、「一緒に考えたい」。

- ①子どもと一緒に考えたいから (71%)
- ②具体的な情報を知らないため進路についての会話ができないから (60%)

●23～24ページ『子どもの進路選択行動への関与状況』で「行ったことがある」「今後行いたい」と回答した保護者に、関与する理由をすべて選んでもらった。

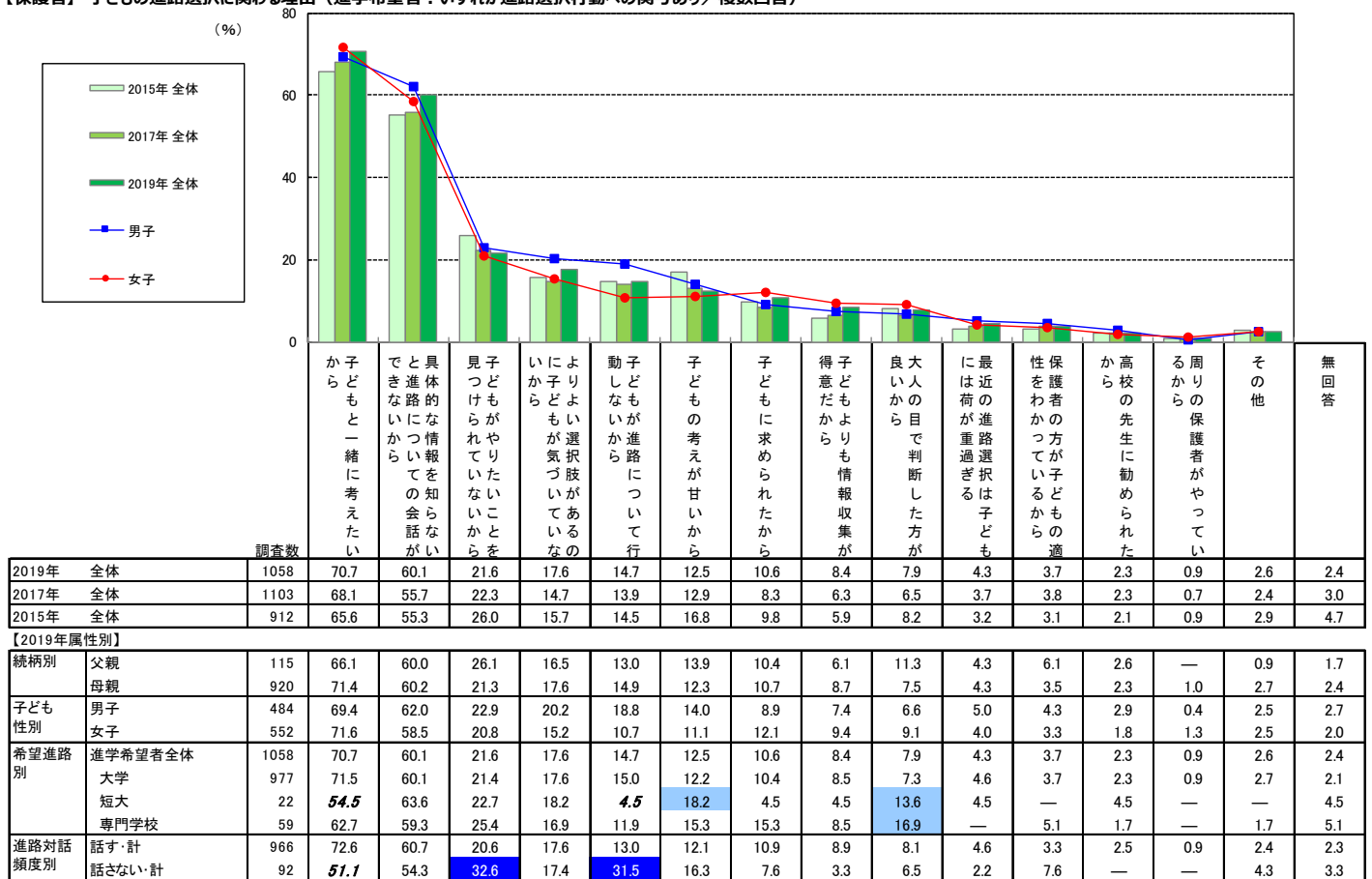
上記の2項目が半数を超えて突出。子どもと一緒に会話しながら協力したいという理由から関与している。

以下、「子どもがやりたいことを見つけられていないから」(22%)、「よりよい選択肢があるのに子どもが気づいていないから」(18%)、「子どもが進路について行動しないから」(15%)が続く。

●続柄別にみると、母親はトップの「子どもと一緒に考えたいから」が父親に比べて高い。

●子どもの性別にみると、男子は女子に比べ「よりよい選択肢があるのに子どもが気づいていないから」「子どもが進路について行動しないから」が高く、男子は女子に比べて進路検討行動が遅い様子が見られる。

【保護者】子どもの進路選択に関わる理由（進学希望者：いずれか進路選択行動への関与あり／複数回答）



※「2019年全体」降順ソート

※【2019年属性別】

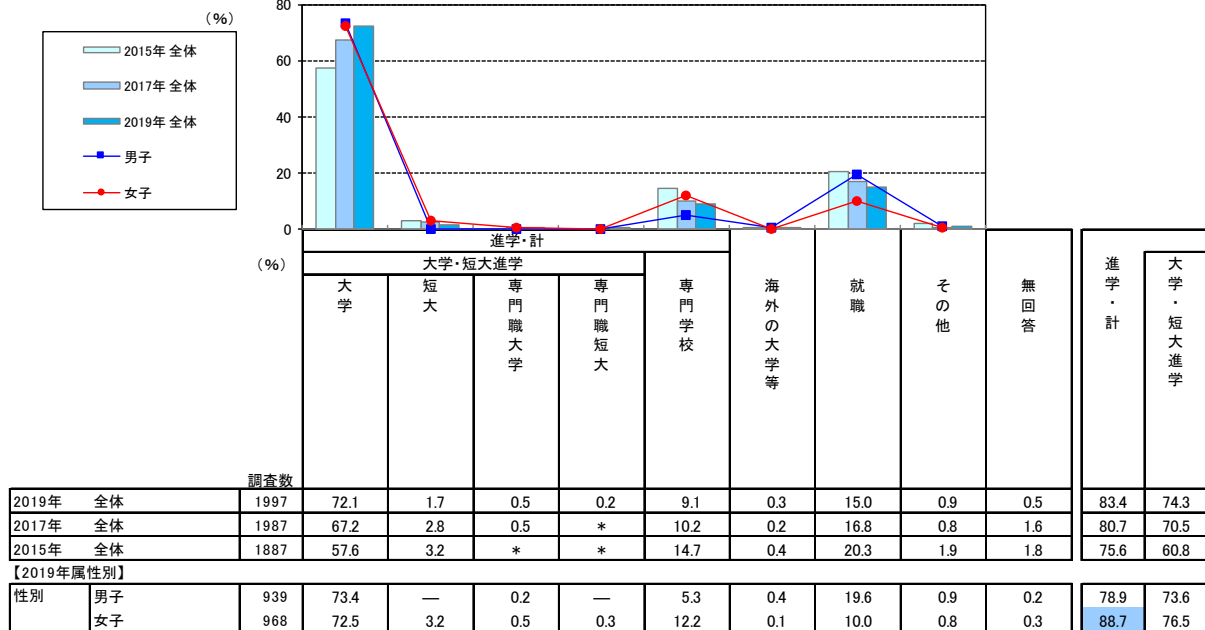
100.0 「2019年全体」より10ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

Ⅱ 進路・将来にまつわる考え

16. 高校卒業後の希望進路

- ▶ 高校卒業後の希望進路は、「大学」が72%、「短大」が2%、「専門学校」が9%。「専門職大学」「専門職短大」まであわせた「進学・計」が83%。就職が15%。
- ▶ 保護者が子どもに希望する進路は、「大学」が57%、「短大」が1%、「専門学校」が4%。「専門職大学」「専門職短大」まであわせた「進学・計」が64%。就職が10%。また、「子どもが希望する進路なら何でもいい」が24%。

【高校生】 高校卒業後の希望進路（全体／単一回答）

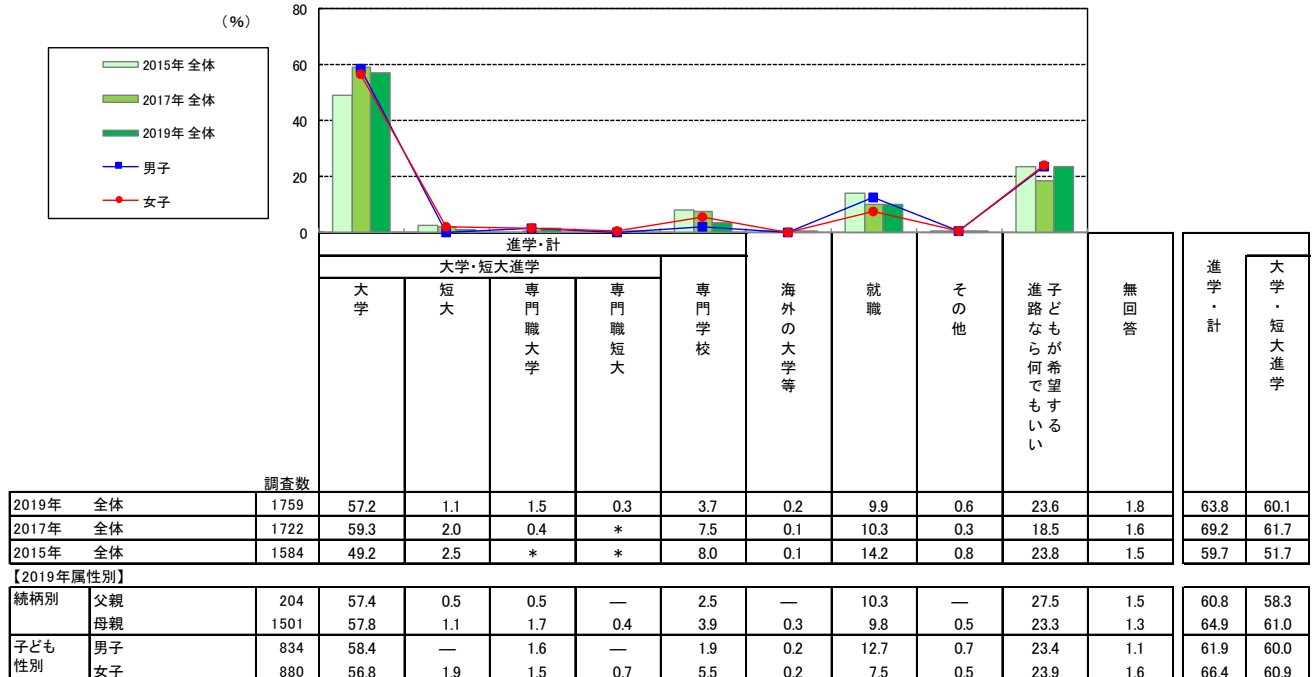


※「*」は該当項目なし

※【2019年属性別】
100.0 「2019年全体」より10ポイント以上高い
100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い
100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

16 Kh Q15

【保護者】 高校卒業後の希望進路（全体／単一回答）



※「*」は該当項目なし

※【2019年属性別】
100.0 「2019年全体」より10ポイント以上高い
100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い
100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

16 Hh Q10

17.進学先検討で重要な情報

▶ 子どもの進学を希望する保護者にとって、進学先検討で重要な情報は「現在の入試制度の仕組み」がトップ。

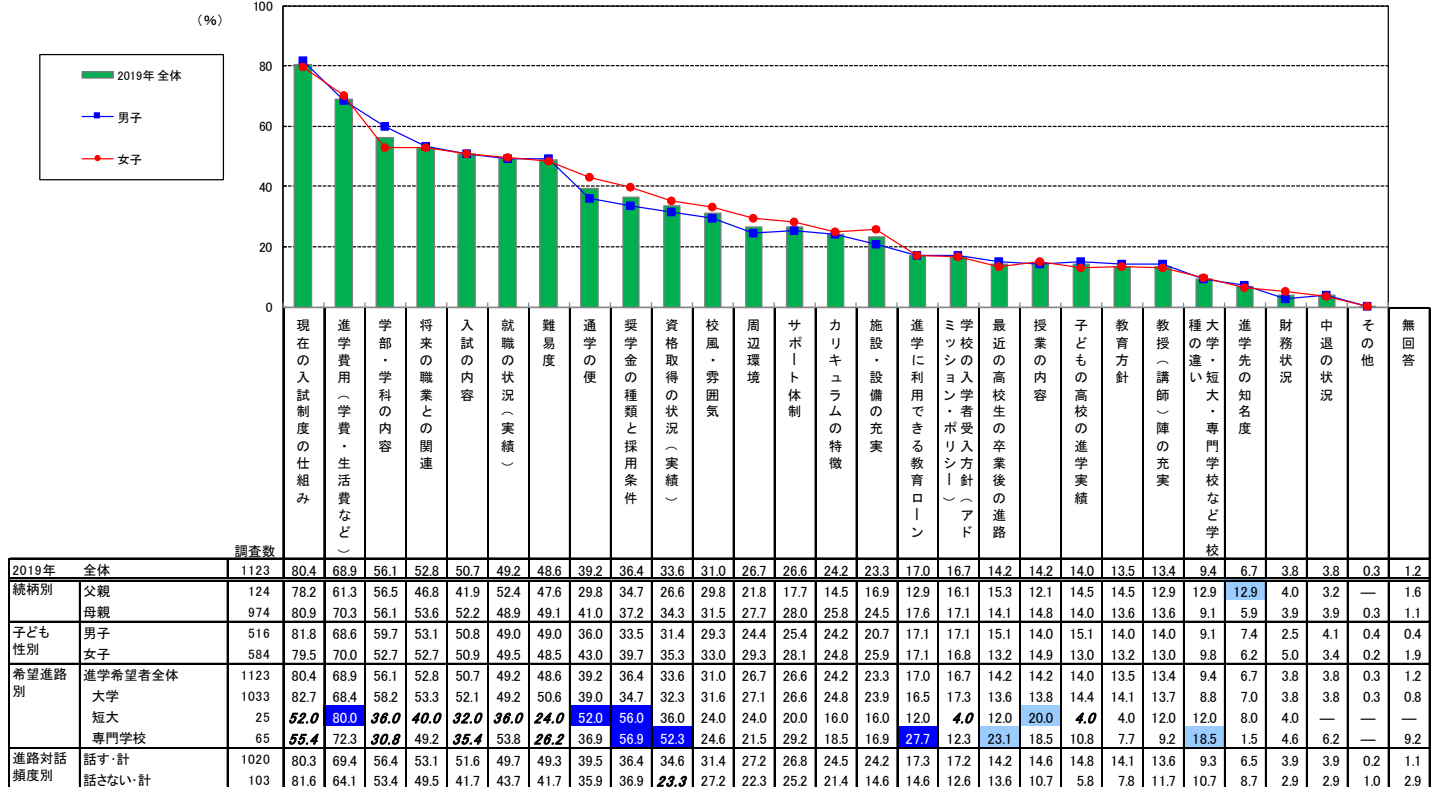
- ①現在の入試制度の仕組み (80%)
- ②進学費用 (69%)
- ③学部・学科の内容 (56%)
- ④将来の職業との関連 (53%)
- ⑤入試の内容 (51%)

●子どもに進学してほしいと思っている保護者に、どのような進学情報が重要だと思うかをすべて選んでもらったところ、回答上位は上記の通り。

「現在の入試制度の仕組み」は8割の保護者が重要と回答、「入試の内容」も5位にランクインしており、入試に関する情報の重要度が高いことがわかる。

●続柄別にみると、母親は父親に比べて「入試の内容」「通学の便」「サポート体制」「カリキュラムの特徴」が高い。

【保護者】 進学先検討で重要な情報 (進学希望者/複数回答)



※「2019年全体」降順ソート

※【2019年属性別】 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上高い

100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い

100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

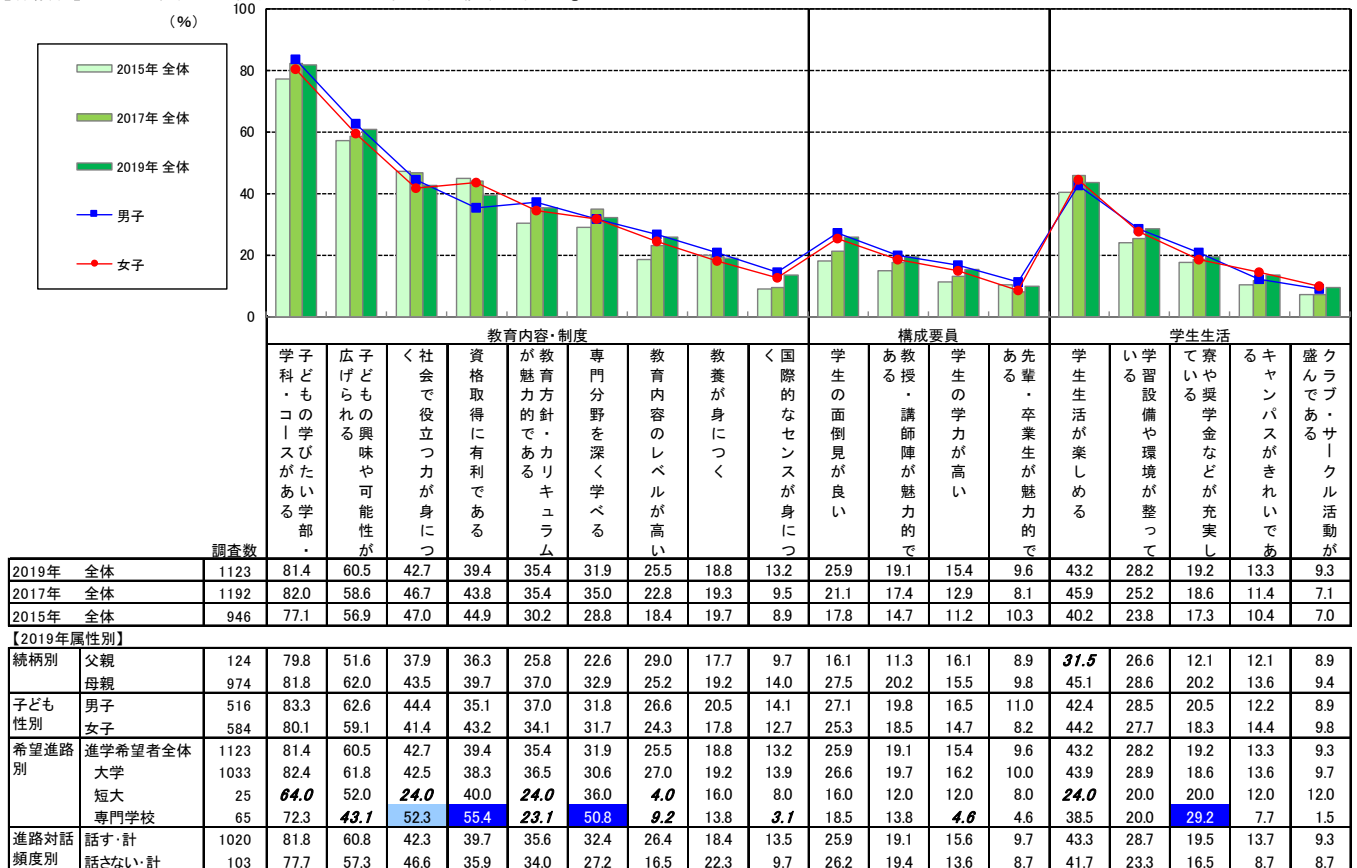
18.進学先検討の重視点

▶ 子どもの進学を希望する保護者が進学先検討で重視するのは、教育内容・制度や卒業後の就職に関する事柄が多い。

- ①教育内容・制度 子どもの学びたい学部・学科・コースがある (81%)
- ②教育内容・制度 子どもの興味や可能性が広げられる (61%)
- ③卒業後 就職に有利である (54%)
- ④卒業後 卒業後に社会で活躍できる (47%)
- ⑤卒業後 将来の選択肢が増える (47%)
- ⑥入試難易度 学費が高くない (46%)
- ⑦学生生活 学生生活が楽しめる (43%)
- ⑧教育内容・制度 社会で役立つ力が身につく (43%)
- ⑨教育内容・制度 資格取得に有利である (39%)
- ⑩ブランド性 校風や雰囲気がい (39%)

●子どもの進学先の学校を考える際に、重視するのはどのようなことか、すべて選んでもらった。回答上位は上記の通り。「子どもの学びたい学部・学科・コースがある」「子どもの興味や可能性が広げられる」が1～2位に挙がり、子ども自身の希望・興味に沿った教育を受けられることを重視していることがわかる。

【保護者】 進学先検討で重視すること (進学希望者/複数回答) ①



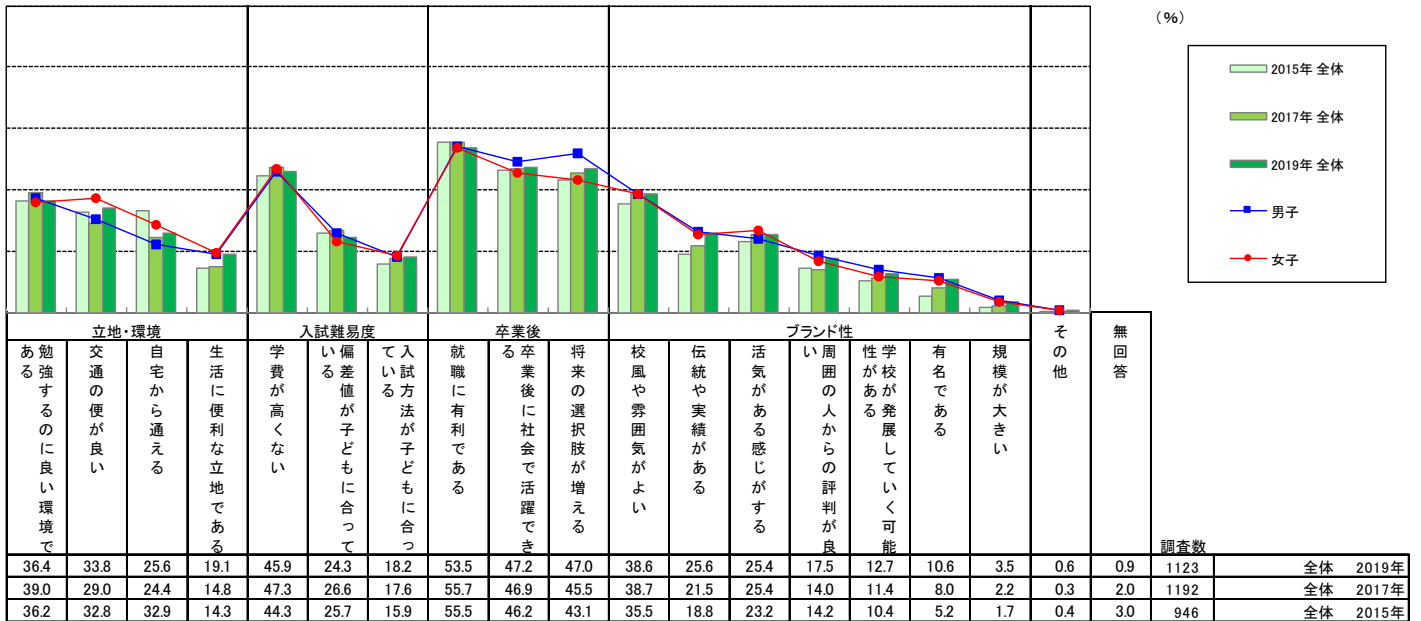
※ カテゴリごと「2019年全体」降順ソート

※【2019年属性別】

100.0 「2019年全体」より10ポイント以上高い
100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い
100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

- 続柄別にみると、父親よりも母親のほうがスコアが高い項目が多く、重視することが幅広い。母親が父親よりも10ポイント以上高い項目は、教育内容・制度：「教育方針・カリキュラムが魅力的である」「子どもの興味や可能性が広げられる」「専門分野を深く学べる」、構成要員：「学生の面倒見が良い」、学生生活：「学生生活が楽しめる」、立地・環境：「交通の便が良い」、入試難易度：「学費が高くない」。
一方、父親のスコアが母親を10ポイント以上上回る項目は、ブランド性：「有名である」。
- 子どもの性別にみると、女子は男子に比べ、教育内容・制度：「資格取得に有利である」が高い他、立地・環境：「交通の便が良い」「自宅から通える」などが高く、地元進学をしてもらいたいという意向がうかがわれる。一方、男子は女子に比べて卒業後：「将来の選択肢が増える」が高い。

【保護者】進学先検討で重視すること（進学希望者／複数回答）②



項目	2015年全体 (%)	2017年全体 (%)	2019年全体 (%)	男子 (%)	女子 (%)	調査数	性別	進路別	対話頻度別
勉強するのに良い環境で	36.4	33.8	25.6	33.8	25.6	1123	父親	続柄別	
交通の便が良い	39.0	29.0	24.4	14.8	47.3	1192	母親		
自宅から通える	36.2	32.8	32.9	14.3	44.3	946	男子	子ども性別	
生活に便利な立地である	36.2	32.8	32.9	14.3	44.3	946	女子		
学費が高くない	33.9	21.0	16.1	35.5	21.0	124	進学希望者全体	希望進路別	
偏値が子どもに合っている	37.2	35.5	26.3	19.5	47.6	974	大学		
入試方法が子どもに合っている	37.0	30.2	22.3	19.0	45.7	516	短大		
就職に有利である	36.0	37.2	28.6	19.2	46.7	584	専門学校		
卒業後に社会で活躍できる	36.4	33.8	25.6	19.1	45.9	1123	進路対話頻度別		
将来の選択肢が増える	38.0	33.3	24.3	19.4	45.1	1033			
校風や雰囲気が良い	20.0	36.0	40.0	12.0	40.0	25			
伝統や実績がある	18.9	41.5	40.0	16.9	60.0	65			
活気がある感じがする	37.3	34.8	24.9	19.4	45.7	1020			
周囲の人の評判が良い	28.2	24.3	32.0	15.5	47.6	103			

19. 家庭の経済事情の進路決定への影響

▶ 保護者の75%が、家庭の経済事情が子どもの進路決定に「影響がある」。

- 保護者に、家庭の経済事情が子どもの進路選択にどの程度影響があるか質問した。「非常に影響がある」が32%、「ある程度影響がある」(43%)を含めた「影響がある・計」は75%。保護者の4分の3が、家庭の経済事情が子どもの進路決定になんらかの影響があると回答。
- 続柄別にみると、「影響がある・計」の割合は、父親が74%、母親が76%。
- 子どもの性別にみると、「影響がある・計」の割合は女子(77%)が男子(74%)に比べやや高い。
- 希望進路別にみると、「影響がある・計」の割合は、進学希望者全体が77%、就職希望者が73%。就職希望者も7割超が影響があると回答。

【保護者】 家庭の経済事情の進路決定への影響（全体／単一回答）

	(n)	影響がある・計			影響がない・計		無回答	影響がある・計	影響がない・計
		非常に影響がある	ある程度影響がある	どちらともいえない	あまり影響がない	まったく影響がない			
●凡例									
2019年 全体	(n= 1759)	32.2	43.6	42.9	11.1	8.6	3.4	75.1	12.0
2017年 全体	(n= 1722)	30.6	43.6	43.6	14.2	7.6	2.0	74.2	9.6
【2019年属性別】									
続柄別									
父親	(n= 204)	27.9	45.6	45.6	13.2	7.8	3.4	73.5	11.3
母親	(n= 1501)	33.0	42.5	42.5	11.1	8.7	3.5	75.5	12.3
子ども性別									
男子	(n= 834)	30.8	42.9	42.9	11.2	10.3	3.7	73.7	14.0
女子	(n= 880)	33.9	43.4	43.4	11.4	6.7	3.3	77.3	10.0
希望進路別									
進学希望者全体	(n= 1123)	31.7	45.6	45.6	9.9	8.6	4.1	77.3	12.7
大学	(n= 1033)	31.8	44.8	44.8	10.2	8.9	4.3	76.6	13.2
短大	(n= 25)	28.0	64.0	64.0	8.0	—	—	92.0	—
専門学校	(n= 65)	32.3	50.8	50.8	6.2	7.7	3.1	83.1	10.8
就職	(n= 175)	37.1	35.4	35.4	13.7	10.9	2.3	72.6	13.1

※「2019年全体」より 10pt以上高い 5pt以上高い 10pt以上低い

19 Hh Q9

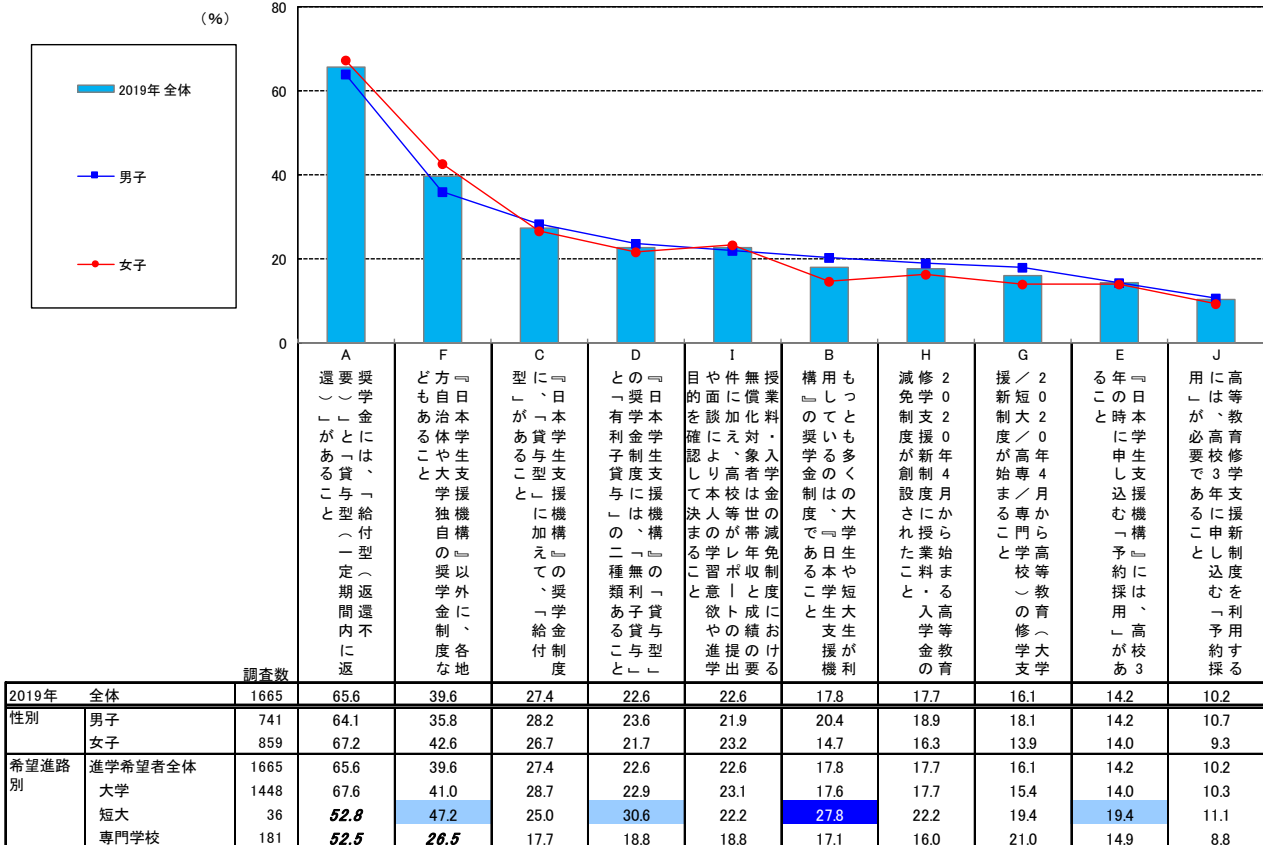
20.進学に関する経済支援の認知

▶ 進学に関する経済支援について、「給付型と貸与型があること」は高校生の66%が認知。

- ①奨学金には、「給付型(返還不要)」と「貸与型(一定期間に返還)」があること (66%)
- ②『日本学生支援機構』以外に、各地方自治体や大学独自の奨学金制度などもあること (40%)
- ③『日本学生支援機構』の奨学金制度に、「貸与型」に加えて、「給付型」があること (27%)
- ④『日本学生支援機構』の「貸与型」の奨学金制度には、「無利子貸与」と「有利子貸与」の二種類あること (23%)
- ④授業料・入学金の減免制度における無償化対象者は世帯年収と成績の要件に加え、高校等がレポートの提出や面談により本人の学習意欲や進学目的を確認して決まること (23%)

- 高校生に対して進学に関する経済支援についての認知を尋ねたところ、「知っていた」の回答上位は上記の通り。
- 男女とも上位の顔ぶれは同様。男子は女子に比べて「もっとも多くの大学生や短大生が利用しているのは、『日本学生支援機構』の奨学金制度であること」、女子は男子に比べて『日本学生支援機構』以外に、各地方自治体や大学独自の奨学金制度などもあること」の認知率がそれぞれ高い。

【高校生】 進学に関する経済支援の認知 (進学希望者/「知っていた」)



※「2019年全体」降順ソート

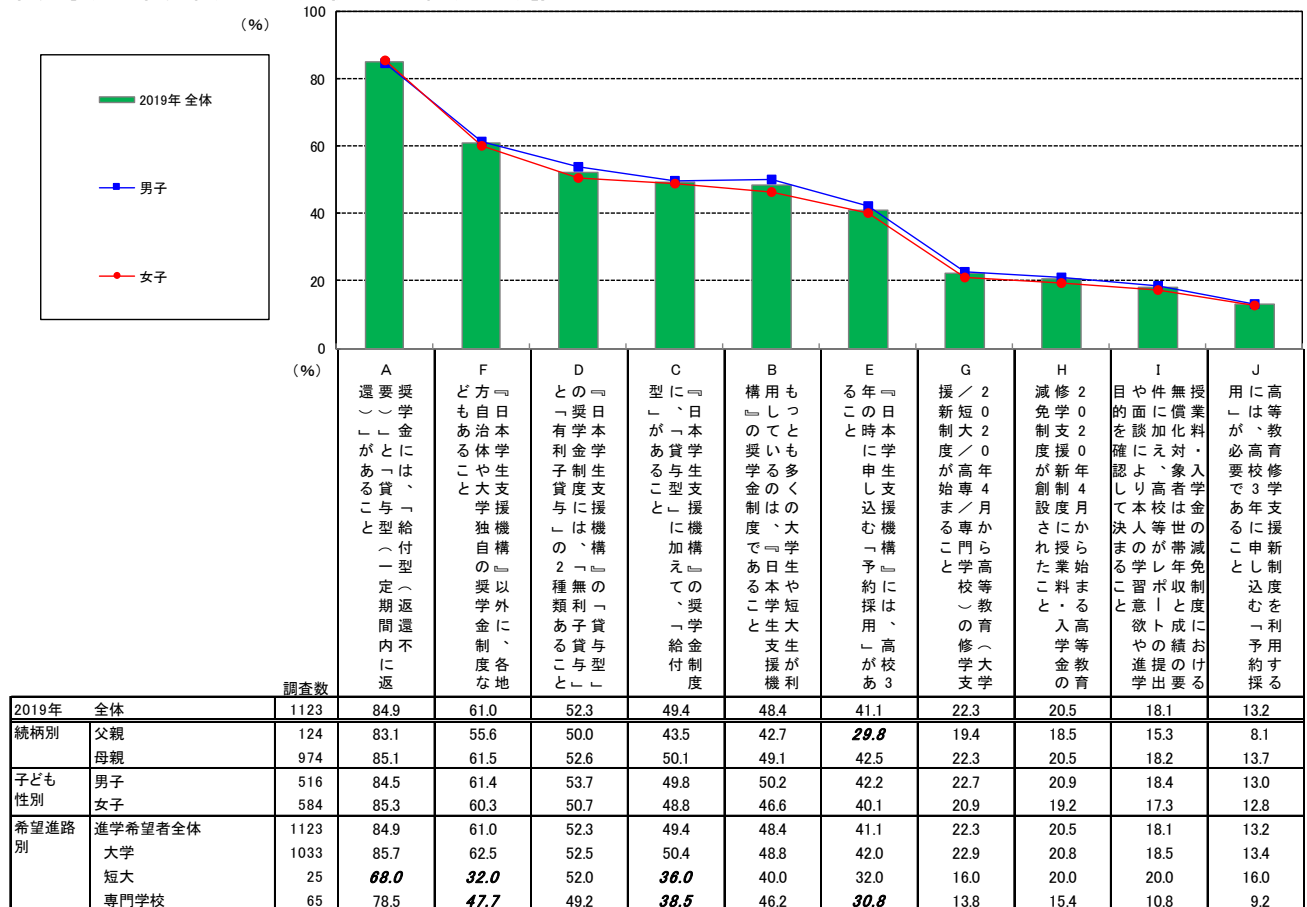
※【2019年属性別】
100.0 「2019年全体」より10ポイント以上高い
100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い
100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

▶ 進学に関する経済支援について、「給付型と貸与型があること」は保護者の8割超が認知。

- ①奨学金には、「給付型(返還不要)」と「貸与型(一定期間内に返還)」があること (85%)
- ②『日本学生支援機構』以外に、各地方自治体や大学独自の奨学金制度などもあること (61%)
- ③『日本学生支援機構』の「貸与型」の奨学金制度には、「無利子貸与」と「有利子貸与」の2種類あること (52%)
- ④『日本学生支援機構』の奨学金制度に、「貸与型」に加えて、「給付型」があること (49%)
- ⑤もっとも多くの大学生や短大生が利用しているのは、『日本学生支援機構』の奨学金制度であること (48%)

- 保護者に対しても、進学に関する経済支援についての認知を尋ねたところ、「知っていた」の回答上位は上記の通り。
- 続柄別にみると、母親が父親に比べて全般に高め。特に、“予約採用”の認知率は母親(43%)が父親(30%)に比べて高い。

【保護者】 進学に関する経済支援の認知 (進学希望者/「知っていた」)



※「2019年全体」降順ソート

※【2019年属性別】

100.0 「2019年全体」より10ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

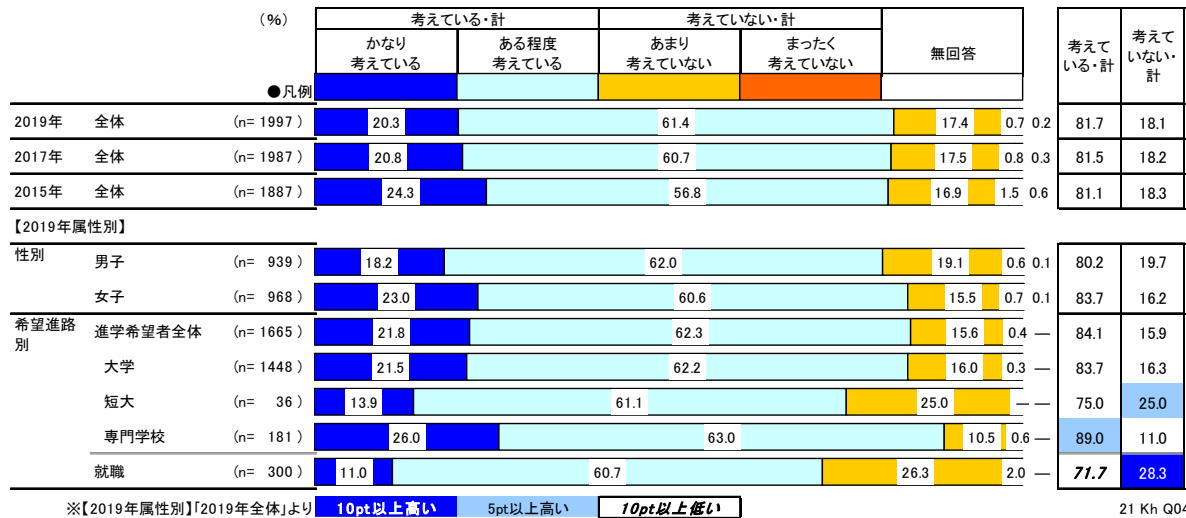
Ⅲ 進路・将来にまつわる期待と不安

21.進路意識と将来への自信

▶ 高校生の82%が進路について「考えている」。76%が自分の進路を歩んでいけると「思う」。

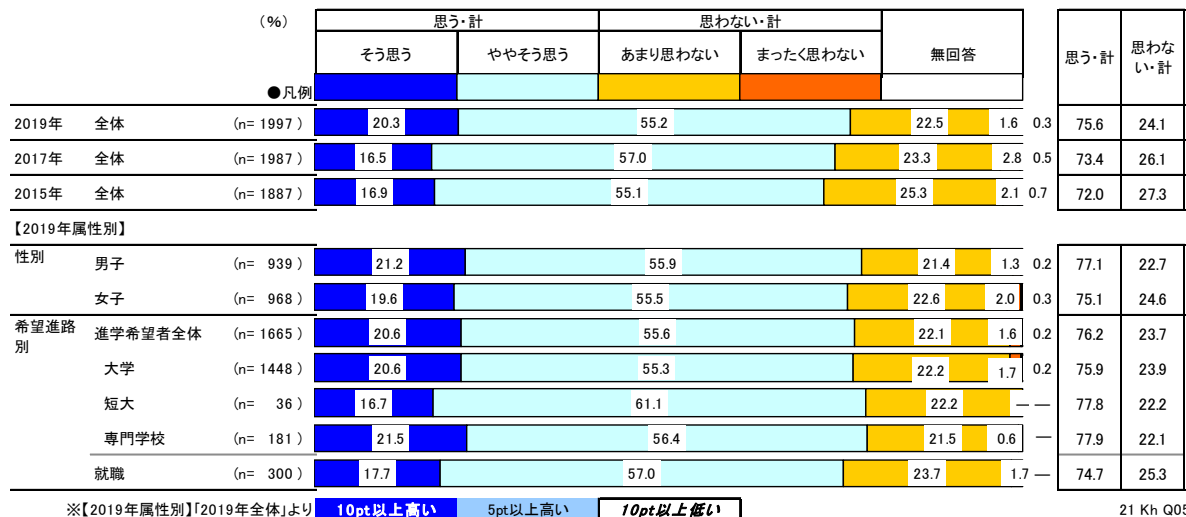
- 高校2年生の時点で進路選択についてどの程度考えているか高校生に質問したところ、20%が「かなり考えている」と回答。「ある程度考えている」(61%)とあわせると82%が進路について考えている(考えている・計)。
- 性別にみると、「考えている・計」の割合は女子(84%)が男子(80%)に比べてわずかに高い。
- 希望進路別にみると、「考えている・計」は、進学希望者全体(84%)が就職希望者(72%)に比べて高い。
- また、これからいろいろなことがあっても自分の進路を歩んでいけそうか高校生に質問したところ、「そう思う」は20%、「ややそう思う」(55%)を含めた76%が自分の進路を歩んでいけそうと思っている(思う・計)。
- 性別にみると、「思う・計」に大きな差異はみられない。
- 希望進路別にみると、「思う・計」は、進学希望者全体(76%)と就職希望者(75%)に大きな差異はみられない。

【高校生】 自分の進路選択について考えているか (全体/単一回答)



21 Kh Q04

【高校生】 自分の進路を歩んでいけそうか (全体/単一回答)



21 Kh Q05

22.進路を考えたときの気持ち

▶進路を考えたとき、高校生の69%が「不安」

- 高校生に進路を考えたとき、どんな気持ちになるか質問したところ、「楽しい気持ち」は8%。「どちらかという楽しい気持ち」(19%)をあわせて27%が「楽しい」と回答(楽しい・計)。一方、「どちらかという不安」(40%)、「不安な気持ち」(30%)を含めた「不安・計」は69%。進路に不安を感じている高校生が7割を占めている。
- 性別にみると、女子は男子に比べて「不安・計」がわずかに高い。
- 進路対話頻度別にみると、保護者と進路について話す層では「楽しい・計」が30%で話さない層(16%)に比べて高い。
- さらに、進路を考えたときの気持ち別に保護者と進路について話す内容(6ページ参照)をみると、「楽しい気持ち・計」と回答した高校生は将来の「夢」「生き方」が高く、自分の将来への希望を保護者と話していることがわかる。

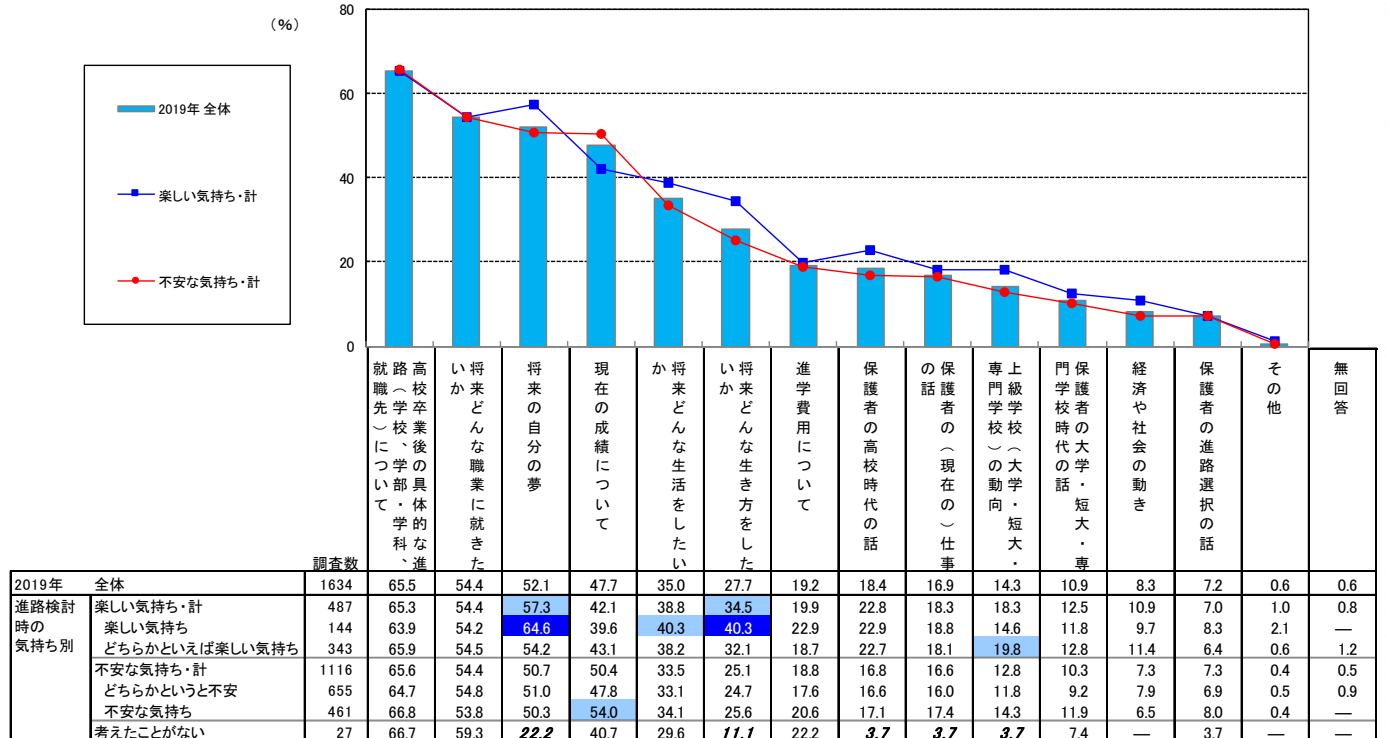
【高校生】 進路を考えたとき、どんな気持ちになるか(全体/単一回答)

	(%)	楽しい・計		不安・計		考えたことがない	無回答	楽しい・計	不安・計
		楽しい気持ち	どちらかという楽しい気持ち	どちらかという不安	不安な気持ち				
●凡例									
2019年 全体 (n=1997)		8.2	19.2	39.9	29.5	3.0	0.3	27.3	69.4
2017年 全体 (n=1987)		6.4	16.5	41.4	30.4	4.9	0.4	22.9	71.8
2015年 全体 (n=1887)		7.5	14.7	41.1	31.2	4.7	0.8	22.3	72.2
【2019年属性別】									
性別									
男子 (n=939)		8.6	19.9	41.4	25.8	3.9	0.3	28.5	67.2
女子 (n=968)		7.5	18.5	38.9	33.1	1.8	0.2	26.0	72.0
希望進路別									
進学希望者全体 (n=1665)		8.4	20.1	39.2	30.3	1.9	0.1	28.5	69.5
大学 (n=1448)		7.8	20.3	39.8	30.6	1.3	0.1	28.1	70.4
短大 (n=36)		16.7	13.9	22.2	38.9	8.3	—	30.6	61.1
専門学校 (n=181)		11.6	19.9	37.0	26.5	5.0	—	31.5	63.5
就職 (n=300)		6.3	15.0	44.7	25.7	8.0	0.3	21.3	70.3
進路対話頻度別									
話す・計 (n=1634)		8.8	21.0	40.1	28.2	1.7	0.2	29.8	68.3
話さない・計 (n=353)		5.4	10.5	39.1	35.7	9.1	0.3	15.9	74.8

※【2019年属性別】「2019年全体」より 10pt以上高い 5pt以上高い 10pt以上低い

22 Kh Q06

【高校生】 進路について保護者とどんな話をしているか(よく話をする〜ときどき話をする/複数回答)



※「2019年全体」降順ソート ※【2019年属性別】 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上高い 100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

22 Kh Q01SQ1

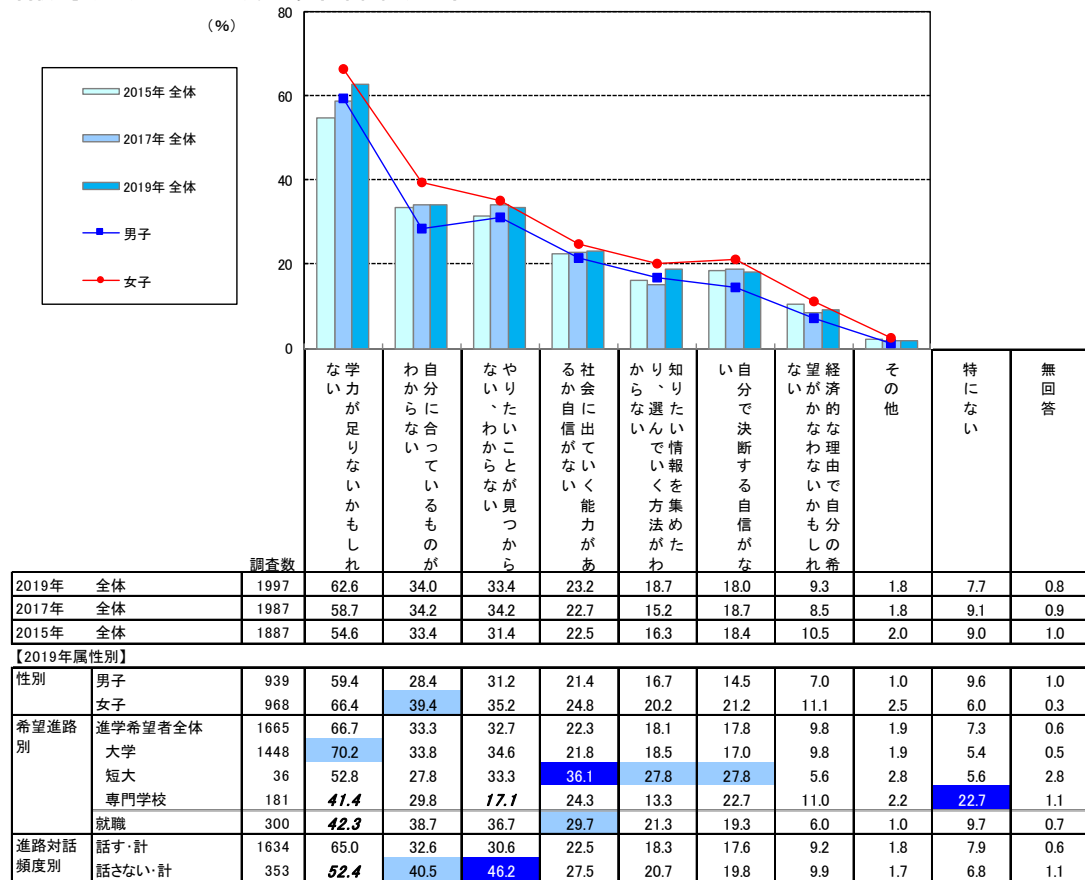
23.進路選択についての気付き

▶ 進路選択について高校生の最大の気付きは「学力不足」。

- ① 学力が足りないかもしれない (63%)
- ② 自分に合っているものがわからない (34%)
- ③ やりたいことが見つからない、わからない (33%)

- 高校生に進路選択についての気付きをすべて選んでもらった。トップは「学力が足りないかもしれない」(63%)。過去調査と比較して、上位の顔ぶれは変わらないが、“学力”への気付きが増加傾向。
- 性別にみると、女子は男子に比べ「自分に合っているものがわからない」が高い他、全般にスコアが高く、気付きが多いことがわかる。
- 希望進路別にみると、就職希望者は進学希望者全体に比べて「社会に出ていく能力があるか自信がない」が高い。進路として就職を希望しているものの、社会でやっていく能力があるかどうかは気付きとして感じている。
- 進路対話頻度別にみると、話す層は話さない層に比べ「学力が足りないかもしれない」が高い。一方、話さない層では「自分に合っているものがわからない」「やりたいことが見つからない、わからない」が話す層に比べ高い。

【高校生】 進路選択についての気付き (全体/複数回答)



※ 「2019年全体」降順ソート ※【2019年属性別】

- 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上高い
- 100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い
- 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

24. 将来についての気付き

1) 高校生の将来について気付きはあるか

▶ 高校生の77%、保護者の74%が、高校生の将来について気付きが「ある」。

- 将来について気付きなことがあるかという質問に、高校生の77%が「ある」と回答。
- 性別にみると、「ある」の割合は、女子(84%)が男子(72%)よりも高い。
- 希望進路別にみると、「ある」の割合は、進学希望者全体(80%)が就職希望者(66%)に比べて高い。
- 同様に保護者にも、子どもの将来について気付きはあるか尋ねたところ、74%が「ある」と回答。
- 続柄別にみると、「ある」の割合は、母親(75%)が父親(68%)よりも高い。
- 子どもの性別にみると、「ある」の割合は、男子(77%)が女子(71%)よりも高い。
- 希望進路別にみると、「ある」の割合は、就職希望者(82%)が進学希望者(74%)に比べて高い。

【高校生】 将来について気付きなことはあるか (全体/単一回答)

		(%)	ある	ない	将来について考えたことがない	無回答		
●凡例								
2019年	全体 (n= 1997)		77.1			18.1	3.3	1.5
性別	男子 (n= 939)		71.8			22.7	4.6	1.0
	女子 (n= 968)		84.1			13.3	1.7	0.9
希望進路別	進学希望者全体 (n= 1665)		79.6			16.3	2.9	1.2
	大学 (n= 1448)		81.4			14.6	3.0	1.0
	短大 (n= 36)		66.7			25.0	5.6	2.8
	専門学校 (n= 181)		67.4			27.6	2.2	2.8
	就職 (n= 300)		65.7			28.7	4.3	1.3

24 Kh Q18

【保護者】 子どもの将来について気付きなことはあるか (全体/単一回答)

		(%)	ある	ない	子どもの将来についてまだ考えたことがない	無回答		
●凡例								
2019年	全体 (n= 1759)		73.5			19.6	2.8	4.2
続柄別	父親 (n= 204)		67.6			25.0	3.9	3.4
	母親 (n= 1501)		74.6			19.1	2.7	3.6
子ども性別	男子 (n= 834)		76.6			18.7	1.7	3.0
	女子 (n= 880)		71.3			20.6	4.0	4.2
希望進路別	進学希望者全体 (n= 1123)		73.5			19.3	3.1	4.1
	大学 (n= 1033)		73.9			18.6	3.3	4.3
	短大 (n= 25)		68.0			24.0	4.0	4.0
	専門学校 (n= 65)		69.2			29.2	—	1.5
	就職 (n= 175)		82.3			13.7	2.9	1.1

24 Hh Q14

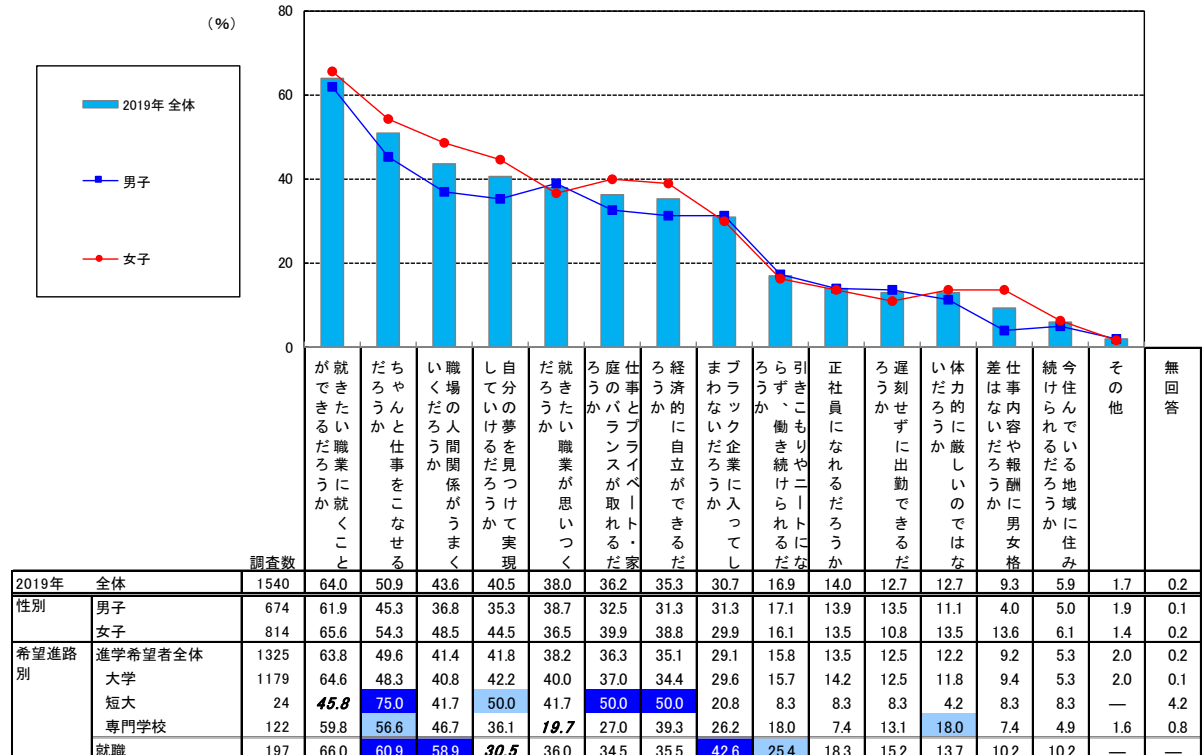
2) 将来について気がかりなこと

▶ 将来について、高校生の最大の気がかりは「就きたい職業に就けるか」。

- ① 就きたい職業に就くことができるだろうか (64%)
- ② ちゃんと仕事をこなせるだろうか (51%)
- ③ 職場の人間関係がうまくいだろうか (44%)
- ④ 自分の夢を見つけて実現していけるだろうか (41%)
- ⑤ 就きたい職業が思いつくだろうか (38%)

- 36ページで『将来について気がかり』が「ある」と回答した高校生と保護者に、具体的に気がかりな内容をすべて選んでもらった。高校生の回答上位は上記の通り。
- 性別にみると、男女いずれも「就きたい職業に就くことができるだろうか」がトップ。女子は男子に比べて「職場の人間関係がうまくいだろうか」が10ポイント以上高い他、「ちゃんと仕事をこなせるだろうか」「自分の夢を見つけて実現していけるだろうか」「仕事とプライベート・家庭のバランスが取れるだろうか」「経済的に自立ができるだろうか」「仕事内容や報酬に男女格差はないだろうか」が高く、将来についての気がかりが男子に比べて多いことがうかがわれる。
- 希望進路別にみると、進学希望者全体は就職希望者に比べて、「自分の夢を見つけて実現していけるだろうか」が高い。就職希望者は「ちゃんと仕事をこなせるだろうか」「職場の人間関係がうまくいだろうか」「ブラック企業に入ってしまうだろうか」が進学希望者に比べて高く、働くことについての内容や環境を気がかりなこととして挙げている。

【高校生】 将来について気がかりなこと（気がかりが「ある」回答者／複数回答）



※「2019年全体」降順ソート ※【2019年属性別】 **100.0** 「2019年全体」より10ポイント以上高い
100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い
100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

▶ 子どもの将来について、保護者の気がかりも「就きたい職業に就けるか」。

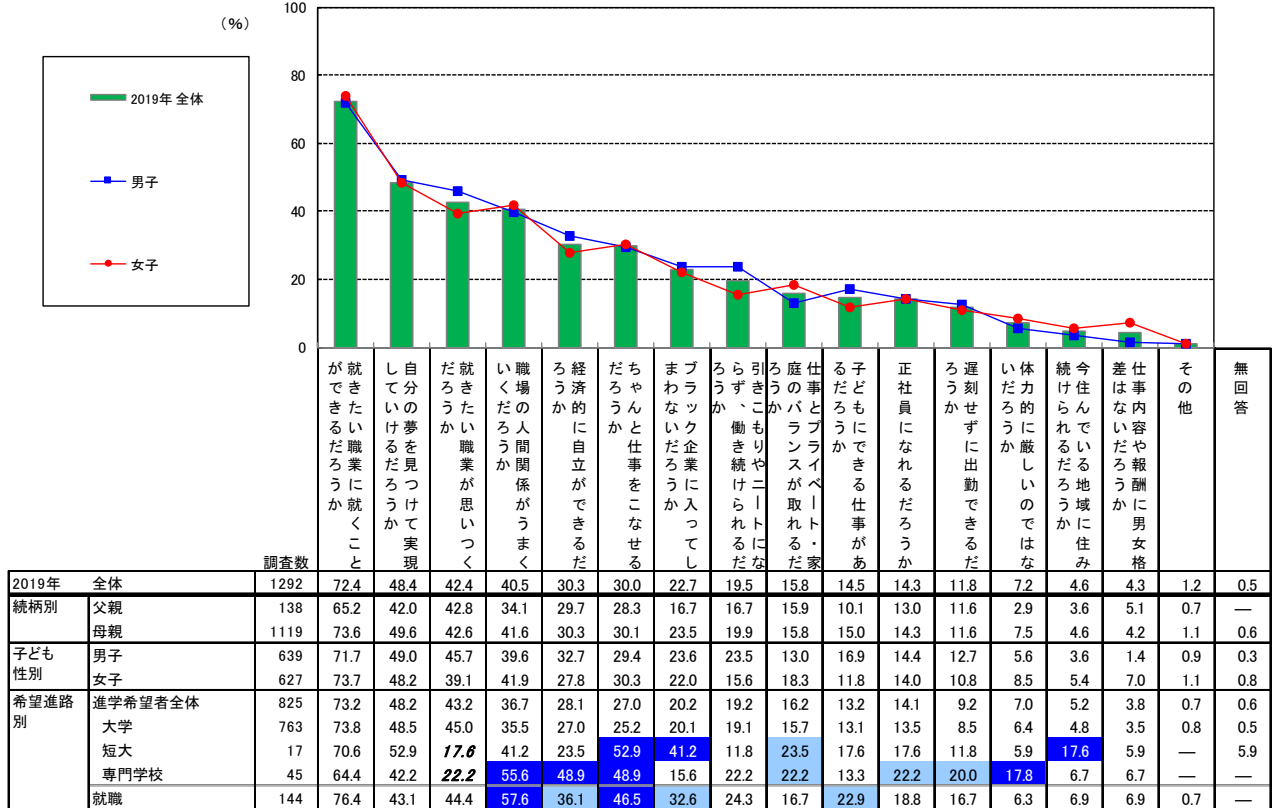
- ① 就きたい職業に就くことができるだろうか (72%)
- ② 自分の夢を見つけて実現していけるだろうか (48%)
- ③ 就きたい職業が思いつくだろうか (42%)
- ④ 職場の人間関係がうまくいくだろうか (41%)
- ⑤ 経済的に自立ができるだろうか (30%)

- 保護者の回答上位は上記の通り。「就きたい職業に就くことができるだろうか」(72%)が突出。
- 続柄別にみると、父親・母親とも上位の顔ぶれは概ね同様だが、母親はトップ2「就きたい職業に就くことができるだろうか」「自分の夢を見つけて実現していけるだろうか」が父親に比べて高く、就きたい職業・やりたいことを実現できるかへの気がかりが強い。ほか「職場の人間関係がうまくいくだろうか」「ブラック企業に入ってしまうのだろうか」が父親に比べて高い。
- 子どもの性別にみると、男子は「就きたい職業が思いつくだろうか」「引きこもりやニートにならず、働き続けられるだろうか」「子どもにできる仕事があるだろうか」が女子に比べ高く、女子は「仕事とプライベート・家庭のバランスが取れるだろうか」が男子に比べて高い。
- 希望進路別にみると、いずれの進路もトップは「就きたい職業に就くことができるだろうか」が7割超。就職希望者では、2位が「職場の人間関係がうまくいくだろうか」(58%)で過半数に達する。

▶ 高校生・保護者ともトップは「就きたい職業に就くことができるだろうか」。
 高校生の2位は「仕事をこなせるか」、保護者の2位は「夢を見つけて実現」。

- 高校生、保護者とも気がかりなことのトップは「就きたい職業に就くことができるだろうか」で共通だが、スコアは保護者(72%)が高校生(64%)よりも高い。
- 2位には、高校生は「仕事をこなせるか」、保護者は「夢を見つけて実現」が続き、将来の気がかりについて捉え方が異なることがうかがわれる。

【保護者】 将来について気がかりなこと（気がかりがある）／複数回答



※ 「2019年全体」降順ソート ※ [2019年属性別] **100.0** 「2019年全体」より10ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

25. 将来就きたい・就いてほしい職業／その理由

1) 高校生が将来就きたい職業

▶ 高校生の57%が就きたい職業が「ある」。

▶ 就きたい職業のトップは「教師」。以下、「公務員」「看護師」など安定したイメージの職業が上位。

男子は「公務員」「教師」「建築士・建築関連」、女子は「看護師」「教師」「保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連」が人気。

● 高校生に将来就きたい職業はあるか尋ねたところ、「ある」が半数強(57%)。

● 性別にみると、「ある」の割合は女子(65%)が男子(50%)を大きく上回る。

● 具体的に就きたい職業は、「教師」が最も多く、「公務員」「看護師」「建築士・建築関連」が続く。

● 男子は、「公務員」が最多。以下「教師」「建築士・建築関連」「医師・歯科医師・獣医」「技術者・研究者」。

女子は、「看護師」が最多。以下「教師」「保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連」「公務員」「医師・歯科医師・獣医」。

→フリーコメントは41ページに掲載

【高校生】 将来、就きたい職業があるか (全体/単一回答)

		(%)	ある	ない	考えたことがない	無回答
●凡例						
2019年	全体 (n= 1997)		56.7	34.8	7.1	1.4
2017年	全体 (n= 1987)		54.7	32.8	11.3	1.2
2015年	全体 (n= 1887)		55.7	32.2	9.4	2.8
【2019年属性別】						
性別	男子 (n= 939)		49.9	38.2	10.3	1.5
	女子 (n= 968)		64.7	31.1	3.7	0.5
希望進路別	進学希望者全体 (n= 1665)		58.5	35.1	5.5	1.0
	大学 (n= 1448)		55.3	38.4	5.3	1.0
	短大 (n= 36)		77.8	13.9	8.3	—
	専門学校 (n= 181)		80.1	12.7	6.1	1.1
	就職 (n= 300)		49.3	34.3	14.7	1.7

25 Kh Q19

【高校生】就きたい職業ランキング (就きたい職業が「ある」・職業回答者/自由回答)

全体 (n=1093)	
順位	職業
1	教師 11.4
2	公務員 10.0
3	看護師 9.1
4	建築士・建築関連 6.1
5	医師・歯科医師・獣医 5.9
6	技術者・研究者 4.3
7	保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連 4.2
8	薬剤師 3.0
9	製造業 (自動車・造船など) 2.9
10	放射線技師・臨床検査技師 2.7
	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ 2.7
	エンジニア・プログラマー・IT関連 2.7
13	調理師・シェフ・パティシエ・フード関連 2.2
14	イラストレーター・アニメーター・ゲーム関連 1.8
15	俳優・ミュージシャン・声優・芸能関連 1.7
	美容師・ヘアメイクアーティスト・美容関連 1.7
	会社員 1.7
18	トリマー・動物関連 1.6
	デザイナー・設計士 1.6
	司書・学芸員 1.6

(%)

男子 (n= 455)	
順位	職業
1	公務員 15.6
2	教師 14.9
3	建築士・建築関連 10.5
4	医師・歯科医師・獣医 7.5
5	技術者・研究者 7.3
6	製造業 (自動車・造船など) 6.6
7	エンジニア・プログラマー・IT関連 5.3
8	薬剤師 2.6
9	看護師 2.2
	調理師・シェフ・パティシエ・フード関連 2.2
	会社員 2.2

女子 (n= 601)	
順位	職業
1	看護師 14.6
2	教師 8.8
3	保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連 7.2
4	公務員 6.2
5	医師・歯科医師・獣医 4.8
6	放射線技師・臨床検査技師 3.8
7	薬剤師 3.5
8	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ 3.3
9	美容師・ヘアメイクアーティスト・美容関連 2.8
	建築士・建築関連 2.8

2) 保護者が子どもに将来就いてほしい職業

- ▶ 保護者の11%が子どもに就いてほしい職業が「ある」。79%が「子どもが希望する職業なら何でもよい」。
- ▶ 就いてほしい職業は「公務員」が突出。以下「看護師」「教師」「医療事務・医療関連」「医師・歯科医師・獣医」「薬剤師」など雇用が安定したイメージがある職業や医療系の職種が上位。

- 保護者に、子どもに将来就いてほしい職業はあるか尋ねたところ、「子どもが希望する職業なら何でもよい」(79%)が過半数を占める。就いてほしい職業が「ある」は11%。
 - 具体的に就いてほしい職業を尋ねたところ、「公務員」が突出。次いで「看護師」「教師」「医療事務・医療関連」「医師・歯科医師・獣医」「薬剤師」が続く。
 - 男子の保護者は、「公務員」が突出。以下「教師」「医師・歯科医師・獣医」「薬剤師」「医療事務・医療関連」「技術者・研究者」が続く。
女子の保護者は、「公務員」がトップ、2位「看護師」までが20%超。以下、「医療事務・医療関連」「教師」。
- フリーコメントは41ページに掲載

【保護者】 将来、子どもに就いてほしい職業はあるか（全体/単一回答）

			ある	子どもが希望する職業なら何でもよい	今まで考えたことがない	特にない	無回答
●凡例							
2019年	全体	(n= 1759)	11.4	78.5	1.6	5.4	3.1
2017年	全体	(n= 1722)	15.3	72.6	3.0	4.0	5.1
2015年	全体	(n= 1584)	14.5	75.1	2.5	4.0	4.0
【2019年属性別】							
続柄別	父親	(n= 204)	12.7	75.5	2.0	7.8	2.0
	母親	(n= 1501)	11.4	79.3	1.5	5.1	2.7
子ども性別	男子	(n= 834)	11.0	79.0	1.9	5.4	2.6
	女子	(n= 880)	12.0	78.9	1.3	5.3	2.5
希望進路別	進学希望者全体	(n= 1123)	13.7	76.8	1.7	5.0	2.8
	大学	(n= 1033)	13.2	77.2	1.7	5.2	2.7
	短大	(n= 25)	28.0	60.0	4.0	4.0	4.0
	専門学校	(n= 65)	16.9	76.9	—	1.5	4.6
	就職	(n= 175)	11.4	78.3	1.7	7.4	1.1

25 Hh Q15

【保護者】就いてほしい職業ランキング（就いてほしい職業が「ある」・職業回答者/自由回答）

全体		(n= 182)
1	公務員	37.4
2	看護師	11.5
3	教師	8.2
4	医療事務・医療関連	7.1
5	医師・歯科医師・獣医	5.5
6	薬剤師	4.4
7	保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連	3.3
	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ	3.3
9	放射線技師・臨床検査技師	2.7
	技術者・研究者	2.7
	会社員	2.7
12	管理栄養士・栄養士	2.2
13	建築士・建築関連	1.6
14	弁護士・裁判官・法律関係	1.1
	臨床心理士・心理カウンセラー・スクールカウンセラー・心理関連	1.1
	イラストレーター・アニメーター・ゲーム関連	1.1
	製造業（自動車・造船など）	1.1

18位には、15項目が0.5%で並んでいるため省略。例「助産師」「客室乗務員」「アナウンサー」など。

【保護者】就いてほしい職業ランキング（就いてほしい職業が「ある」・職業回答者/自由回答） (%)

子どもの性別：男子		(n= 84)
1	公務員	50.0
2	教師	9.5
3	医師・歯科医師・獣医	6.0
4	薬剤師	4.8
	医療事務・医療関連	4.8
	技術者・研究者	4.8
7	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ	2.4
	製造業（自動車・造船など）	2.4
	建築士・建築関連	2.4
	会社員	2.4

子どもの性別：女子		(n= 95)
1	公務員	27.4
2	看護師	21.1
3	医療事務・医療関連	8.4
4	教師	7.4
5	保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連	5.3
	放射線技師・臨床検査技師	5.3
7	医師・歯科医師・獣医	4.2
	薬剤師	4.2
	管理栄養士・栄養士	4.2
	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ	4.2

<フリーコメント> 将来就きたい職業の理由【高校生】**■教師**

- 小さい頃から先生という立場にすごくあこがれをもっていたから。
[和歌山県/女子/大学]
- 親や中学校の先生にあこがれて。[青森県/女子/大学]
- スポーツが好きで色々大変な事もあると思うけどそれ以上のやりがいがあるから。[山梨県/男子/大学]
- 子供の人生の大切な時期に関わりたい[青森県/男子/大学]
- 人に教えることが好きだから。[愛知県/男子/大学]
- 小さい頃から、小学校教諭をしている母親の姿をみてきて楽しそうだったから。[愛知県/女子/大学]

■公務員(国家・地方、警察官・消防士・自衛官など)

- 社会の役に立つため。[鳥取県/女子/大学]
- 人の役に立つ仕事に就きたいと思うから。[青森県/男子/就職]
- 人のために働くのがいいと思ったから。[北海道/女子/大学]
- 収入が安定しているから。[鳥取県/男子/専門学校]
- 安定しているしやりがいがある。[山梨県/男子/就職]

■看護師

- やりがいがあると共に深く人について知れ、自分の人生に役立つだろうから。[愛知県/女子/大学]
- 小学生のときに病院で対応して下さった人にあこがれたから。
[鳥取県/女子/大学]
- 人を助けられてやりがいがありそうだから。
[青森県/女子/大学]
- 人を助ける仕事にあこがれ、医療関係の仕事をしたく、看護師を選んだ。[北海道/男子/専門学校]
- 給料が高く安定しており、職場がたくさんあるから。
[和歌山県/女子/大学]
- 資格がいる職で大変だけど、一生無くなる仕事だから。
[熊本県/女子/大学]

■建築士・建築関連

- ものづくりが好きで建物にたずさわってみたいと思うから。
[山梨県/男子/大学]
- 中学のときから目指していて、デザインに興味があるから。[愛知県/女子/大学]
- 建築科に入ったので、学んだことをいかしたいです。
[和歌山県/男子/就職]

■医師・歯科医師・獣医

- 医師になって多くの人の役に立ちたいから。医学の分野に興味があるから。[石川県/女子/大学]
- 安定・自分の興味・将来の夢。[山梨県/男子/大学]
- 日本では獣医が足りていないので、獣医になって、一匹でも多くの動物の命を救いたいと思ったから。
[青森県/男子/大学]

■技術者・研究者

- 化学製品を開発したいから。[山梨県/女子/大学]
- 学問をし続けたいから。[愛知県/男子/大学]
- 研究や実験が好きだから。[熊本県/女子/大学]

■保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連

- 子どもが好きで、小さい頃からの夢だから。[石川県/女子/専門学校]
- 子どもの発達に興味があるから。子どもが好きだから。[青森県/女子/大学]
- ボランティアで保育園に行ったときに子どもの笑顔などがかわいく、成長を見ていきたいと思ったから。[鳥取県/女子/短大]

<フリーコメント> 将来就いてほしい職業の理由【保護者】**■公務員**

- 安定と人の役に立つ仕事だから。[熊本県/母親/女子/大学]
- 少しでも安定した職業について、自分の趣味などにお金・時間を費やしてほしい。[北海道/母親/女子/就職]
- 男女格差が少なく、収入が安定しているため。
[山梨県/父親/女子/大学]
- 福利厚生、給与の安定。[北海道/母親/女子/就職]
- 体力がなく口下手ですし、公務員なら安定しているから。
[北海道/母親/男子/何でもいい]

■看護師

- 高齢化社会で需要がある。絶対に必要な職業(ロボットの代わりにならない)。資格があれば転職に困らない。やりがいがありそう。
[愛知県/母親/女子/専門学校]
- 看護師なら病院だけでなく、老人ホーム、学校等いろいろな所に就職できるから。[和歌山県/母親/女子/NA]
- 人の役に立てる仕事の1つだから。[鳥取県/母親/女子/大学]
- 大変だけどやりがいがあり、収入も安定してそうだから。
[石川県/母親/女子/専門学校]
- 手に職をつけてほしい。[石川県/父親/女子/大学]
- 本人が希望しているため。とてもやりがいのある仕事だと思うため。
[北海道/母親/女子/専門学校]

■教師

- AIでは代われないこれから人間性が重要な職であるから。
[鳥取県/母親/女子/何でもいい]
- 安定した収入と、人に教えることで自分も成長していけると思う。
[東京都/母親/男子/大学]
- 本人の性格に向いていると思うから。[東京都/母親/女子/大学]
- 本人が希望しているから。[熊本県/母親/女子/大学]
- 本人の小さい頃からの夢だから。[熊本県/母親/女子/大学]

■医療事務・医療関連

- 就職先が必ずあり、収入が安定している。
[鳥取県/母親/男子/専門職大学]
- 安定して働いていけるから。[山梨県/母親/男子/大学]
- 資格を持って安定して働ける。離職しても再就職しやすい。
[北海道/母親/女子/大学]

■医師・歯科医師・獣医

- 結婚しても続けられるから。[山梨県/母親/女子/大学]
- 社会的に必要とされる職業であり、本人も強く希望しているから。
[青森県/母親/男子/大学]
- 本人が希望しているから。[山梨県/母親/女子/大学]

■薬剤師

- 資格を持っていれば、仕事ができる。[青森県/母親/男子/大学]
- 小学校からの夢で、本人もそれに向かって頑張っているから。
[山梨県/母親/男子/大学]

■保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連

- 小さな子どものお世話をするのが好きで、ピアノも好きで弾けるから。
[熊本県/母親/女子/短大]
- 自分が近くで見ている職業の為、安心して働く事を薦められるから。
[東京都/母親/女子/何でもいい]

■理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ

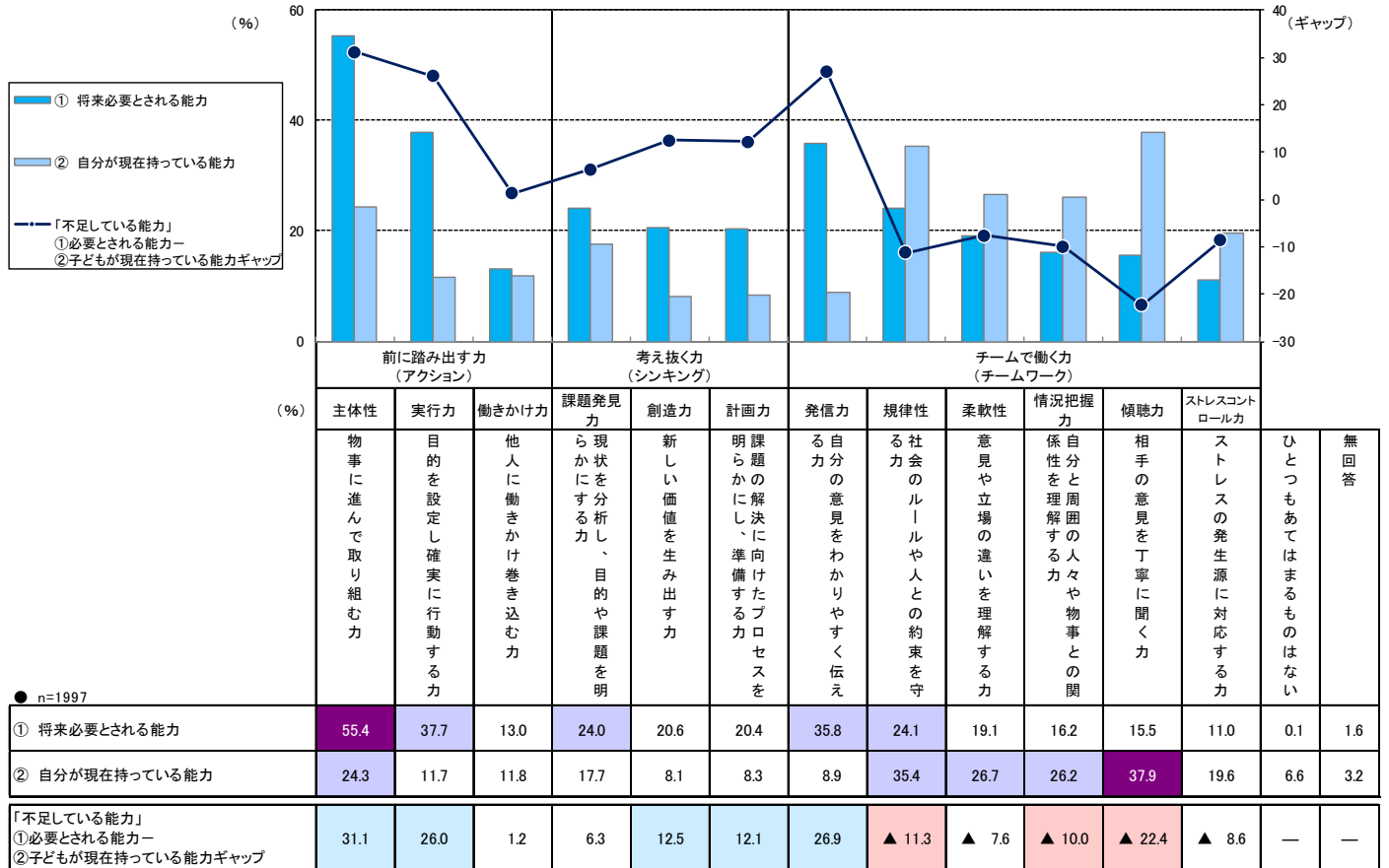
- AI時代になっても、人対人の仕事なので、なくならないと思うから。
[石川県/母親/男子/大学]
- 国家資格をもつやりがいのある仕事。なにより本人がこの仕事に興味をもっている[山梨県/母親/女子/大学]

26. 社会人基礎力: 現在持っている能力と将来必要とされる能力

- ▶ 高校生が考える、将来必要とされる能力は、「主体性」(55%)、「実行力」(38%)、「発信力」(36%)。
- ▶ 現在持っている能力は、「傾聴力」(38%)、「規律性」(35%)、「柔軟性」(27%)。
- ▶ 将来必要とされるが現在の自分に不足している能力は、「主体性」「発信力」「実行力」。

- 経済産業省で定義されている『社会人基礎力』:3つの能力(12の能力要素)のうち、「将来、社会で働くにあたり特に必要とされる能力」と「現在持っている能力」を、それぞれ3つまで高校生に選んでもらった。
- 高校生が考える、将来必要とされる能力は、「主体性:物事に進んで取り組む力」(55%)がトップ。以下、「実行力:目的を設定し確実に行動する力」(38%)、「発信力:自分の意見をわかりやすく伝える力」(36%)、「規律性:社会のルールや人との約束を守る力」(24%)、「課題発見力:現状を分析し、目的や課題を明らかにする力」(24%)が続く。
- 高校生が考える、現在持っている能力は、「傾聴力:相手の意見を丁寧に聞く力」(38%)がトップ。以下、「規律性:社会のルールや人との約束を守る力」(35%)、「柔軟性:意見や立場の違いを理解する力」(27%)、「状況把握力:自分と周囲の人々や物事との関係を理解する力」(26%)、「主体性:物事に進んで取り組む力」(24%)が続く。
- 高校生が考える、将来必要とされるが現在の自分に不足している能力(将来必要とされる能力 - 現在持っている能力ギャップ)は、「主体性:物事に進んで取り組む力」(必要が現状を31ポイント上回る)が最も高い。以下、「発信力:自分の意見をわかりやすく伝える力」(27ポイント)、「実行力:目的を設定し確実に行動する力」(26ポイント)が続く。

【高校生】「社会で働くにあたって必要とされる能力」と「自分が現在持っている能力」(全体/各3項目まで複数回答)



※カテゴリごと「将来必要とされる能力」降順ソート

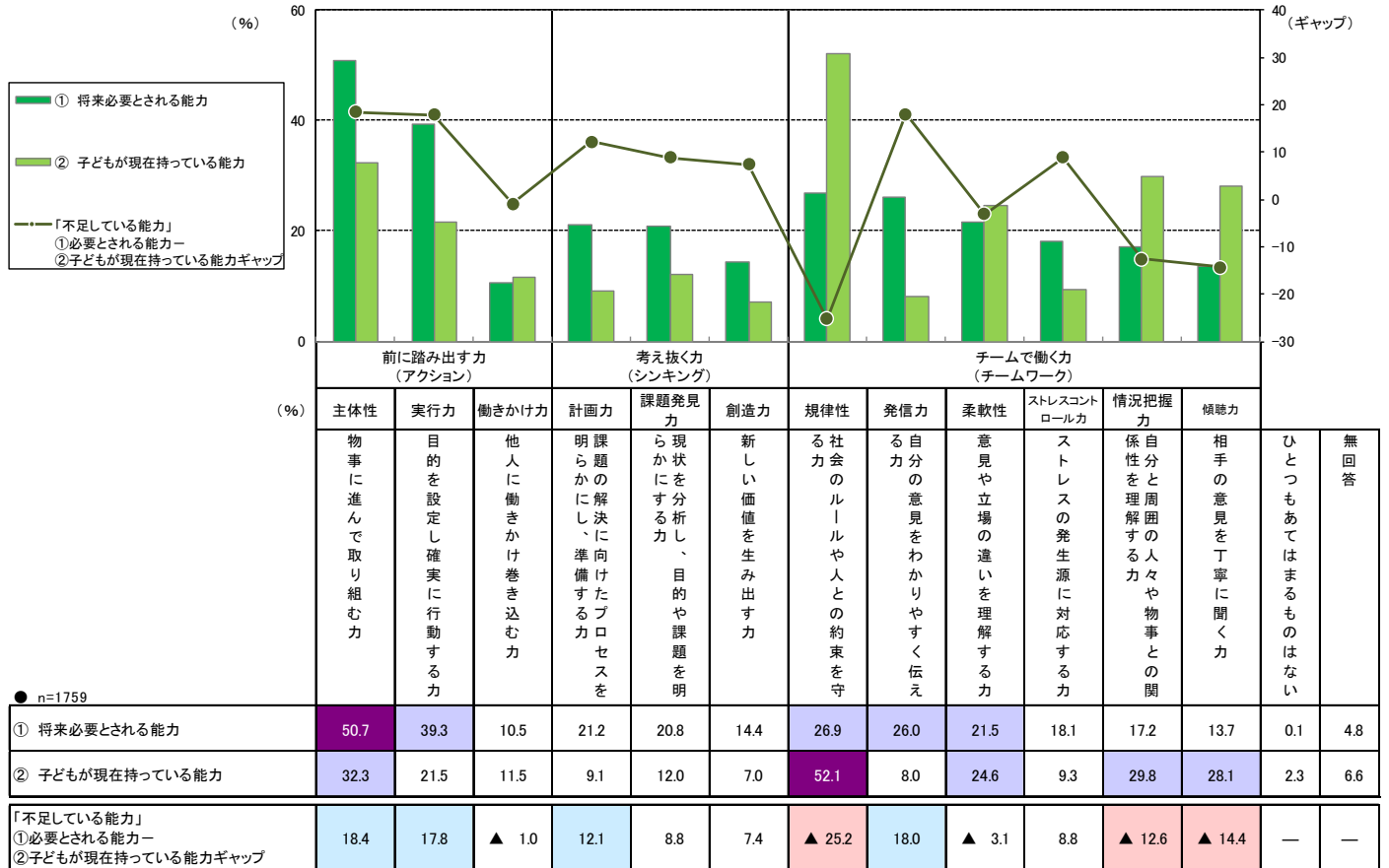
100.0 「必要とされる能力」「自分が現在持っている能力」で最も高い役割
100.0 「必要とされる能力」「自分が現在持っている能力」で2~5番目の役割

10 「①-②」が10ポイント以上
▲ 10 「①-②」が-10ポイント以下

- ▶ 保護者が考える、子どもに将来必要な能力は、「主体性」(51%)、「実行力」(39%)、「規律性」(27%)。
- ▶ 子どもが現在持っている能力は、「規律性」(52%)、「主体性」(32%)、「状況把握力」(30%)。
- ▶ 将来必要とされるが、現在の子どもの不足している能力は、「主体性」「発信力」「実行力」。

- 同じく保護者からも、「将来、社会で働くにあたり特に必要とされる能力」と「子どもが現在持っている能力」をそれぞれ3つまで選んでもらった。
- 保護者が考える、将来必要とされる能力は、「主体性:物事に進んで取り組む力」(51%)がトップ。以下、「実行力:目的を設定し確実に行動する力」(39%)、「規律性:社会のルールや人との約束を守る力」(27%)、「発信力:自分の意見をわかりやすく伝える力」(26%)、「柔軟性:意見や立場の違いを理解する力」(22%)が続く。
- 保護者が考える、子どもが現在持っている能力は、「規律性:社会のルールや人との約束を守る力」(52%)がトップ。以下、「主体性:物事に進んで取り組む力」(32%)、「状況把握力:自分と周囲の人々や物事との関係を理解する力」(30%)、「傾聴力:相手の意見を丁寧に聞く力」(28%)、「柔軟性:意見や立場の違いを理解する力」(25%)が続く。
- 保護者が考える、将来必要とされるが現在の子どもの不足している能力(将来必要とされる能力 - 現在持っている能力ギャップ)は、「主体性:物事に進んで取り組む力」(必要が現状を18ポイント上回る)が最も高く、僅差で「発信力:自分の意見をわかりやすく伝える力」(18ポイント)、「実行力:目的を設定し確実に行動する力」(18ポイント)が続く。

【保護者】「社会で働くにあたって必要とされる思う能力」と「子どもが現在持っている能力」(全体/各3項目まで複数回答)



※カテゴリごと「将来必要とされる能力」降順ソート

100.0 「必要とされる能力」自分が現在持っている能力で最も高い役割
100.0 「必要とされる能力」自分が現在持っている能力で2~5番目の役割

10 「①-②」が10ポイント以上
▲ 10 「①-②」が-10ポイント以下

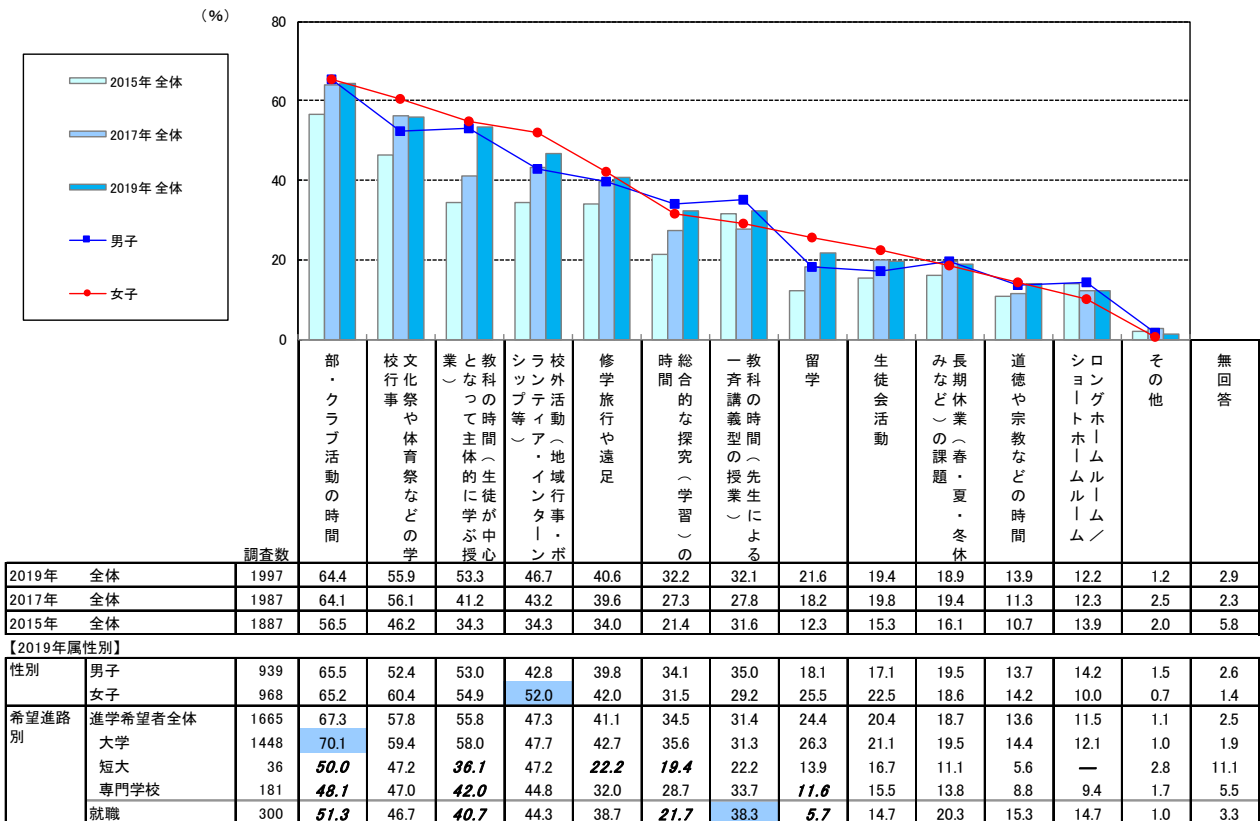
27. 社会人基礎力: 必要な能力を身につけるために有効な活動

▶ 高校生が考える、必要な能力を身につけるのに最も有効な活動は、「部・クラブ活動の時間」。

- ① 部・クラブ活動の時間 (64%)
- ② 文化祭や体育祭などの学校行事 (56%)
- ③ 教科の時間(生徒が中心となって主体的に学ぶ授業) (53%)
- ④ 校外活動(地域行事・ボランティア・インターンシップ等) (47%)
- ⑤ 修学旅行や遠足 (41%)

- 経済産業省で定義されている『社会人基礎力』を身につけるため、有効な学校生活の活動を高校生にすべて選んでもらった結果は、上記の通り。「部・クラブ活動の時間」が6割超。
- 性別にみると、男女ともトップは「部・クラブ活動の時間」。女子は男子に比べ「文化祭や体育祭などの学校行事」「校外活動(地域行事・ボランティア・インターンシップ等)」「留学」「生徒会活動」が高い。一方、男子は「教科の時間(先生による一斉講義型の授業)」が相対的に高い。
- 希望進路別にみると、進学希望者全体は就職希望者に比べスコアが高い項目が多く、有効と考える活動が幅広い。就職希望者は「教科の時間(先生による一斉講義型の授業)」が進学希望者全体に比べて高い。

【高校生】 必要な能力を身につけるのに有効な活動 (全体/複数回答)



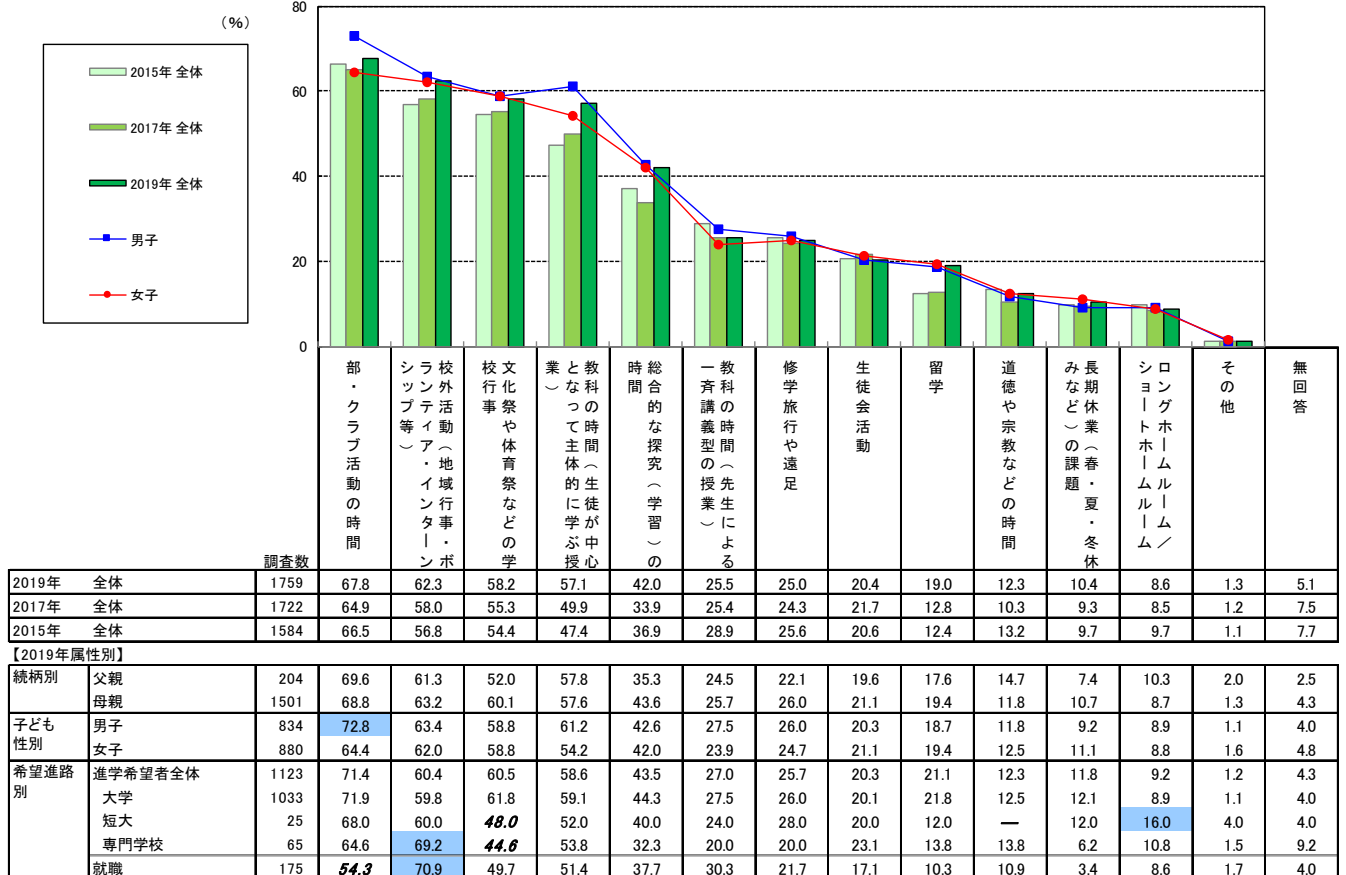
※「2019年全体」降順ソート ※【2019年属性別】 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

▶ 保護者が考える、必要な能力を身につけるのに最も有効な活動も、「部・クラブ活動の時間」。

- ① 部・クラブ活動の時間 (68%)
- ② 校外活動(地域行事・ボランティア・インターンシップ等) (62%)
- ③ 文化祭や体育祭などの学校行事 (58%)
- ④ 教科の時間(生徒が中心となって主体的に学ぶ授業) (57%)
- ⑤ 総合的な探究(学習)の時間 (42%)

- 同じく『社会人基礎力』を身につけるため、有効な学校生活の活動を保護者に尋ねたところ、結果は上記の通り。トップは、高校生と同様「部・クラブ活動の時間」。2位「校外活動(地域行事・ボランティア・インターンシップ等)」までが6割超。
- 続柄別にみると、母親は父親に比べて「文化祭や体育祭などの学校行事」「総合的な探究(学習)の時間」が高い。
- 子どもの性別にみると、男子は女子に比べて「部・クラブ活動の時間」「教科の時間(生徒が中心となって主体的に学ぶ授業)」が高い。
- 希望進路別にみると、就職希望者は「校外活動(地域行事・ボランティア・インターンシップ等)」が1位。進学希望者全体は、「部・クラブ活動の時間」「文化祭や体育祭などの学校行事」が就職希望者に比べて高い。

【保護者】 必要な能力を身につけるのに有効な活動 (全体/複数回答)



※ 「2019年全体」降順ソート ※【2019年属性別】 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上高い 100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

28. 未来社会への認識：これからの社会は好ましいか／その理由

- ▶ 高校生の51%、保護者の37%がこれからの社会は高校生にとって「好ましい」と考えている。
- ▶ 高校生は2017年と同程度、保護者は、2015年以降「まあまあ好ましい」認識の増加傾向が続く。
- 高校生にとって、これからの社会は好ましいと思うか尋ねたところ、「とても好ましい社会だ」が6%、「まあまあ好ましい社会だ」(45%)まであわせると51%が好ましいと回答(好ましい・計)。「好ましい・計」は、2017年と同水準を維持。
- 同様に保護者にも、これからの社会は子どもにとって好ましいと思うか尋ねたところ、「とても好ましい社会だ」が2%、「まあまあ好ましい社会だ」(35%)まであわせると37%が好ましいと回答(好ましい・計)。「好ましい・計」は、2015年以降増加傾向。
- これからの社会について「とても好ましい」～「非常に好ましくない」と思う理由を書いてもらったところ、高校生は「AI発達による職業・雇用の喪失」「少子高齢化による若年世代の負担増」などを危惧する意見が挙がる一方、「グローバル化」「個人が尊重される」「AIによって便利になる」などの前向きな回答が挙げられた。一方、保護者は「少子高齢化」「非正規雇用の増加」「経済格差」「本人のコミュニケーション力不足」など不安要素を挙げつつ、「AI・情報化社会など技術の進歩により便利になる」「個人が尊重される」「若い力が求められる」「情報化社会」などの回答が挙げられた。
→フリーコメントは47ページに掲載

【高校生】 これからの社会は好ましいか (全体/単一回答)

	(%)	好ましい・計		好ましくない・計		無回答	好ましい・計	好ましくない・計
		とても好ましい社会だ	まあまあ好ましい社会だ	あまり好ましい社会ではない	非常に好ましくない社会だ			
●凡例								
2019年 全体 (n= 1997)	6.3	45.1	38.8	5.7	4.2	51.4	44.4	
2017年 全体 (n= 1987)	4.5	47.0	39.0	5.8	3.7	51.5	44.8	
2015年 全体 (n= 1887)	4.2	43.9	38.2	6.1	7.6	48.1	44.3	
【2019年属性別】								
性別	男子 (n= 939)	8.2	41.0	39.6	8.3	2.9	49.2	47.9
	女子 (n= 968)	4.1	49.7	39.4	2.9	3.9	53.8	42.3
希望進路別	進学希望者全体 (n= 1665)	5.7	46.1	39.3	5.2	3.7	51.8	44.6
	大学 (n= 1448)	6.1	46.5	38.9	5.3	3.1	52.7	44.2
	短大 (n= 36)	2.8	41.7	36.1	8.3	11.1	44.4	44.4
	専門学校 (n= 181)	2.8	43.1	43.6	3.9	6.6	45.9	47.5
	就職 (n= 300)	9.3	40.7	38.0	7.0	5.0	50.0	45.0

※【2019年属性別】「2019年全体」より 10pt以上高い 5pt以上高い 10pt以上低い

28 Kh Q22

【保護者】 子どもにとって、これからの社会は好ましいか (全体/単一回答)

	(%)	好ましい・計		好ましくない・計		無回答	好ましい・計	好ましくない・計
		とても好ましい社会だ	まあまあ好ましい社会だ	あまり好ましい社会ではない	非常に好ましくない社会だ			
●凡例								
2019年 全体 (n= 1759)	1.6	35.4	44.4	2.4	16.1	37.1	46.8	
2017年 全体 (n= 1722)	1.6	32.4	44.9	2.9	18.2	34.0	47.8	
2015年 全体 (n= 1584)	0.6	27.3	51.8	3.5	16.9	27.8	55.3	
【2019年属性別】								
続柄別	父親 (n= 204)	2.9	39.2	43.1	4.4	10.3	42.2	47.5
	母親 (n= 1501)	1.5	35.4	45.0	2.1	15.9	37.0	47.1
子ども性別	男子 (n= 834)	1.6	36.8	44.8	2.9	13.9	38.4	47.7
	女子 (n= 880)	1.8	34.7	44.7	1.9	16.9	36.5	46.6
希望進路別	進学希望者全体 (n= 1123)	1.4	38.0	45.0	1.8	13.8	39.4	46.7
	大学 (n= 1033)	1.4	37.6	45.9	1.8	13.4	38.9	47.7
	短大 (n= 25)	4.0	36.0	36.0	—	24.0	40.0	36.0
	専門学校 (n= 65)	1.5	46.2	33.8	1.5	16.9	47.7	35.4
	就職 (n= 175)	1.7	32.6	48.0	3.4	14.3	34.3	51.4

※【2019年属性別】「2019年全体」より 10pt以上高い 5pt以上高い 10pt以上低い

28 Hh Q18

<フリーコメント> これからの社会への認識の理由【高校生】

■とても好ましい

- グローバル化が進むため、若い人に有利だと思うから。
[青森県/男子/大学]
- 技術の発展にともなって、今必要とされている職が、自分のやりたい。仕事だから。[山梨県/男子/就職]
- 全ての人が社会人基礎力を持っていると、仕事などの効率が上がり、とてもよい社会になるから。[熊本県/女子/大学]
- 働く人が働きやすいような環境づくりがされているから。
[鳥取県/男子/大学]
- 平和で健康に生きていけるから。[東京都/女子/大学]
- 優秀な社会人に育てるための教育機関が発展したから。
[和歌山県/男子/大学]
- 奨学金制度やローンがあり、比較的大学に行きやすくなっている。
[北海道/女子/大学]

■まあまあ好ましい

- AIのおかげで便利になり、つかれなさそうだから。
[青森県/女子/大学]
- グローバル化によって異なる価値観を持った人たちと交流する機会が増えると思うから。[鳥取県/男子/大学]
- 経済的に不安な要素はいくつもあるが、文化面では発展していると感じるため。[和歌山県/女子/大学]
- 個人を尊重する社会に変わってきていると聞いたから。
[鳥取県/男子/大学]
- 就職率が高くなっている。[和歌山県/男子/就職]
- 男女平等が少しずつ広まっているから。[熊本県/女子/大学]
- もっと好ましい社会、よりよい社会にできる、そんな社会をつくりたいという願いをこめて。[愛知県/女子/大学]

■あまり好ましくない

- AIなどに職をとられ、就職しにくくなっているから。
[愛知県/男子/大学]
- グローバル化が進み、ついていける自信がないため。
[和歌山県/女子/大学]
- ニュースで悪い問題や事件ばかり取り上げられているように、今の社会には問題点がたくさんあるのではないかと感じてしまうから。
[東京都/NA/大学]
- 英語などの外国語が苦手だから。[愛知県/女子/専門学校]
- 高齢化が進み、増税し、景気も悪いため。[和歌山県/女子/大学]
- 高齢化で若い世代への負担が大きい。[石川県/女子/大学]
- 社会のことをよく分かっていないから不安がある。
[石川県/男子/大学]
- 少子高齢化が進み、国民一人ひとりの負担が大きくなるから。
[青森県/男子/大学]

■非常に好ましくない

- AIの発達により就ける職業が確実に減っているから。
[石川県/男子/大学]
- これから消費税は10%に増税される中、年金、社会福祉サービス、高校、大学の学費の負担は変わらずにいる。もっと実生活で良くなっていくという実感が得られるまで日本は変わったほうが良いと思う。
[熊本県/男子/大学]
- 環境破壊がひどいから。[青森県/男子/大学]
- 経済が心配。[青森県/女子/大学]
- 少子高齢化で老人が増えて若者が減って、負担が大きくなりそう。
[北海道/女子/就職]
- 税金がどんどん高くなるから。[熊本県/男子/大学]
- 地方と都市部の格差が目に見えてくるから。[青森県/男子/大学]

<フリーコメント> これからの社会への認識の理由【保護者】

■とても好ましい

- 会社を立ち上げる事がたやすい。やりたい事を発信し、協力者を求めやすい。[和歌山県/母親/男子/大学]
- 経済的な負担は増していくが、若い力が必要で、不足しているから。
[青森県/父親/男子/何でもいい]
- 個性が尊重される時代になるから。[鳥取県/母親/女子/大学]
- 子供が自分自身で成長・発展していけるから。
[鳥取県/母親/女子/大学]
- 好ましい社会を造り出すのは、今の、子供達だから。
[和歌山県/母親/男子/何でもいい]

■まあまあ好ましい

- AIと共に必要な価値、不必要な価値を選択しながら、より便利に合理的に大切なものはきちんと確保しながら、より良く生きぬいてほしい。[青森県/母親/男子/大学]
- AIなどを利用して、便利になるけど、人間どうしの関わりあいが、うすくなりそう。[愛知県/母親/女子/大学]
- ITがもっと普及し、それを活用できる能力があれば、世の中で活躍できるから。[愛知県/父親/男子/大学]
- 経済的な豊かさ、快適な環境等が恵まれている。
[東京都/母親/男子/大学]
- 情報がいつでも手に入る時代で便利だが自らそれを正しく選択するのがとても難しい時代でもあるから。[山梨県/母親/女子/何でもいい]
- 進みたい進路を自分で選ぶことができ、なりたい職業に就くことができる世の中だから、ただ女性の地位が先進国の中で低いことが気になる。[熊本県/母親/女子/何でもいい]
- 昔よりも個性を尊重する社会になってきていると思うので。
[山梨県/母親/男子/大学]
- 昔より自分の好きな事ができる男女差が少ない社会と思うから。
[北海道/母親/女子/大学]
- 多様性がますます認められ尊重されていく社会だから。
[東京都/母親/男子/大学]

■あまり好ましくない

- AIが必要され、人間の働く場所が少なくなるのでは。
[愛知県/母親/男子/大学]
- 経済格差があり、それによって進路が決まってしまう。
[和歌山県/母親/男子/就職]
- 少子高齢化が進み、子供達の負担が大きい。
[青森県/母親/男子/大学]
- 税金があがり年金制度が崩壊寸前であり、経済的に負担が大きくて生きづらくなっていると思う。[東京都/母親/女子/大学]
- 非正規雇用の増加や、少子化問題、年金問題など不安や負担になることばかりの世の中です。[東京都/母親/女子/大学]
- 自分で考えて行動する力が必要な社会になっていくと思うが、あまり身についていないと思うので。[和歌山県/母親/男子/大学]
- これからの社会は人とコミュニケーションを取りながら生きていかなければならないと思います。が、コミュニケーションを取るのが得意ではないので、彼には生きていきにくい社会だと思います。
[石川県/母親/男子/大学]

■非常に好ましくない

- 「新自由主義」によって弱者が切り捨てられ、セーフティネットも崩壊(年金!)し、政治の腐敗によって社会全体のモラルが低下しているから。[青森県/父親/男子/何でもいい]
- お金の面で、消費税が10%となり、生活がしにくい世の中だと思う。
[石川県/母親/男子/何でもいい]
- 給料があがらず、少子化が進むばかり、正社員になれるかもわからない。[山梨県/母親/男子/就職]
- 少子高齢化、消費税等の増税、AIによる職減少等、この先必ず厳しい社会になるから。[愛知県/父親/男子/大学]
- 年金制度が充実していない。働いても必ずしも豊かにならない。働き手不足なのに大切にされない。[鳥取県/母親/女子/大学]

VI 家庭での教育

29. 日常のコミュニケーションや行動／そのうち教育改革を踏まえて特に心掛けたいこと

- ▶ 高校生が感じている保護者との日常のコミュニケーションや行動は、
 - ①「あなたはほしい」「あなたはと思う」とあなたの意見が尊重されている (66%)
 - ②「自分で選択し、それに責任をもつ」ことが大切だと言われている (60%)
 - ③あなたが悩んでいた、うまくいっていないときに励ましてくれる (56%)

- ▶ 保護者が実施している子どもとの日常のコミュニケーションや行動は、
 - ①「あなたはほしい」「あなたはと思う」とお子さんの意見を尊重している (76%)
 - ②「自分で選択し、それに責任をもつ」ことが大切だと言っている (74%)
 - ③お子さんが悩んでいた、うまくいっていないときに励ます (70%)

▶ 保護者の「実施している」自己評価が高校生の実感を上回る。保護者が思うほど高校生に伝わっていない。

- 高校生・保護者のそれぞれに、日常のコミュニケーション・行動について14項目を呈示し、各実施状況を尋ねた。それぞれの「あてはまる・計」「とてもあてはまる」～「あてはまる」上位は上記の通り。
- トップ3には同じ項目が並ぶが、いずれも保護者の「あてはまる・計」が高校生を上回り、保護者の認識と高校生の実感に差がある。

【高校生】 保護者との日常のコミュニケーションや行動 (全体/各単一回答)

(n=1938)	あてはまる・計 (%)			あてはまらない・計 (%)		無回答 (%)	あてはまる・計	あてはまらない・計
	とてもあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	まったくあてはまらない			
D 「あなたはほしい」「あなたはと思う」とあなたの意見が尊重されている	28.1	38.3	22.6	4.8	2.9	3.3	66.4	7.7
C 「自分で選択し、それに責任をもつ」ことが大切だと言われている	24.9	34.9	25.6	7.5	3.7	3.4	59.8	11.2
E あなたが悩んでいた、うまくいっていないときに励ましてくれる	22.5	33.0	28.7	8.1	4.2	3.5	55.5	12.3
F あなたと意見が異なるとき、頭ごなしに否定しない	19.9	32.8	28.7	11.1	4.4	3.1	52.6	15.5
L 高校で何を学んでいるのかなど、高校での生活に関して会話して	18.4	33.7	26.1	11.7	6.7	3.4	52.2	18.4
A 保護者に褒められている	13.9	34.8	32.2	11.5	4.6	2.9	48.8	16.1
B 保護者に「夢や目標を大切にしない」と言われている	17.1	28.5	33.2	11.9	6.2	3.1	45.6	18.1
J ニュースや社会の動きなどについて一緒に考えたり会話している	14.5	30.0	26.5	16.4	9.5	3.2	44.5	25.9
H あなたがすることを保護者が決めたり手伝ったりする	10.5	25.9	33.2	19.6	7.7	3.2	36.4	27.2
M チャレンジできる機会を創ったり、増やすようにしてくれる	12.3	23.5	38.4	15.2	7.3	3.4	35.8	22.4
I あなたの行動に口出しや干渉をしない	12.0	22.7	34.9	20.8	6.3	3.3	34.7	27.1
G あなたが失敗をしないように、保護者ができることを先回りして考え	10.7	23.7	38.1	17.9	6.3	3.3	34.4	24.3
N 保護者がチャレンジしている姿を見る	11.7	19.3	35.0	17.8	12.7	3.5	31.0	30.4
K 地域とのかかわりについて会話したり、行事に参加したりしている	9.8	17.9	28.7	24.4	15.8	3.5	27.7	40.1

※「あてはまる・計」降順ソート

29 Kh Q29M

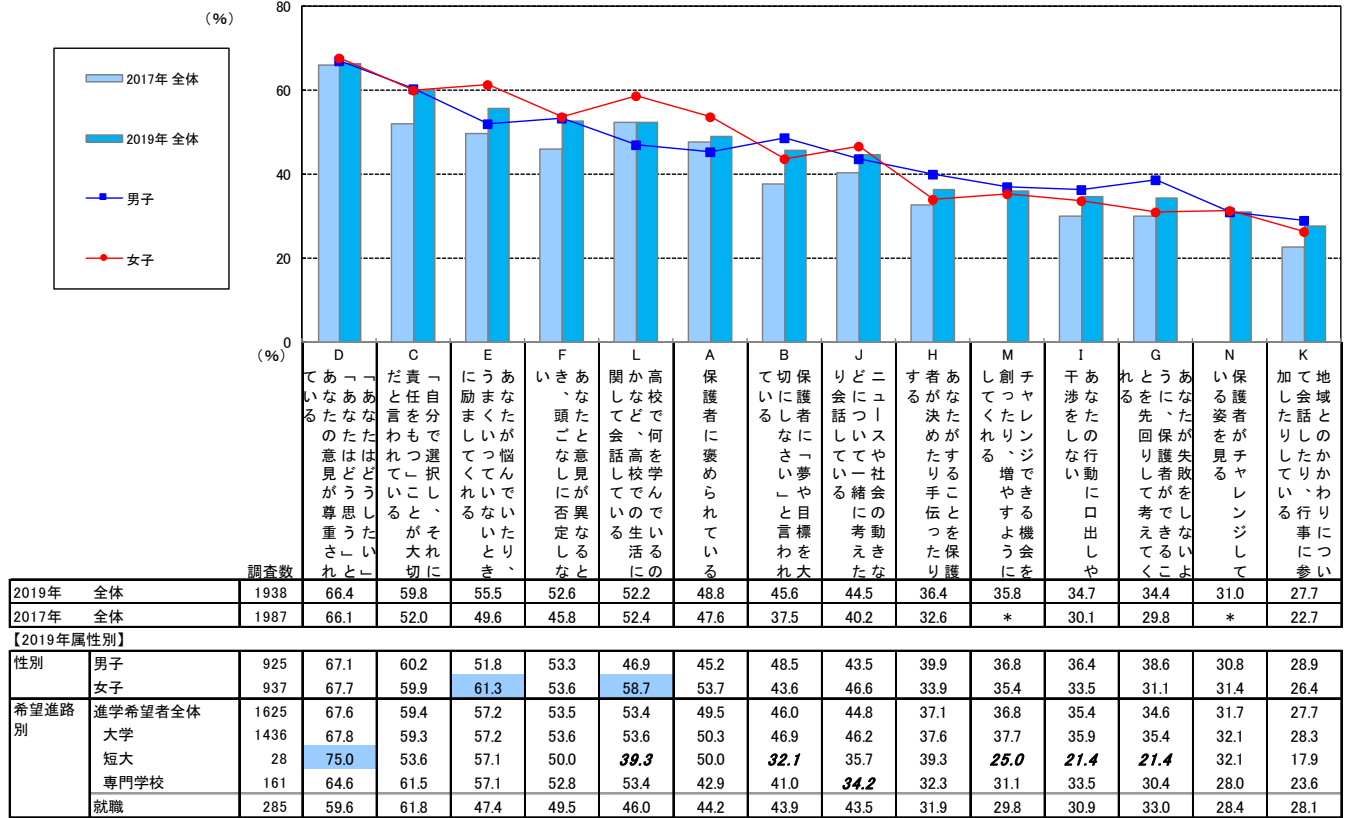
【保護者】 子どもとの日常のコミュニケーションや行動 (全体/各単一回答)

(n=1722)	あてはまる・計 (%)			あてはまらない・計 (%)		無回答 (%)	あてはまる・計	あてはまらない・計
	とてもあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	まったくあてはまらない			
D 「あなたはほしい」「あなたはと思う」とお子さんの意見を尊重している	19.5	56.5	18.0	1.6	0.3	4.2	76.0	1.9
C 「自分で選択し、それに責任をもつ」ことが大切だと言っている	22.2	51.3	17.7	4.0	0.5	4.2	73.6	4.5
E お子さんが悩んでいた、うまくいっていないときに励ます	16.2	53.3	23.2	2.6	0.5	4.2	69.5	3.0
A お子さんを褒めている	9.1	47.1	32.3	6.4	0.7	4.4	56.2	7.1
B お子さんに「夢や目標を大切にしない」と言っている	13.5	42.7	30.5	8.0	0.9	4.4	56.2	8.8
F お子さんとの意見が異なるとき、頭ごなしに否定しない	11.6	44.1	34.7	4.8	0.5	4.3	55.7	5.3
L 高校で何を学んでいるのかなど、高校での生活に関して会話している	9.2	44.7	29.7	10.2	1.7	4.6	53.8	11.9
J ニュースや社会の動きなどについて一緒に考えたり会話している	7.4	43.8	27.4	14.2	2.6	4.6	51.2	16.8
M お子さんがチャレンジできる機会を創ったり、増やしたりしている	7.3	30.3	43.6	13.1	1.5	4.3	37.5	14.6
N 保護者もチャレンジしている姿を見せる	6.7	25.3	43.3	17.1	3.0	4.5	32.1	20.2
K 地域とのかかわりについて会話したり、行事に参加したりしている	4.6	22.5	32.9	28.9	6.5	4.6	27.2	35.4
I お子さんの行動に口出しや干渉をしない	3.1	19.0	53.8	18.3	1.0	4.7	22.1	19.3
G お子さんが失敗をしないように、保護者ができることを先回りして考える	2.3	18.3	44.3	24.8	5.6	4.7	20.6	30.4
H お子さんがすることを保護者が決めたり手伝ったりする	1.3	16.0	40.6	30.0	7.3	4.9	17.2	37.3

※「あてはまる・計」降順ソート

29 Hh Q25M

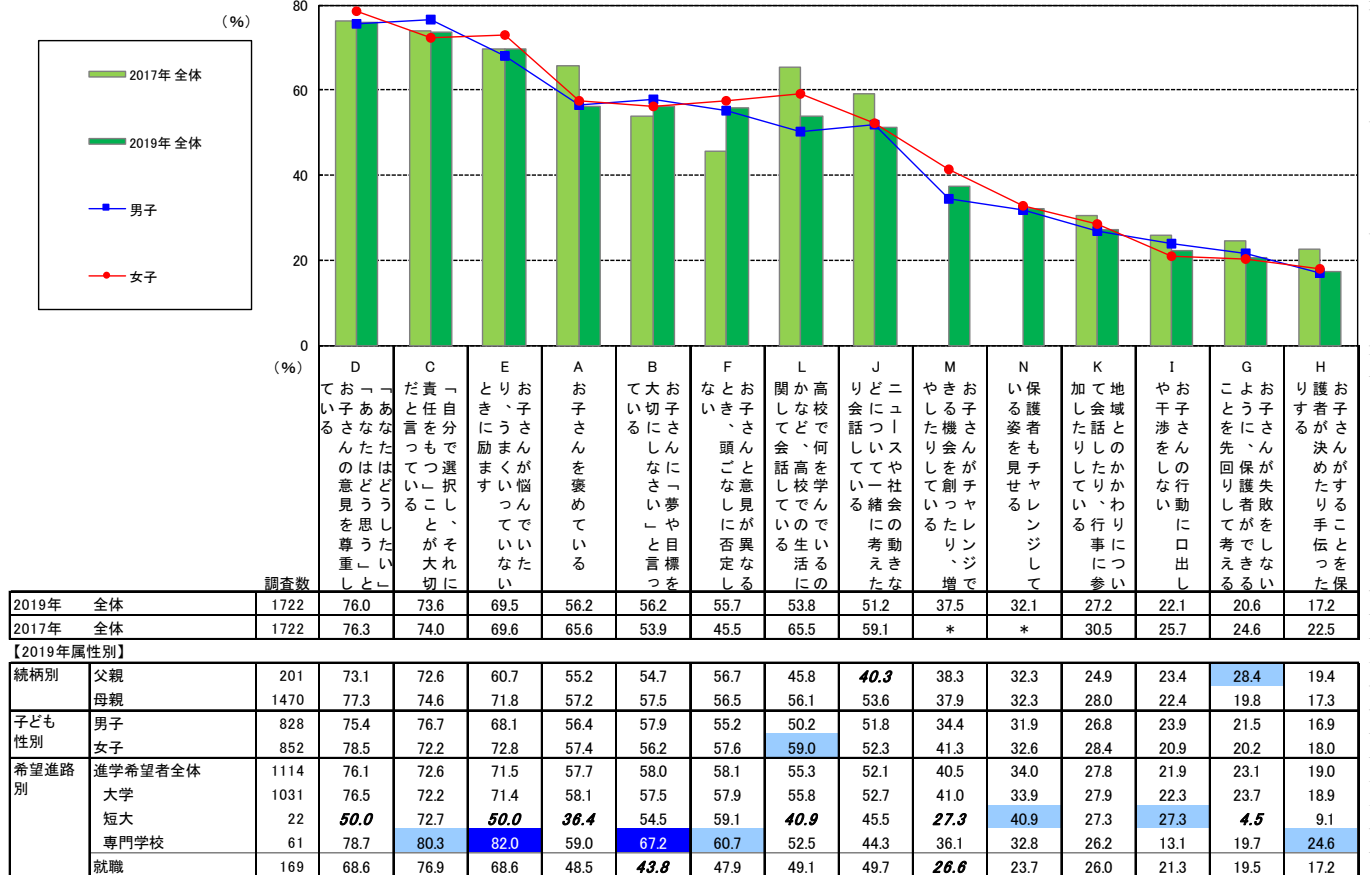
【高校生】 保護者との日常のコミュニケーションや行動 (全体/「あてはまる・計」)



※「2019年全体」降順ソート ※【2019年属性別】 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上高い
 ※2017年は「ある・計」のスコア 100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い
 ※「*」は該当項目なし 100.0 「2017年全体」より10ポイント以上低い

29 Kh Q29

【保護者】 子どもとの日常のコミュニケーションや行動 (全体/「あてはまる・計」)



※「2019年全体」降順ソート ※【2019年属性別】 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上高い
 ※2017年は「ある・計」のスコア 100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い
 ※「*」は該当項目なし 100.0 「2017年全体」より10ポイント以上低い

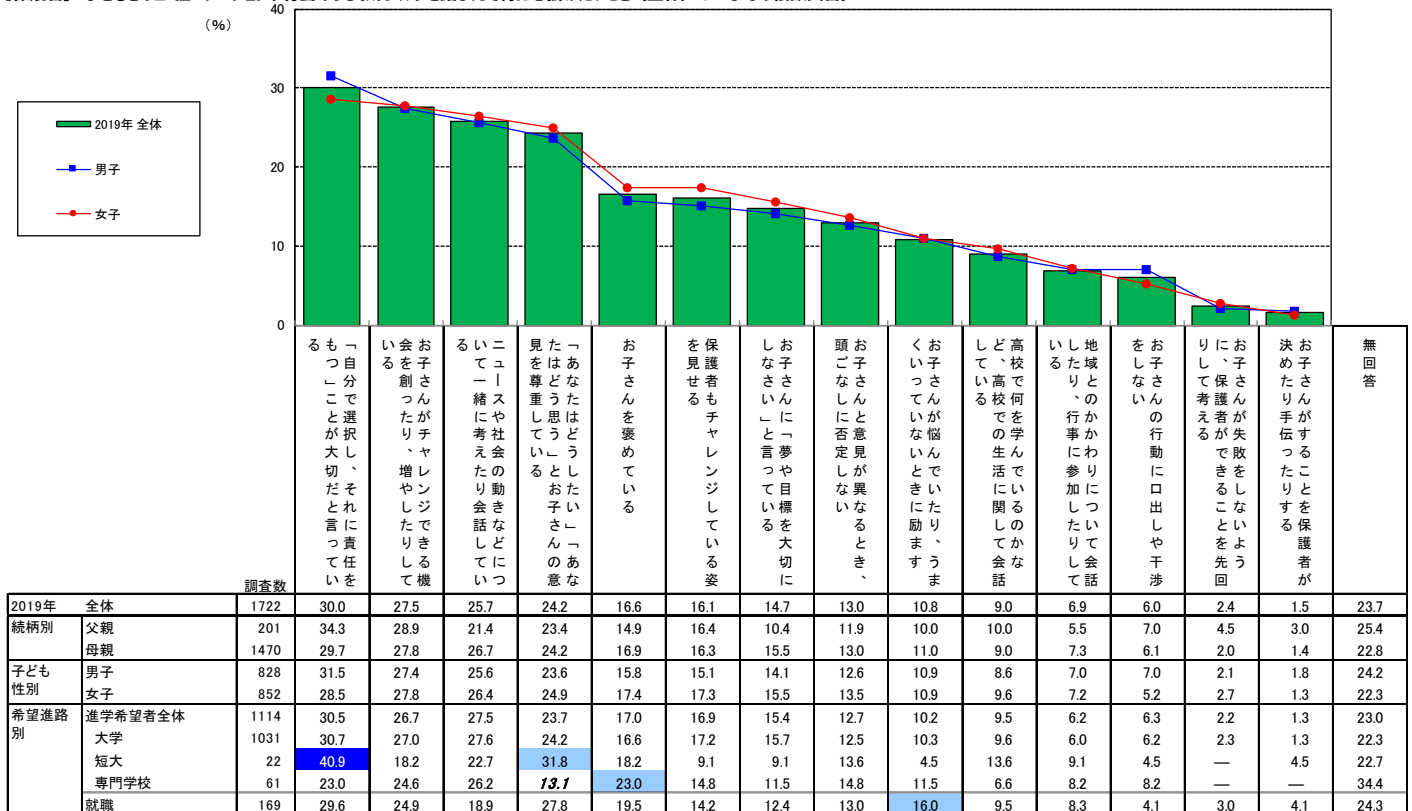
29 Hh Q25

▶保護者が、教育改革を踏まえて特に心掛けたいことは、

- ①「自分で選択し、それに責任をもつ」ことが大切だと言っている (30%)
- ②お子さんがチャレンジできる機会を創ったり、増やしたりしている (28%)
- ③ニュースや社会の動きなどについて一緒に考えたり会話している (26%)
- ④「あなたはほしい」「あなたはと思う」とお子さんの意見を尊重している (24%)
- ⑤お子さんを褒めている (17%)

- 保護者に、子どもとのコミュニケーションや行動のうち教育改革を踏まえて特に心掛けたいことを尋ねたところ、回答上位は上記の通り。
- 続柄別にみると、母親は父親に比べて「ニュースや社会の動きなどについて一緒に考えたり会話している」「お子さんに『夢や目標を大切に下さい』と言っている」が高い。
- 子どもの性別には大きな差異はみられない。
- 希望進路別にみると、進学希望者全体は就職希望者に比べて「ニュースや社会の動きなどについて一緒に考えたり会話している」が高い。一方、就職希望者は、「お子さんが悩んでいた、うまくいっていないときに励ます」が進学希望者全体に比べて高い。

【保護者】子どもとのコミュニケーションや行動のうち教育改革を踏まえて特に心掛けたいこと（全体／3つまでの複数回答）



※「2019年全体」降順ソート

100.0 「2019年全体」より10ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

29 Hh Q25SQ1

<フリーコメント> 子どものやる気やモチベーションを高めるために行っていること、心がけていること【保護者】

- 家族でおでかけや食事をして、気分よく気持ちをうちあげたり、コミュニケーションがとれるように心がけている[愛知県/母親/女子/大学]
- がんばっている事は大いにほめて、失敗したりうまくいかなかった時には責めるのではなくはげますようにしています。[愛知県/母親/男子/大学]
- できるだけ子供のタイミングに合わせて、必要とすることを提供する。[山梨県/母親/男子/大学]

- 子どものペースを尊重すること。[熊本県/母親/女子/何でもいい]
- 自分で決めたことに対して口出しや干渉はせず、見守ることを心がけています。[愛知県/母親/男子/大学]
- 「勉強なさい」、「成績上げなさい」は言わないようにしてるかわりに、「何かやりたいことを見つける」ことを意識するよう話をしています。[東京都/父親/男子/大学]

30.なぜ学び・働くのかについての話し合い／その内容

1) なぜ学ぶのか

▶『なぜ勉強しなければいけないのか』話し合ったことが「ある」高校生は19%、保護者は52%。

- 「なぜ勉強しなければいけないのか」話し合ったことがあるかという質問に、高校生は「ある」が19%、保護者の52%と認識に差がみられる。
- 両者に話し合った内容を書いてもらったところ、「将来」「資格」「やりたいことの実現のため」などの回答が挙がった。

【高校生】「なぜ勉強しなければいけないのか」保護者と話し合ったことがあるか（全体／単一回答）

			（%）		
			ある	ない	無回答
●凡例			■	■	■
2019年	全体	(n= 1997)	18.9	77.5	3.6
2017年	全体	(n= 1987)	17.1	81.9	1.1
2015年	全体	(n= 1887)	19.8	77.3	2.9
【2019年属性別】					
性別	男子	(n= 939)	15.1	82.9	2.0
	女子	(n= 968)	23.3	74.4	2.3
希望進路別	進学希望者全体	(n= 1665)	19.6	77.2	3.2
	大学	(n= 1448)	20.2	77.0	2.8
	短大	(n= 36)	11.1	75.0	13.9
	専門学校	(n= 181)	16.6	79.0	4.4
	就職	(n= 300)	16.0	80.3	3.7

30 Kh Q30

<フリーコメント> 「なぜ勉強しなければいけないのか」話し合った内容【高校生】

- 勉強したことが将来どんな風に役に立つか話した。
[石川県/女子/大学]
- 勉強は社会を動かす人になるための基盤、それがなければなにもできない(脳を使う練習のようなもの？)。[熊本県/女子/大学]
- 将来、資格を取得できるように勉強するべき。[和歌山県/女子/大学]
- 勉強が必要なのは、将来の選択使を増やすため、自分の力で生きていけるようにするためだから。[石川県/女子/大学]

【保護者】「なぜ勉強しなければいけないのか」子どもと話し合ったことがあるか（全体／単一回答）

			（%）		
			ある	ない	無回答
●凡例			■	■	■
2019年	全体	(n= 1759)	51.9	41.3	6.8
2017年	全体	(n= 1722)	45.2	44.9	9.8
2015年	全体	(n= 1584)	51.1	41.2	7.7
【2019年属性別】					
続柄別	父親	(n= 204)	44.6	51.0	4.4
	母親	(n= 1501)	54.0	40.7	5.3
子ども性別	男子	(n= 834)	52.9	42.3	4.8
	女子	(n= 880)	52.7	41.3	6.0
希望進路別	進学希望者全体	(n= 1123)	55.0	39.2	5.8
	大学	(n= 1033)	55.5	39.0	5.5
	短大	(n= 25)	52.0	44.0	4.0
	専門学校	(n= 65)	49.2	40.0	10.8
	就職	(n= 175)	39.4	55.4	5.1

30 Hh Q28

<フリーコメント> 「なぜ勉強しなければいけないのか」話し合った内容【保護者】

- これからの人生において、岐路に立った時に人生の選択肢を増やせるという話[石川県/母親/女子/大学]
- やりたいものになるため大学に行かなければならぬので勉強しなさいと伝えた。勉強したくなければやりたい事をあきらめろ！と話した。
[鳥取県/母親/男子/その他]
- 教養、身に付けた知識は将来の自分の財産になる。将来の職業の選択肢が広がる[愛知県/母親/男子/大学]
- 自分がやりたい事が見つかった時に、すぐ対応できるため。
[熊本県/父親/女子/大学]
- 自分のやりたいことを実現させるため、可能性を広げるため。
[愛知県/母親/男子/大学]

2) なぜ働くのか

▶『将来なぜ働かなければいけないのか』話し合ったことが「ある」高校生は16%、保護者は47%。

- 「将来なぜ働かなければいけないのか」話し合ったことがあるかという質問に、高校生は「ある」が16%、保護者が47%であり、認識に差がみられる。
- 両者に話し合った内容を書いてもらったところ、経済的な「自立」、「家族のため」「社会への貢献」などの回答が挙がった。

【高校生】「将来なぜ働かなければいけないのか」保護者と話し合ったことがあるか（全体／単一回答）

			（%）		
			ある	ない	無回答
●凡例			■	■	■
2019年	全体	(n= 1997)	15.7	80.6	3.7
2017年	全体	(n= 1987)	14.4	84.6	1.0
2015年	全体	(n= 1887)	17.4	79.5	3.0
【2019年属性別】					
性別	男子	(n= 939)	14.0	84.0	2.0
	女子	(n= 968)	18.0	79.6	2.4
希望進路別	進学希望者全体	(n= 1665)	15.0	81.7	3.3
	大学	(n= 1448)	15.5	81.7	2.8
	短大	(n= 36)	11.1	75.0	13.9
	専門学校	(n= 181)	12.2	82.9	5.0
	就職	(n= 300)	19.7	76.3	4.0

30 Kh Q31

<フリーコメント> 「なぜ働かなければいけないのか」話し合った内容【高校生】

- 社会に貢献し、家族を養うため。[愛知県/女子/大学]
- 働かないと、人間として成長できない。また生きていけることができない。[鳥取県/男子/就職]
- お金を稼いで生きていくためだと言われた。[北海道/女子/専門学校]
- 生きていくため。家族を養うため。[鳥取県/女子/大学]
- 家族を幸せにするため。[東京都/男子/大学]
- 生活のため、生きがいのため、楽しんで仕事している。[熊本県/女子/大学]

【保護者】「なぜ働かなければいけないのか」子どもと話し合ったことがあるか（全体／単一回答）

			（%）		
			ある	ない	無回答
●凡例			■	■	■
2019年	全体	(n= 1759)	47.4	45.5	7.1
2017年	全体	(n= 1722)	42.7	47.7	9.5
2015年	全体	(n= 1584)	45.8	46.0	8.3
【2019年属性別】					
続柄別	父親	(n= 204)	34.3	60.3	5.4
	母親	(n= 1501)	50.2	44.4	5.4
子ども性別	男子	(n= 834)	48.1	46.6	5.3
	女子	(n= 880)	48.4	45.6	6.0
希望進路別	進学希望者全体	(n= 1123)	48.3	45.8	6.0
	大学	(n= 1033)	48.0	46.3	5.7
	短大	(n= 25)	44.0	52.0	4.0
	専門学校	(n= 65)	53.8	35.4	10.8
	就職	(n= 175)	46.9	46.3	6.9

30 Hh Q29

<フリーコメント> 「なぜ働かなければいけないのか」話し合った内容【保護者】

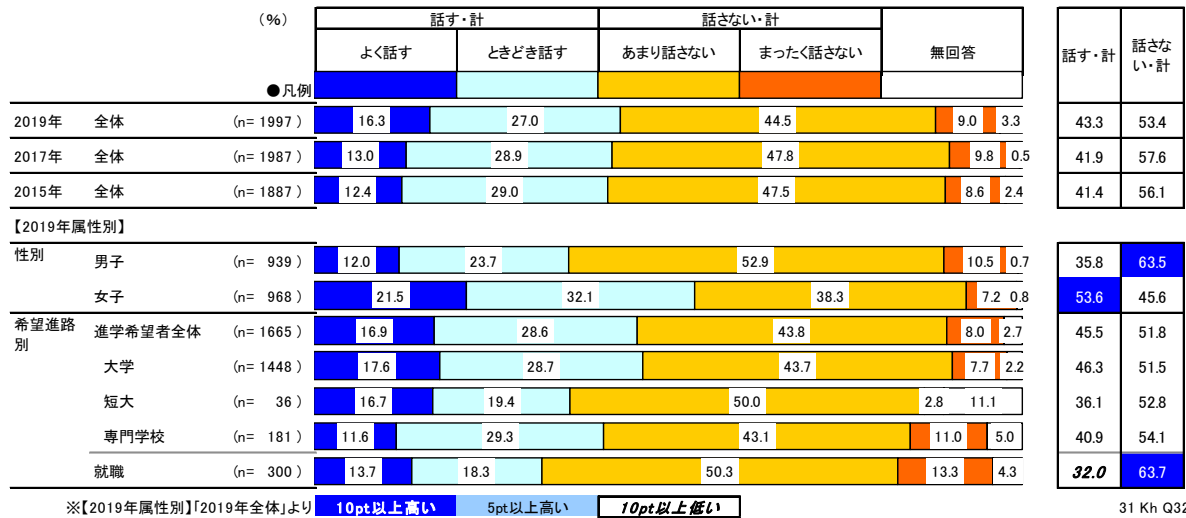
- とにかく自分の働いたお金で生きていかなくてははいけなとくり返し言っている。[東京都/母親/女子/専門職大学]
- まずは自立した生活をし、食べていく為。社会に貢献し、自分の存在価値を見出し、生きがいを感じられる為。[東京都/母親/女子/大学]
- お金だけじゃなくてたくさんの人間関係で自分が豊かな人になる。[鳥取県/母親/女子/大学]
- 社会に貢献する為。[石川県/父親/女子/大学]
- 自己実現と社会の一員としての役割。[青森県/父親/女子/何でもいい]
- 人間関係の大切さや、自立して生活するため。[青森県/母親/女子/大学]
- 働くことは生きること。まわりの人の役に立つために仕事をする。[鳥取県/母親/女子/大学]

31.保護者の仕事についての会話／その内容

▶保護者の仕事について、高校生の43%、保護者の70%が「話す」。

- 『保護者の仕事の内容、楽しさや大変さについて話すことがあるか』という質問に、高校生は「よく話す」「ときどき話す」の合計で43%が話している(話す・計)。一方、保護者の「話す・計」は70%であり、高校生の認識を大きく上回る。
- 両者に話している内容を書いてもらったところ、仕事内容、大変さ、楽しさ、やりがいなどの回答が挙げられた。

【高校生】保護者の仕事の内容、楽しさや大変さについて話すことがあるか(全体/単一回答)

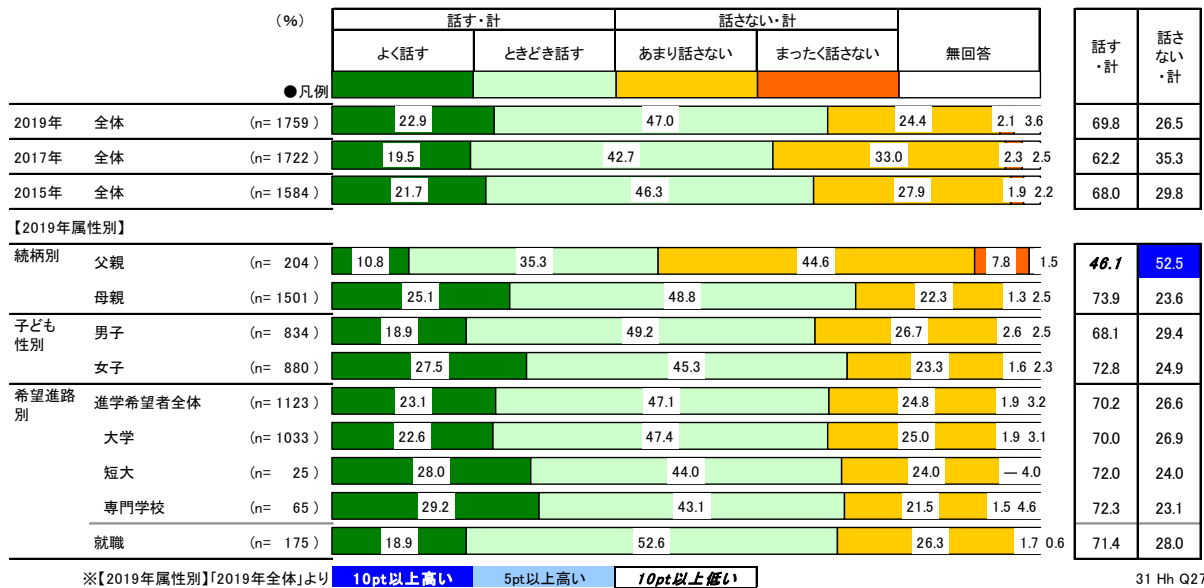


31 Kh Q22

<フリーコメント> 保護者が話している内容【高校生】

- 今どんな仕事をしているか。他の職員はどんな様子か。 [愛知県/男子/大学]
- 職場の雰囲気や、やりがいなどについて。 [愛知県/男子/大学]
- 仕事の大変さ、楽しさ、その職業が将来どうなっていくか。 [熊本県/女子/大学]
- 職場の人のおもしろかった話や、こんなことが大変だったなど [鳥取県/女子/大学]

【保護者】仕事の具体的な内容、楽しさについて子どもに話すことがあるか(全体/単一回答)



31 Hh Q27

<フリーコメント> 子どもに話している内容【保護者】

- その日あった事、うれしかった事、つらかった事など。 [山梨県/母親/女子/専門職大学]
- その日にあった仕事での大変だった事や、失敗した事 [山梨県/母親/男子/就職]
- 仕事場である良い事、悪い事、世の中にはいろいろな事が起こり自分の思い通りにいかない事を、一緒に泣いて、笑って共有している。 [青森県/母親/女子/大学]
- 子供の目指す仕事と母親の職業が同じなので経験談をよく話して聞かせる。 [和歌山県/母親/女子/大学]
- やりがいや責任など。 [北海道/父親/女子/就職]
- 接客業でいろいろな出会いについて話をします。人との関わりの大切さ、心地良さを知ってほしいからです。 [東京都/母親/女子/大学]

32. キャリア教育の認知と期待／意見・要望

- ▶ 保護者の『キャリア教育』の認知率は43%。
- ▶ キャリア教育について「良いことだと思う」は81%。

- 保護者に『キャリア教育』という言葉聞いたことがあるか尋ねたところ、43%が「ある」。
過去調査結果と比較すると、認知率は2015年より上昇傾向。
- 次に、キャリア教育の定義を呈示したうえでキャリア教育が推進されていくことをどう思うか尋ねた。
「非常に良いことだと思う」は26%、「まあまあ良いことだと思う」(55%)とあわせ81%が「良いことだと思う」と評価(思う・計)。過去調査と比較すると、「思う・計」は2015年以降横ばいで推移。

※調査で提示した『キャリア教育』の定義

「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」

【保護者】『キャリア教育』という言葉聞いたことがあるか (全体/単一回答)

		(%)	ある	ない	無回答
●凡例					
2019年	全体 (n= 1759)		43.0	51.8	5.2
2017年	全体 (n= 1722)		41.5	53.4	5.1
2015年	全体 (n= 1584)		32.6	62.4	5.0
【2019年属性別】					
続柄別	父親 (n= 204)		34.3	63.2	2.5
	母親 (n= 1501)		45.0	51.8	3.2
子ども性別	男子 (n= 834)		45.2	51.2	3.6
	女子 (n= 880)		42.3	54.7	3.1
希望進路別	進学希望者全体 (n= 1123)		46.6	49.2	4.3
	大学 (n= 1033)		48.5	47.2	4.3
	短大 (n= 25)		28.0	64.0	8.0
	専門学校 (n= 65)		23.1	73.8	3.1
	就職 (n= 175)		25.7	67.4	6.9

32 Hh Q30

【保護者】『キャリア教育』が推進されていくことをどう思うか (全体/単一回答)

		(%)	思う・計		思わない・計		その他	無回答	思う・計	思わない・計
			非常に良いこと だと思う	まあまあ良いこと だと思う	あまり良いこと だと思わない	まったく良いこと だと思わない				
●凡例										
2019年	全体 (n= 1759)		26.3	54.6	5.6	0.3	5.0	8.2	80.9	5.9
2017年	全体 (n= 1722)		29.2	53.8	4.8	0.6	3.5	8.1	83.0	5.5
2015年	全体 (n= 1584)		26.4	53.6	4.7	0.8	3.2	11.3	80.0	5.5
【2019年属性別】										
続柄別	父親 (n= 204)		27.0	51.0	8.3	1.5	7.4	4.9	77.9	9.8
	母親 (n= 1501)		27.0	56.2	5.4	0.1	4.9	6.5	83.1	5.5
子ども性別	男子 (n= 834)		27.6	57.4	4.2	0.4	4.6	5.9	85.0	4.6
	女子 (n= 880)		26.3	53.8	7.3	0.2	5.6	6.9	80.0	7.5
希望進路別	進学希望者全体 (n= 1123)		28.7	54.5	5.4	0.3	4.0	7.1	83.2	5.7
	大学 (n= 1033)		28.8	54.3	5.6	0.3	4.4	6.6	83.2	5.9
	短大 (n= 25)		36.0	36.0	4.0	—	—	24.0	72.0	4.0
	専門学校 (n= 65)		23.1	64.6	3.1	—	—	9.2	87.7	3.1
	就職 (n= 175)		23.4	55.4	6.9	—	5.7	8.6	78.9	6.9

※【2019年属性別】【2019年全体】より **10pt以上高い** 5pt以上高い **10pt以上低い**

32 Hh Q30SQ1

<フリーコメント> キャリア教育に対する意見や要望【保護者】

- 学生と社会人では、責任も立場も変わり戸惑う事が多いと思います。変わらない子が増えたと感じています。受け入れる側としても、キャリア教育は歓迎します。[山梨県/母親/男子/何でもいい]
- 女性も自分で働いて生活できるようにならなければいけないと思うので、若いうちからきちんと将来のことを考えることやキャリアを形成してゆくことの重要性を教えてほしい。[東京都/母親/女子/何でもいい]
- 大学入試の為の通常の科目以外に、キャリア教育までの時間はとれないと思う。今でさえ、理科(物理)など昔より範囲が多くなり授業時間が足りないほどなのに。高校ではキャリア教育の時間は現実不可能ではないか。必要ないと思う。小・中学校時と大学に入ってからでよい。[山梨県/母親/男子/大学]

V グローバル化社会・AIの普及発展に対する意識

33. 将来の進路に対するグローバル化社会の影響

▶ 高校生の将来への社会・経済のグローバル化の影響について、高校生の61%、保護者の57%が「ある」。

▶ 高校生と保護者のいずれもグローバル化の影響があるとの認識が2015年以降増加傾向。

- 高校生に、自分の将来に社会・経済のグローバル化の影響があると思うかを尋ねたところ、61%が「ある」と回答。2015年以降「ある」の割合は増加傾向。
- 性別にみると、「ある」の割合は男子(66%)が女子(57%)を上回る。
- 希望進路別にみると、進学希望者全体は、就職希望者に比べて「ある」が高い。
- 保護者に対しても同様に、子どもの将来に社会・経済のグローバル化の影響があると思うか尋ねた。保護者の57%が「ある」と回答。2015年以降「ある」の割合は増加傾向。
- 続柄別にみると、「ある」の割合は父親(67%)が母親(57%)よりも高い。
- 子どもの性別には大きな差異はみられない。
- 希望進路別にみると、進学希望者全体は、就職希望者に比べて「ある」が高い。

【高校生】 自分の将来に社会・経済のグローバル化の影響があると思うか (全体/単一回答)

			ある	ない	わからない	無回答
●凡例			ある	ない	わからない	無回答
2019年	全体	(n= 1997)	60.7	9.1	26.9	3.4
2017年	全体	(n= 1987)	54.9	11.0	32.5	1.7
2015年	全体	(n= 1887)	40.3	15.6	40.5	3.6
【2019年属性別】						
性別	男子	(n= 939)	65.6	8.3	21.7	2.8
	女子	(n= 968)	57.2	8.3	32.2	2.3
希望進路別	進学希望者全体	(n= 1665)	64.1	8.5	24.6	2.8
	大学	(n= 1448)	67.0	8.5	22.1	2.4
	短大	(n= 36)	41.7	8.3	41.7	8.3
	専門学校	(n= 181)	45.3	8.8	41.4	4.4
	就職	(n= 300)	43.7	12.3	39.0	5.0

33 Kh Q23

【保護者】 子どもの将来に社会・経済のグローバル化は影響があると思うか (全体/単一回答)

			ある	ない	わからない	無回答
●凡例			ある	ない	わからない	無回答
2019年	全体	(n= 1759)	57.1	1.9	36.2	4.8
2017年	全体	(n= 1722)	47.9	4.2	43.8	4.1
2015年	全体	(n= 1584)	42.5	3.9	48.4	5.2
【2019年属性別】						
続柄別	父親	(n= 204)	67.2	2.9	26.0	3.9
	母親	(n= 1501)	56.5	1.8	37.8	3.9
子ども性別	男子	(n= 834)	58.0	1.9	36.3	3.7
	女子	(n= 880)	57.4	1.9	36.4	4.3
希望進路別	進学希望者全体	(n= 1123)	64.6	2.0	29.4	4.0
	大学	(n= 1033)	67.2	1.9	26.8	4.1
	短大	(n= 25)	20.0	8.0	72.0	—
	専門学校	(n= 65)	40.0	1.5	53.8	4.6
	就職	(n= 175)	34.9	2.3	60.6	2.3

33 Hh Q19

34. グローバル社会で通用する人材になりたい(なっしてほしい)か/その理由

1) 高校生の認識

▶ 高校生の64%がグローバル社会で通用する人材に「なりたい」と回答。

- 高校生に、将来グローバル社会で通用する人材になりたいか尋ねたところ、「ぜひなりたい」は32%、「できればなりたい」(32%)を含め64%がなりたい(「なりたい・計」と回答。2015年以降「なりたい・計」が増加傾向。
- 希望進路別にみると、「なりたい・計」の割合は進学希望者全体が就職希望者に比べて高い。
- 55ページ『将来の進路に対するグローバル化社会の影響』の回答別にみると、影響が「ある」層の80%が「なりたい」と回答。一方、グローバル化の影響が「ない」「わからない」層では、「なりたい」意向は2~4割割。
- グローバル社会で通用する人材になりたいと思う理由としては、グローバル化が進む中、仕事やプライベートでの交流に関する回答が挙がった。
一方、なりたくない理由としては、「英語が苦手」といった言語スキルへの不安、コミュニケーション能力の不安、「日本国内で活動するから不要」などグローバル化への無関心さがうかがわれる意見などが挙がった。

【高校生】 グローバル社会で通用する人材になりたいと思うか (全体/単一回答)

	(%)	なりたい・計			なりたいと思わない計			なりたい計	なりたいと思わない計
		ぜひなりたい	できればなりたい	どちらでもよい	あまりなりたくないと思わない	なりたいと思わない	無回答		
● 凡例									
2019年 全体 (n=1997)		32.3		32.1		22.9	5.2	4.7	2.8
2017年 全体 (n=1987)		27.6		29.6		28.4	4.7	6.1	3.6
2015年 全体 (n=1887)		22.3		27.3		28.5	7.4	8.7	5.8
【2019年属性別】									
性別									
男子 (n=939)		34.1		32.2		23.0	4.6	4.0	2.1
女子 (n=968)		31.4		33.5		22.8	5.6	5.1	1.7
希望進路別									
進学希望者全体 (n=1665)		35.1		32.7		21.0	4.9	4.0	2.2
大学 (n=1448)		36.7		33.4		19.9	4.8	3.7	1.6
短大 (n=36)		25.0		25.0		22.2	8.3	11.1	8.3
専門学校 (n=181)		24.9		28.7		29.8	5.5	5.5	5.5
就職 (n=300)		17.7		29.3		34.0	6.7	7.7	4.7
将来へのグローバル化影響									
ある (n=1212)		46.0		33.5		15.3	2.9	1.8	0.6
ない (n=181)		7.2		18.8		40.3	12.7	18.8	2.2
わからない (n=537)		11.9		35.0		35.0	7.8	6.7	3.5

※小計:「2019年全体」より 10pt以上高い 5pt以上高い 10pt以上低い

<フリーコメント> グローバル社会で通用する人材になりたい・なりたくない理由【高校生】

■ぜひなりたい

- グローバル化が進み、その社会に対応する能力が必要だと思っから。 [北海道/女子/専門学校]
- グローバル社会で通用する人材になれば、社会に影響を少しでも与えられるようになり、やりがいを感じられそうだから。 [青森県/男子/大学]
- 今や世界の様々な国の人たちと交流し、仕事でもプライベートでも関わることはよくある時代になったから。 [青森県/男子/大学]
- たくさんの人とのコミュニケーションをとり、自分の成長にかかしたいから。 [鳥取県/女子/大学]
- 海外の食文化を学びたいと思っから。 [東京都/女子/大学]
- 国際交流が大好きだから。 [山梨県/男子/就職]

■できればなりたい

- グローバルで通用できたらもっと楽しくなりそうだから。 [東京都/女子/大学]
- 海外の技術を学び、研究したいから。 [熊本県/女子/大学]
- 外国人とコミュニケーションをとりたいから。 [山梨県/男子/大学]
- 少しでも広い視野をもちたいから。 [熊本県/女子/大学]
- 世界で通用する人が増えれば日本はより発展すると思っから。 [和歌山県/女子/就職]

■どちらでもよい

- グローバルでなくても異文化交流ができるから。 [鳥取県/女子/大学]
- 英語が苦手だからなりたくないと思ってもなれないだろうから。 [愛知県/女子/大学]
- 外国の人と研究したりするより、現場で積極的に動いて治療するような人になりたいから。 [青森県/男子/大学]
- 明確にその状況を想像できないから。 [青森県/男子/大学]

■あまりなりたくないと思わない

- グローバルよりもまず人とのコミュニケーション能力を上げたいから。 [青森県/女子/大学]
- ずっと日本の中だけで生きていられたほうが楽だと思っから。 [石川県/女子/大学]
- 人見知りのため、あまり多くの人とはかかわりたくない。 [山梨県/男子/大学]

■なりたいと思わない

- グローバル社会で通用する職業に就きたいと考えていないから。 [山梨県/女子/大学]
- 英語使えないし、日本人なのに英語をしゃべらないといけないという意味があまり理解できない。 [熊本県/その他/就職]
- 初対面の人と話すのは苦手だから。 [熊本県/男子/専門学校]

2) 保護者の認識

▶保護者の60%が子どもにグローバル社会で通用する人材に「なりたい」と回答。

- 保護者に、子どもにグローバル社会で通用する人材にならなりたいと思うか尋ねた。「ぜひなりたい」は21%、「できればなりたい」(39%)を含め60%がなりたい(「なりたい・計」と回答。「なりたい・計」は前回2017年の42%から大幅増。
- 希望進路別にみると、「なりたい・計」の割合は進学希望者全体が就職希望者に比べて高い。
- 55ページ『将来の進路に対するグローバル化社会の影響』の回答別にみると、影響が「ある」層の77%が「なりたい」と回答。一方、グローバル化の影響が「ない」層は50%、「わからない」層は37%。
- グローバル社会で通用する人材にならなりたいと思う理由としては、「就職」「多様な価値観」などグローバル化が進むという認識の中、そこでの成長・活躍などを期待する回答が挙がる。一方、なりたいと思わない理由としては、「海外に行きたくない」という親の希望や、「本人の希望」などの意見が挙がった。

【保護者】 子どもにグローバル社会で通用する人材にならなりたいか (全体/単一回答)

凡例	なりたい・計		どちらでもよい	なりたいと思わない・計		無回答	なりたい・計	なりたいと思わない・計		
	ぜひなりたい	できればなりたい		あまりなりたいと思わない	なりたいと思わない					
2019年 全体 (n=1759)	20.8	39.0	39.0	32.4	0.9	0.1	6.9	59.7	1.0	
2017年 全体 (n=1722)	12.7	29.7	47.9	2.1	2.6	5.1	42.3	4.7		
2015年 全体 (n=1584)	10.4	30.6	45.5	3.3	2.1	8.1	40.9	5.5		
【2019年属性別】										
続柄別	父親 (n=204)		26.5	33.8	33.3	1.0	0.5	4.9	60.3	1.5
	母親 (n=1501)		20.4	40.0	32.6	0.8	0.1	6.2	60.4	0.9
子ども性別	男子 (n=834)		21.2	40.2	32.3	0.7	0.1	5.5	61.4	0.8
	女子 (n=880)		20.8	38.5	32.8	0.9	0.1	6.8	59.3	1.0
希望進路別	進学希望者全体 (n=1123)		23.9	41.6	29.1	0.6	0.2	4.6	65.4	0.8
	大学 (n=1033)		25.0	42.1	28.3	0.6	0.1	4.0	67.1	0.7
	短大 (n=25)		12.0	32.0	40.0	—	—	16.0	44.0	—
	専門学校 (n=65)		10.8	36.9	38.5	1.5	1.5	10.8	47.7	3.1
	就職 (n=175)		10.9	36.6	44.6	2.9	—	5.1	47.4	2.9
将来へのグローバル化影響	ある (n=1005)		31.9	45.4	20.8	0.7	—	1.2	77.3	0.7
	ない (n=34)		20.6	29.4	50.0	—	—	—	50.0	—
	わからない (n=636)		5.0	32.2	52.5	1.3	0.2	8.8	37.3	1.4

※【2019年属性別】「2019年全体」より 10pt以上高い 5pt以上高い 10pt以上低い

<フリーコメント> グローバル社会で通用する人材にならなりたい・なりたいと思わない理由【保護者】

■ぜひなりたい

- たくさん外国人が日本社会で働き生活している。同じ職場になることも十分にある。広い視野が必要。[東京都/母親/女子/大学]
- 広い視野でいろいろなことを知ってほしい。[鳥取県/母親/女子/大学]
- 多様な価値感を認め、共存していくことがあたり前の社会になっていくと考えるから。[石川県/母親/女子/大学]
- 日本国内に留まらず、多様な価値感を持って社会に貢献できる人にならなりたいから。[東京都/母親/男子/何でもいい]
- 本人が海外で働きたいと言っているから。[鳥取県/母親/男子/大学]

■できればなりたい

- 就職の選択肢がひろがるから[和歌山県/母親/男子/何でもいい]
- グローバル化が進み、社会的にも仕事に対しても視野が広がれば良いと思います。[石川県/母親/男子/就職]
- 外国人と対等に仕事をできるように、また、文化交流等もできて、未知の世界を知れるように。[青森県/母親/男子/大学]
- 幅広い視野を持つべきだと思うから。[愛知県/母親/女子/大学]

■どちらでもよい

- グローバルな変化がある環境に身を置くのであれば、必要であるが、そうでなければ必要でないと思う。[鳥取県/母親/男子/大学]
- グローバル社会を私もよくわかっていないから。[石川県/父親/女子/就職]
- 個人の適性があるので。[愛知県/母親/男子/大学]
- 子どもが決めることだから。必要ならば自分で努力すればよい。[鳥取県/母親/女子/何でもいい]
- 本人の意志にまかせる。[北海道/母親/女子/何でもいい]

■あまりなりたいと思わない

- 海外へは、行きたいと思わない。[山梨県/父親/男子/就職]
- 本人が望んでいない。[愛知県/母親/女子/大学]

35. 留学したい(させたい)か

▶「留学したい」と回答した高校生は34%、子どもを「留学させたい」と考えている保護者は31%。

- 高校生に、留学したいと思うかを尋ねたところ、「留学したい」は17%、「できれば留学したい」(17%)まであわせると、34%が留学したいと回答(「留学したい・計」)。
- 性別にみると、「留学したい・計」は、女子が男子に比べて高い。
- 希望進路別にみると、「留学したい・計」は、進学希望者全体が就職希望者に比べて高い。
- 保護者に、子どもを留学させたいか尋ねたところ、「留学させたい」は9%。「できれば留学させたい」(21%)を含め、31%が留学させたいと回答(「留学させたい・計」)。
- 続柄別および子どもの性別では、「留学させたい・計」に大きな差異はみられない。
- 希望進路別にみると、「留学させたい・計」は進学希望者全体(36%)が就職希望者(12%)に比べて高い。

【高校生】 留学したいと思うか (全体/単一回答)

	(%)	留学したい計			どちらでもよい	留学したいと思わない計		無回答	留学したい計	留学したいと思わない計
		留学したい	できれば留学したい			あまり留学したいと思わない	留学したいと思わない			
●凡例										
2019年 全体 (n= 1938)		16.8	16.9	21.6		20.6	23.2	0.9	33.7	43.8
性別										
男子 (n= 925)		13.5	13.5	24.4		20.3	27.4	0.9	27.0	47.7
女子 (n= 937)		20.2	20.5	19.2		21.3	18.6	0.2	40.7	39.9
希望進路別										
進学希望者全体 (n= 1625)		18.5	19.0	22.7		20.3	18.8	0.7	37.5	39.1
大学 (n= 1436)		19.3	19.7	22.6		20.4	17.2	0.8	39.0	37.6
短大 (n= 28)		14.3	25.0	14.3		25.0	21.4	—	39.3	46.4
専門学校 (n= 161)		11.8	11.8	24.8		18.6	32.9	—	23.6	51.6
就職 (n= 285)		6.3	5.3	15.1		23.5	48.4	1.4	11.6	71.9
将来へのグローバル化影響										
ある (n= 1198)		22.8	20.5	21.4		18.9	16.4	0.2	43.2	35.2
ない (n= 169)		6.5	9.5	23.1		17.8	43.2	—	16.0	60.9
わからない (n= 515)		7.2	11.7	22.3		25.6	33.0	0.2	18.8	58.6

※小計:「2019年全体」より **10pt以上高い** 5pt以上高い **10pt以上低い**

35 Kh Q25

【保護者】 子どもを留学させたいと思うか (全体/単一回答)

	(%)	留学させたい計		どちらでもよい	留学させたいと思わない計		無回答	留学させたい計	留学させたいと思わない計	
		留学させたい	できれば留学させたい		あまり留学させたいと思わない	留学させたいと思わない				
●凡例										
2019年 全体 (n= 1759)		9.2	21.4	41.2		14.4	11.0	2.9	30.5	25.4
2017年 全体 (n= 1722)		6.7	17.4	35.9		16.9	19.0	3.9	24.2	35.9
2015年 全体 (n= 1584)		6.4	16.8	33.0		15.9	23.2	4.6	23.2	39.1
【2019年属性別】										
続柄別										
父親 (n= 204)		9.3	22.1	39.7		14.2	12.3	2.5	31.4	26.5
母親 (n= 1501)		9.3	21.5	42.0		14.5	10.8	2.0	30.8	25.2
子ども性別										
男子 (n= 834)		9.8	22.1	42.9		12.7	10.3	2.2	31.9	23.0
女子 (n= 880)		8.9	21.0	40.1		16.3	11.6	2.2	29.9	27.8
希望進路別										
進学希望者全体 (n= 1123)		10.5	25.6	40.2		13.3	8.2	2.1	36.2	21.5
大学 (n= 1033)		11.2	26.8	41.2		12.4	6.3	2.0	38.0	18.7
短大 (n= 25)		16.0	16.0	28.0		40.0	—	—	16.0	68.0
専門学校 (n= 65)		3.1	10.8	33.8		21.5	26.2	4.6	13.8	47.7
就職 (n= 175)		3.4	8.6	36.0		24.0	26.9	1.1	12.0	50.9
将来へのグローバル化影響										
ある (n= 1005)		12.7	28.3	40.0		11.8	6.5	0.7	41.0	18.3
ない (n= 34)		5.9	2.9	41.2		14.7	35.3	—	8.8	50.0
わからない (n= 636)		3.9	13.4	45.3		19.7	17.1	0.6	17.3	36.8

※【2019年属性別】「2019年全体」より **10pt以上高い** 5pt以上高い **10pt以上低い**

35 Hh Q21

36.AI(人工知能)などの普及・発達の影響があると思うか

▶ 高校生の将来へのAI(人工知能)などの普及・発達の影響について高校生の66%、保護者の57%が「ある」。

- 高校生に、『自分の将来にAI(人工知能)などの普及・発達の影響があると思うか』を尋ねたところ、66%が「ある」と回答。
- 性別にみると、「ある」は、男子が女子に比べて高い。
- 希望進路別にみると、「ある」は、進学希望者全体が就職希望者に比べてわずかに高い。
- 保護者に対しても同様に、子どもの将来にAI(人工知能)などの普及・発達の影響があると思うか尋ねた。保護者の57%が「ある」と回答。
- 続柄別にみると、「ある」は、父親が母親に比べて高い。
- 希望進路別にみると、「ある」は、進学希望者全体が就職希望者に比べて高い。

【高校生】 自分の将来にAI(人工知能)などの普及・発達の影響があると思うか (全体/単一回答)

			ある	ない	わからない	無回答
●凡例			ある	ない	わからない	無回答
2019年	全体	(n= 1997)	65.9	6.1	26.6	1.4
2017年	全体	(n= 1987)	52.0	8.5	37.8	1.8
【2019年属性別】						
性別	男子	(n= 939)	71.2	5.6	22.7	0.4
	女子	(n= 968)	62.3	6.6	30.6	0.5
希望進路別	進学希望者全体	(n= 1665)	66.7	6.2	25.8	1.2
	大学	(n= 1448)	70.0	5.4	23.7	1.0
	短大	(n= 36)	47.2	8.3	36.1	8.3
	専門学校	(n= 181)	44.8	12.7	40.9	1.7
	就職	(n= 300)	63.3	5.3	30.7	0.7

36 Kh Q26

<フリーコメント> AIが普及・発達していく時代を生きていくのに必要だと思う力【高校生】

- AIがこなせない作業、つまりコミュニケーション能力が必要だと思えます。[鳥取県/男子/大学]
- AIにはできない新しい物を生み出す力。[青森県/男子/大学]
- AIにはない、創造性、発想力が必要になる。[山梨県/女子/大学]
- AIが考えつかない発想をもつ力。[青森県/女子/大学]
- AIに負けないような行動力、コミュニケーション能力、周りとうまくやっていく力。[愛知県/男子/大学]

【保護者】 子どもの将来にAI(人工知能)などの普及・発達の影響があると思うか (全体/単一回答)

			ある	ない	わからない	無回答
●凡例			ある	ない	わからない	無回答
2019年	全体	(n= 1759)	56.5	2.6	38.1	2.9
2017年	全体	(n= 1722)	38.7	3.8	52.0	5.5
【2019年属性別】						
続柄別	父親	(n= 204)	69.1	4.4	24.5	2.0
	母親	(n= 1501)	55.3	2.3	40.3	2.1
子ども性別	男子	(n= 834)	58.8	2.5	36.6	2.2
	女子	(n= 880)	55.2	2.6	40.0	2.2
希望進路別	進学希望者全体	(n= 1123)	62.0	1.9	34.1	2.0
	大学	(n= 1033)	63.6	1.9	32.4	2.0
	短大	(n= 25)	20.0	—	80.0	—
	専門学校	(n= 65)	52.3	1.5	43.1	3.1
	就職	(n= 175)	41.1	4.0	54.3	0.6

36 Hh Q22

<フリーコメント> AIが普及・発達していく時代を生きていくのに必要だと思う力【保護者】

- AIではできないコミュニケーション能力。[鳥取県/母親/女子/大学]
- デジタルな部分アナログな部分両方を考え行動できるバランス力。[東京都/母親/男子/大学]
- AIに負けない発想、コミュニケーション能力、ストレスに負けない精神力、タフさ。[東京都/母親/男子/大学]
- リーダーシップ力、問題解決力、等。[東京都/母親/男子/大学]
- コミュニケーション能力や創造力。[北海道/母親/女子/何でもいい]
- 自分で考えること、創造力。[石川県/父親/男子/何でもいい]

VI 教育改革の評価と高校での対応状況

37. 教育改革への期待と不安

▶ 教育改革の内容のうち、高校生が期待できる(「期待・計」と評価したもの)の上位には、高校の教育の項目が並ぶ。一方、不安である(「不安・計」と評価したもの)の上位は、すべて入学者選抜の項目。

- 高校生に、教育改革の内容に関して、それぞれ期待できるか不安か、気持ちを選んでもらった。
- 「期待・計」(「期待できる」+「不安はあるが期待が大きい」)のスコアの上位は下記の通りであり、『高校の教育』の項目が上位に並ぶ。
 - ① ICT技術を活用し、一人ひとりが最適な学習内容と進度で学べるようになる (70%)
 - ② 高校と大学、専門学校が連携を深め、生徒の学びがより繋がっていく (64%)
 - ③ 先生が知識を教え込む授業から、生徒が主体的に考え、学び合う授業に変わる (63%)
 - ④ 生徒が自らテーマを設定し、調べたり解決に向けて取り組む探究学習が重視される (62%)
 - ⑤ 生徒自身が基礎学力の定着を把握し、今後の学習活動につなげる「高校生のための学びの基礎診断」が始まる (61%)
- 「不安・計」(「不安である」+「期待はあるが不安が大きい」)のスコアの上位は下記の通りであり、『入学者選抜』の項目が上位に並ぶ。
 - ① 現在の「大学入試センター試験」が、記述式問題も出題される「大学入学共通テスト」に変わる (60%)
 - ② 英語について、従来の「読む」「聞く」に「書く」「話す」を加えた4技能が評価される (52%)
 - ③ 民間が実施している英語資格試験が活用されるようになる (51%)
 - ④ 各大学の個別入試では、筆記試験に加えて小論文や面接、ポートフォリオなどで主体性が評価される (49%)
 - ⑤ 総合型選抜(AO入試)、学校推薦型選抜(推薦入試)でも、学力評価が必須となる (41%)

● 教育改革の内容について、期待すること、不安なことを書いてもらったところ、「一人ひとりへの最適な学習内容」「グローバル化に対応」「主体的に考える」など、教育内容に期待するコメントが挙がる。一方、不安なこととしては大学入学共通テストと英語資格試験に対して「記述式の導入により、自己採点がしにくい」「情報が少ない」「不公平」など、実際に試験を受ける立場からの不安に関するコメントが挙がる。

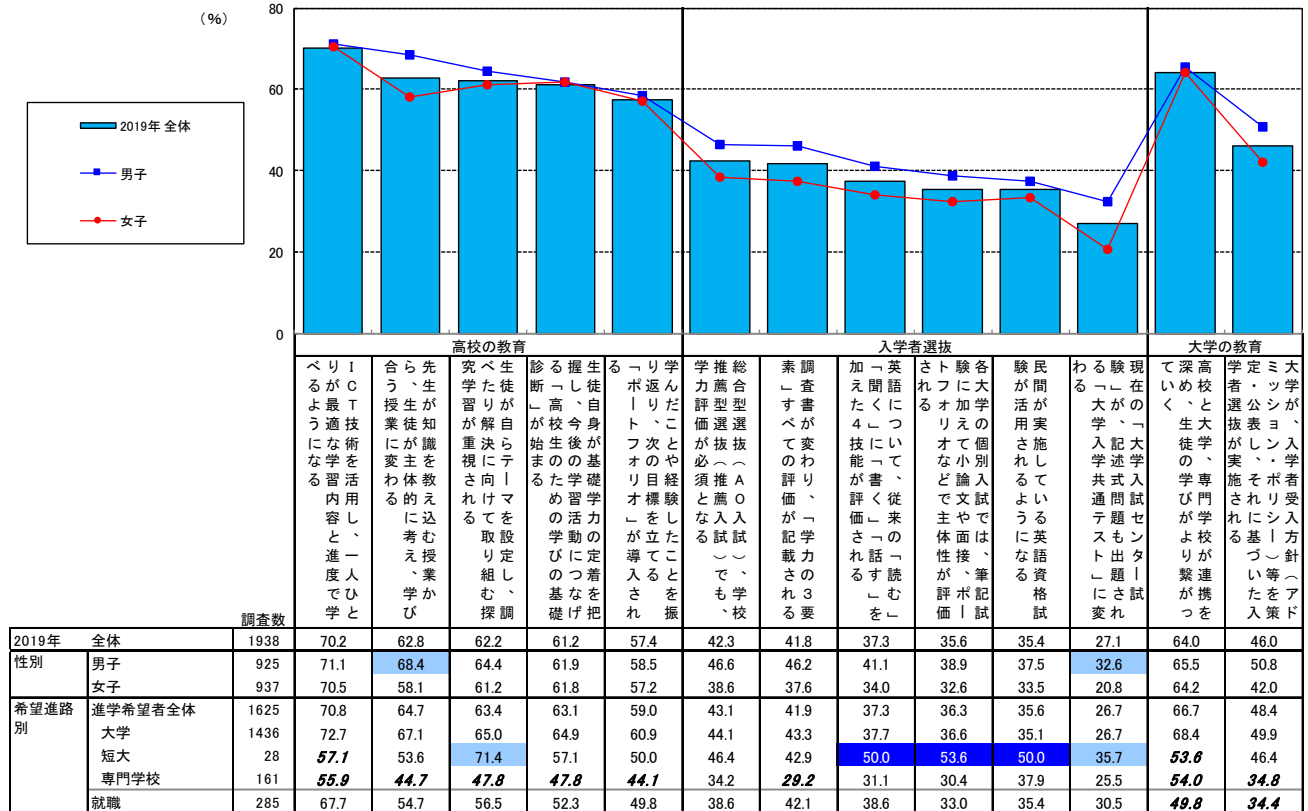
→フリーコメントは64ページに掲載

【高校生】 教育改革の内容への期待と不安 (全体/各単一回答)

	期待・計 (%)		不安・計 (%)		わからない (%)	無回答 (%)	期待・計	不安・計
	期待できる	不安はあるが期待が大きい	期待はあるが不安が大きい	不安である				
(n=1938)	● 凡例							
高校の教育								
B	41.7	28.5	12.6	4.9	10.8	1.4	70.2	17.5
A	33.5	29.4	18.0	7.3	10.5	1.3	62.8	25.3
C	34.5	27.7	19.6	7.3	9.3	1.7	62.2	26.8
E	33.5	27.7	15.7	6.2	14.9	2.0	61.2	21.9
D	32.1	25.2	16.7	8.4	15.9	1.6	57.4	25.1
入学者選抜								
J	20.5	21.8	20.0	21.1	12.5	4.1	42.3	41.1
K	19.9	21.9	19.4	20.8	13.3	4.7	41.8	40.2
G	20.5	16.8	19.7	32.1	6.9	4.0	37.3	51.8
I	16.8	18.8	22.4	26.9	10.8	4.2	35.6	49.3
H	18.7	16.7	20.5	30.7	9.3	4.1	35.4	51.2
F	13.1	14.0	19.8	40.1	8.9	4.1	27.1	59.9
大学の教育								
M	38.7	25.3	13.1	6.6	12.1	4.2	64.0	19.7
L	24.6	21.4	18.8	13.4	17.3	4.4	46.0	32.2

※カテゴリごと「期待・計」降順ソート

【高校生】 教育改革の内容への期待と不安 (全体/「期待・計」)

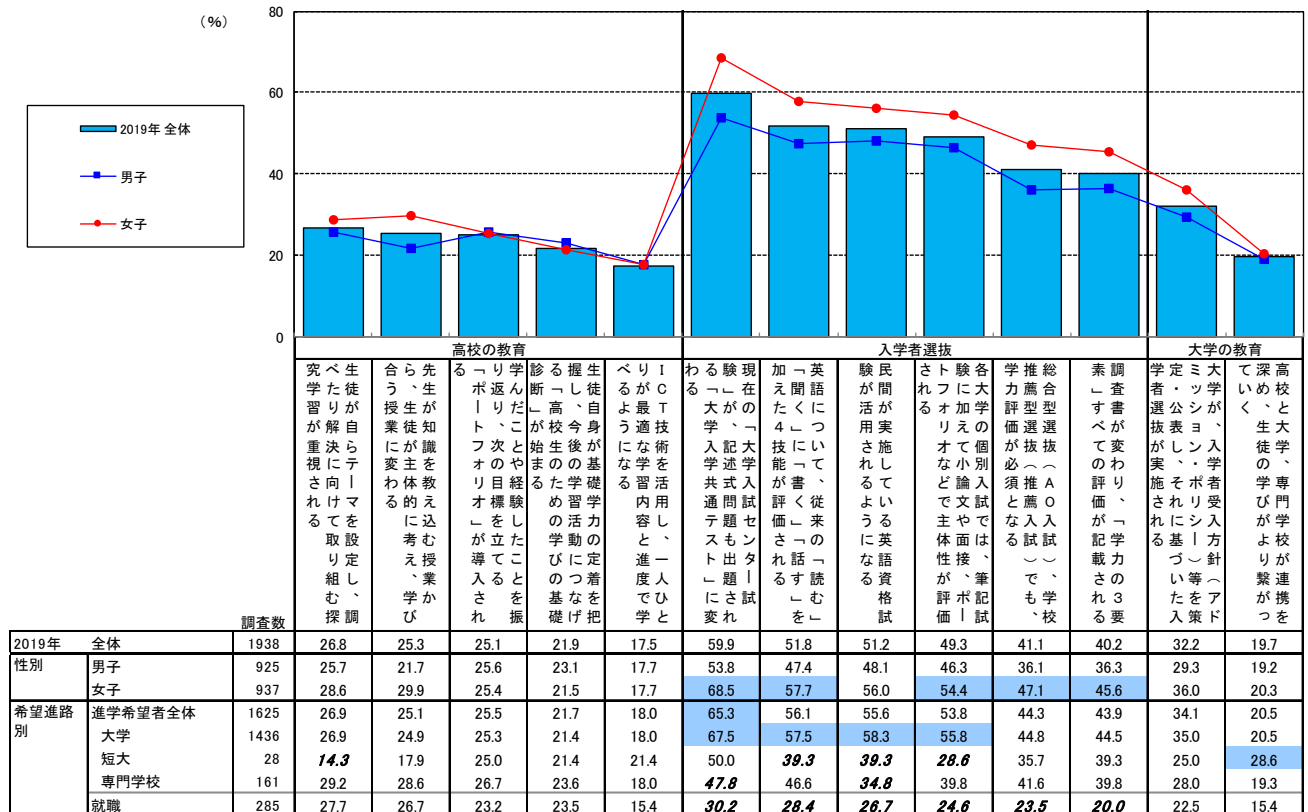


※ カテゴリごと「2019年全体」降順ソート

100.0 「2019年全体」より10ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

37 Kh Q27.1

【高校生】 教育改革の内容への期待と不安 (全体/「不安・計」)



※ カテゴリごと「2019年全体」降順ソート

100.0 「2019年全体」より10ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

37 Kh Q27.2

▶教育改革の内容のうち、保護者が期待できる(「期待・計」と評価したもの)の上位は、すべて高校の教育の項目。一方、不安である(「不安・計」と評価したもの)の上位は、すべて入学者選抜の項目。

●保護者にも同様に、教育改革の内容に関して、それぞれ期待できるか不安か、気持ちを選んでもらった。

- 「期待・計」(「期待できる」+「不安はあるが期待が大きい」)のスコアの上位は下記の通りであり、『高校の教育』の項目が上位に並ぶ。
 - ①生徒が自らテーマを設定し、調べたり解決に向けて取り組む探究学習が重視される (62%)
 - ②学んだことや経験したことを振り返り、次の目標を立てる「ポートフォリオ」が導入される (57%)
 - ③先生が知識を教え込む授業から、生徒が主体的に考え、学び合う授業に変わる (56%)
 - ④生徒自身が基礎学力の定着を把握し、今後の学習活動につなげる
「高校生のための学びの基礎診断」が始まる (55%)
 - ⑤ICT技術を活用し、一人ひとりが最適な学習内容と進度で学べるようになる (55%)

- 「不安・計」(「不安である」+「期待はあるが不安が大きい」)のスコアの上位は下記の通りであり、『入学者選抜』の項目が上位に並ぶ。
 - ①現在の「大学入試センター試験」が、記述式問題も出題される「大学入学共通テスト」に変わる (56%)
 - ②民間が実施している英語資格試験が活用されるようになる (51%)
 - ③英語について、従来の「読む」「聞く」に「書く」「話す」を加えた4技能が評価される (50%)
 - ④各大学の個別入試では、筆記試験に加えて小論文や面接、ポートフォリオなどで主体性が評価される (48%)
 - ⑤調査書が変わり、「学力の3要素」すべての評価が記載される (40%)

●教育改革の内容について、期待すること、不安なことを書いてもらったところ、「つめ込み教育から思考力を養う教育」「個々の能力を伸ばせる」「グローバル化に適応」など、身につく能力に期待するコメントが挙がる。一方、不安なこととしては、大学入学共通テストと英語資格試験に対して「情報が少ない」「不公平」「準備期間が短い」などのコメントが挙がる。

→フリーコメントは64ページに掲載

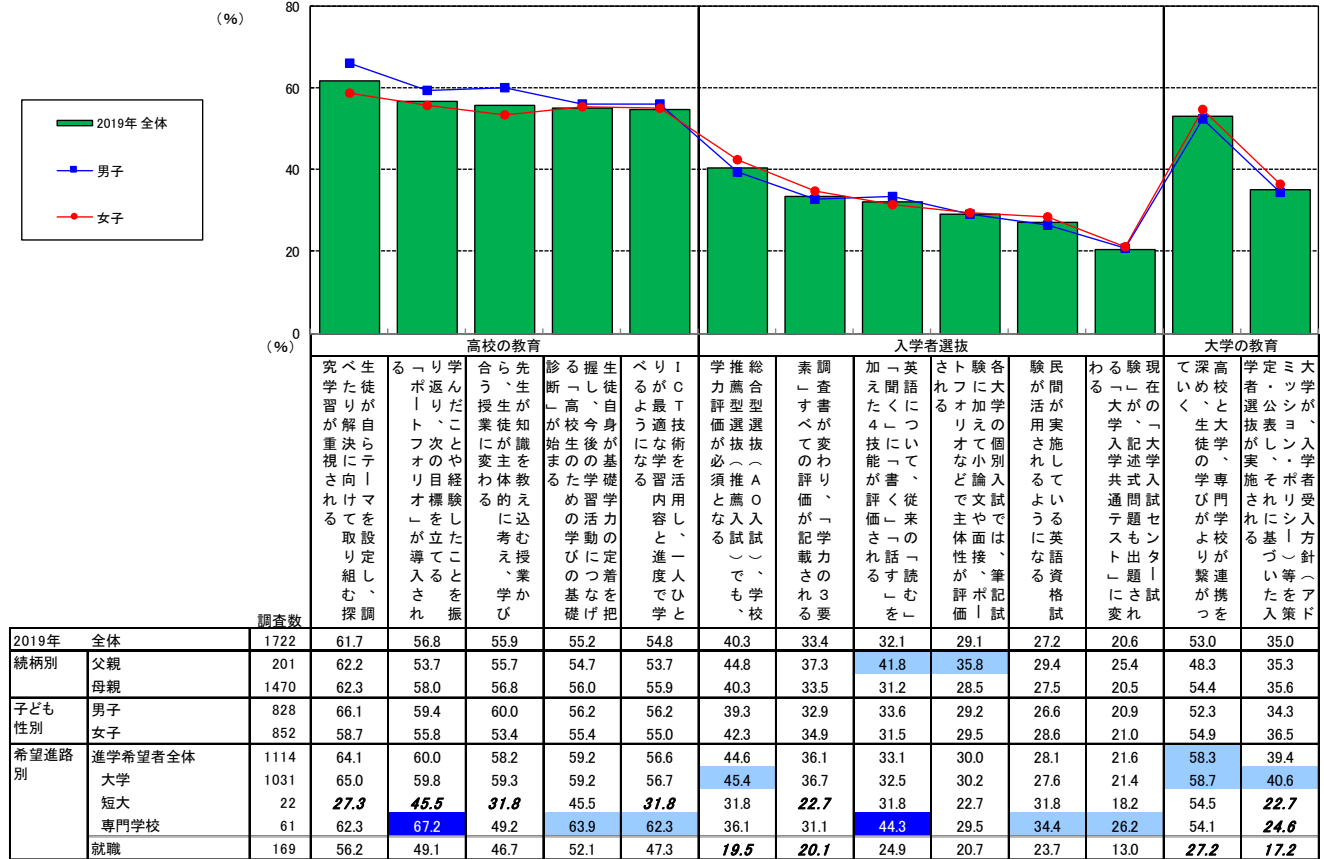
【保護者】教育改革の内容への期待と不安 (全体/各単一回答)

	期待・計 (%)		不安・計 (%)		わからない (%)	無回答 (%)	期待・計 (%)	不安・計 (%)
	期待できる	不安はあるが期待が大きい	期待はあるが不安が大きい	不安である				
(n=1722) ●凡例								
高校の教育								
C	24.9	36.8	18.7	5.2	7.7	6.8	61.7	23.9
D	21.4	35.4	17.9	4.6	13.7	6.9	56.8	22.6
A	19.1	36.8	24.8	6.2	6.8	6.3	55.9	31.0
E	21.4	33.7	18.1	5.1	13.9	7.7	55.2	23.2
B	19.1	35.7	20.4	5.4	12.4	7.0	54.8	25.8
入学者選抜								
J	12.4	27.9	22.2	13.6	11.7	12.1	40.3	35.8
K	8.7	24.7	22.8	17.6	13.5	12.7	33.4	40.4
G	10.4	21.7	24.7	25.0	6.7	11.6	32.1	49.7
I	7.3	21.8	24.9	22.8	11.2	12.0	29.1	47.7
H	8.8	18.4	21.4	29.8	9.5	12.0	27.2	51.2
F	4.5	16.1	25.7	30.3	12.0	11.4	20.6	56.0
大学の教育								
M	22.5	30.4	15.4	5.3	14.0	12.4	53.0	20.7
L	10.9	24.2	22.0	12.4	18.1	12.6	35.0	34.3

※カテゴリごと「期待・計」降順ソート

37 Hh Q23

【保護者】教育改革の内容への期待と不安（全体／「期待・計」）

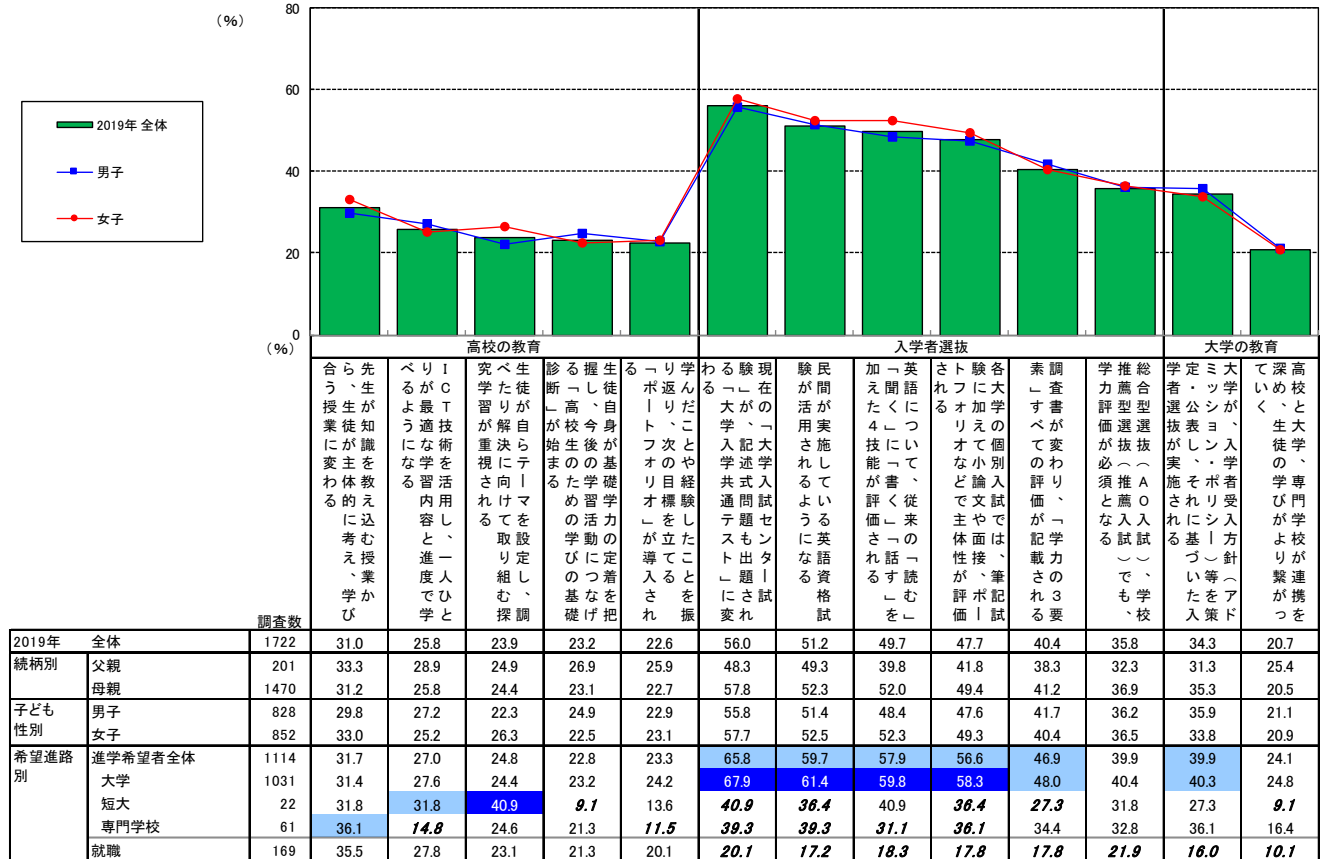


※ カテゴリごと「2019年全体」降順ソート

100.0 「2019年全体」より10ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

37 Hh Q23.1

【保護者】教育改革の内容への期待と不安（全体／「不安・計」）



※ カテゴリごと「2019年全体」降順ソート

100.0 「2019年全体」より10ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

37 Hh Q23.2

<フリーコメント> 高校教育改革について期待すること【高校生】

- 一人ひとりが最適な学習をできるのはいいと思う。
[石川県/男子/その他]
- 1人1人の個性が生かされる。[鳥取県/女子/大学]
- ICT技術を活用し、一人ひとりが最適な学習内容と進度で学べるようになる。[北海道/男子/専門学校]
- ICTを活用し、もっと幅広い学習が出来るようになること。
[和歌山県/女子/大学]
- より学びの幅が広がること。[北海道/女子/大学]
- 今までよりも最適な教育を受けることができる。
[北海道/女子/専門学校]
- グローバル化に対応できる人材を育てること。
[愛知県/男子/大学]
- 英語が4技能になったので、社会でより使えるようになる。
[愛知県/男子/大学]
- 英語について、海外でも使える英語力が身につく。と考えられる。
[東京都/男子/大学]
- ポートフォリオの主体性が評価される。[熊本県/女子/大学]
- 主体的に考える力が身につけられる。[山梨県/男子/大学]
- 学び合う授業なのでわからないことが聞きやすくなること。
[鳥取県/女子/大学]
- 高校と大学が連携し、生徒の学びが繋がること。
[愛知県/女子/大学]
- より自分に適した進路へ進むことができそう。
[石川県/女子/大学]
- 社会に出るまでに社会人基礎力がある程度つくと思う。
[熊本県/女子/大学]

<フリーコメント> 高校教育改革について期待すること【保護者】

- つめ込み教育から、自ら考える等の思考力をこれまで以上に磨ける点は、期待しています。[東京都/母親/女子/大学]
- 学力がただの詰め込みから、発信力、解決力、協働性の思考力へ。
[熊本県/父親/男子/何でもいい]
- 学力だけではなく個々の能力を以前よりも、丁寧に伸ばしてもらえそう。
[青森県/母親/女子/大学]
- 子供が自分の個性にあわせてのびのびと学べるようになる
[東京都/母親/女子/大学]
- 自ら考え学び、行動する事があたり前になるような教育改革に期待します。
[石川県/母親/女子/大学]
- 多面的、深い洞察力を養う力、時間を充分にして欲しい。
[愛知県/母親/女子/海外の大学等]
- 英語に「話す」も加えられたこと。[山梨県/母親/男子/大学]
- グローバル化に適応できる人間になれる。
[石川県/父親/男子/大学]
- 暗記するだけでは対応できない大学入試に変われば日本の教育制度自体が変化する可能性がある。
[鳥取県/母親/女子/大学]
- 1回だけの入試でなく総合的に判断してくれること
[熊本県/母親/女子/大学]
- より社会に通用する人材が、選ばれる可能性が大きくなる。
[山梨県/母親/男子/大学]
- 高校時代より大学と連携を深めていただけると、大学がより身近かになり、より進路が具体的に感じる。
[愛知県/母親/女子/大学]
- 高校時から大学の特性等がわかり、入学の目安となりそう。
[青森県/母親/女子/大学]

<フリーコメント> 高校教育改革について不安なこと【高校生】

- 「大学入学共通テスト」についてもっと準備してから実施するべきだと思います。[熊本県/女子/大学]
- センター試験から共通テストへ変わるが、詳細がよく分からない。
[青森県/女子/大学]
- センター試験が大学入学共通テストに変わり、対策がしづらいこと。
[青森県/女子/大学]
- まだ入試について定まっていないこと。[鳥取県/女子/大学]
- 入試の採点基準が曖昧になる可能性があること。
[鳥取県/男子/大学]
- 記述式の導入により、自己採点がしにくいということ。
[愛知県/女子/大学]
- 英語の試験を受けさせるだけで、グローバル化に今の年代の人がついていけない気がしない。[愛知県/女子/大学]
- 民間の英語試験の活用はお金のない人が不利になるから活用しない方がいい。[青森県/男子/大学]
- リスニング、スピーキングが苦手な私にとって、4技能試験になること。
[東京都/女子/大学]
- ポートフォリオとかやっても意味ない、必要ないと思う。
[山梨県/女子/大学]
- 改革が不発に終わり、我々学生が振り回され、未来がつぶれてしまうこと。
[青森県/女子/大学]
- 経済的に余裕のある人が活躍するシステムになっているので、今以上に経済格差が進むこと。
[北海道/女子/大学]
- 授業の改革があるが、都会と田舎では田舎が不利になるのではないか。
[鳥取県/女子/大学]

<フリーコメント> 高校教育改革について不安なこと【保護者】

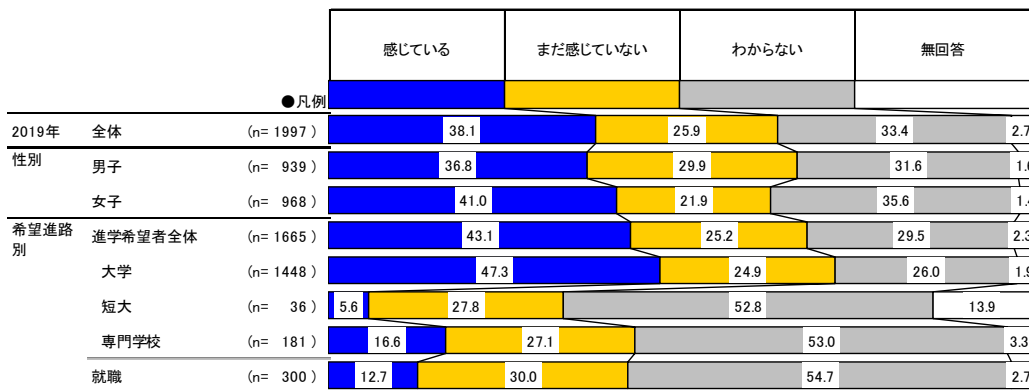
- 新しい入試方法について、具体的な事が決まっていないまま見切り発車しているようで怖い。
[愛知県/母親/男子/大学]
- 過去問がないので対策ができない。[熊本県/母親/女子/大学]
- 混乱する時に受験生となること。[鳥取県/母親/女子/大学]
- 大学入学共通テストがまだ、はっきり決ってないこと。
[愛知県/母親/男子/大学]
- 「大学入学共通テスト」と英語資格試験について、まだはっきりとわからないことが多すぎる。準備期間も少なすぎる。
[青森県/母親/女子/大学]
- 大学入学共通テストの記述式問題の採点の公平性について
[青森県/母親/男子/大学]
- 民間の英語資格の利用すること。もっと準備期間を設けてほしい
[山梨県/母親/男子/大学]
- 英語の外部資格試験。公平性に疑問。
[鳥取県/母親/男子/何でもいい]
- 民間実施の英語資格試験について、地方の学生の負担が大きい。時期尚早、検討の余地かなりあり。
[青森県/母親/女子/何でもいい]
- 英語の教育がきちんとできていないのに、民間試験を導入していくのは、どうかと思う。
[愛知県/母親/女子/大学]
- 入試に関してはとにかくわかりにくい。知らなかったために間に合わなかった、受けられなかった等ありそうで不安。
[東京都/母親/女子/専門職大学]
- 具体的でなく、漠然としすぎていてよくわからないので不安です。
[青森県/母親/男子/大学]
- 教育改革の内容が入試と英語資格試験の情報に偏りすぎていて、本質が見えない。
[青森県/母親/女子/何でもいい]

38.高校での教育改革への対応状況

▶ **高校生の38%、保護者の24%が、通っている高校が教育改革への対応を行っていると感じている。**

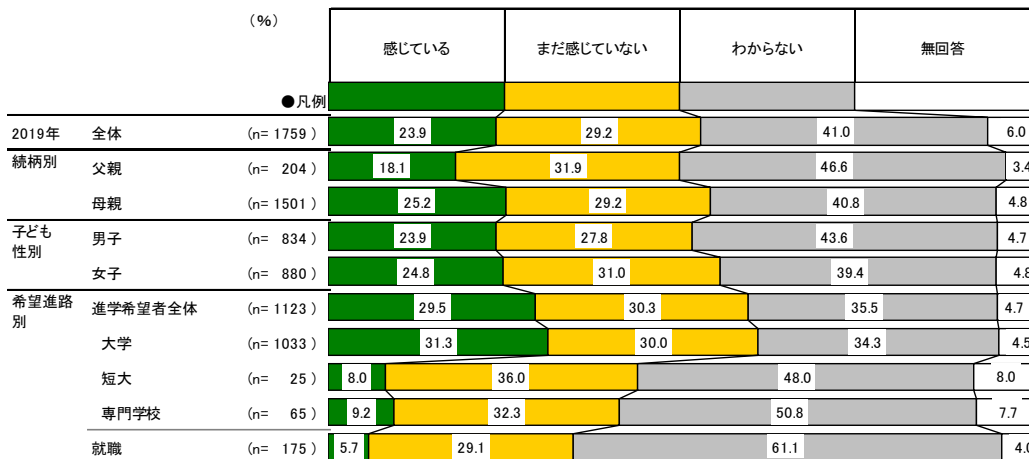
- 通っている高校が教育改革への対応を行っていると感じるかどうかと尋ねたところ、高校生の38%が「感じている」と回答。「まだ感じていない」が26%、「わからない」が33%。
- 性別にみると、女子は男子に比べて「感じている」がわずかに高い。
- 希望進路別にみると、進学希望者全体は就職希望者に比べて「感じている」が高い。
- 同様に保護者にも、子どもが通っている高校が教育改革への対応を行っていると感じるかどうかと尋ねたところ、24%が「感じている」と回答。
- 続柄別にみると、母親が父親に比べて「感じている」が高い。
- 子どもの性別にみると、大きな差異はみられない。
- 希望進路別にみると、進学希望者全体は就職希望者に比べて「感じている」が高い。

【高校生】 通っている高校は教育改革への対応を行っていると感じているか（全体／単一回答）



38 Kh Q28

【保護者】 子どもが通っている高校は教育改革への対応を行っていると感じているか（全体／単一回答）

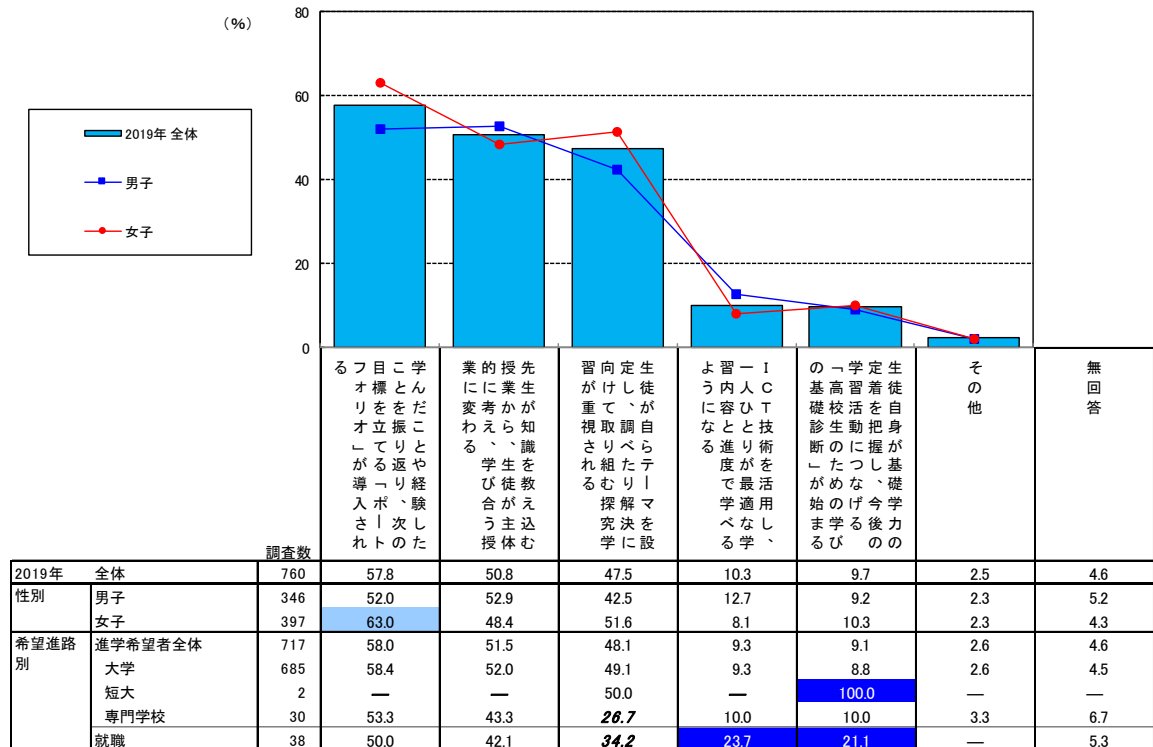


38 Hh Q24

- ▶通っている高校での教育改革の取り組み内容のトップは、「ポートフォリオ導入」。
- ①学んだことや経験したことを振り返り、次の目標を立てる「ポートフォリオ」が導入される **58%**
 - ②先生が知識を教え込む授業から、生徒が主体的に考え、学び合う授業に変わる **51%**
 - ③生徒が自らテーマを設定し、調べたり解決に向けて取り組む探究学習が重視される **48%**

- 通っている高校が教育改革への対応を行っていると感じている高校生に、その取り組み内容を尋ねたところ、回答上位は上記の通り。
- 性別にみると、女子は男子に比べて「ポートフォリオ導入」「探究学習」が高い。
- 希望進路別にみると、進学希望者全体は就職希望者に比べて全体の上位3項目が高い。
一方、就職希望者は、「ICT技術活用」「高校生のための学びの基礎診断」が進学希望者全体に比べて高い。

【高校生】通っている高校での教育改革への取り組み内容（対応を行っていると感じている）／複数回答）



※「2019年全体」降順ソート

100.0 「2019年全体」より10ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い
 100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

▶子どもが通っている高校での教育改革の取り組み内容のトップは、“探究学習”。

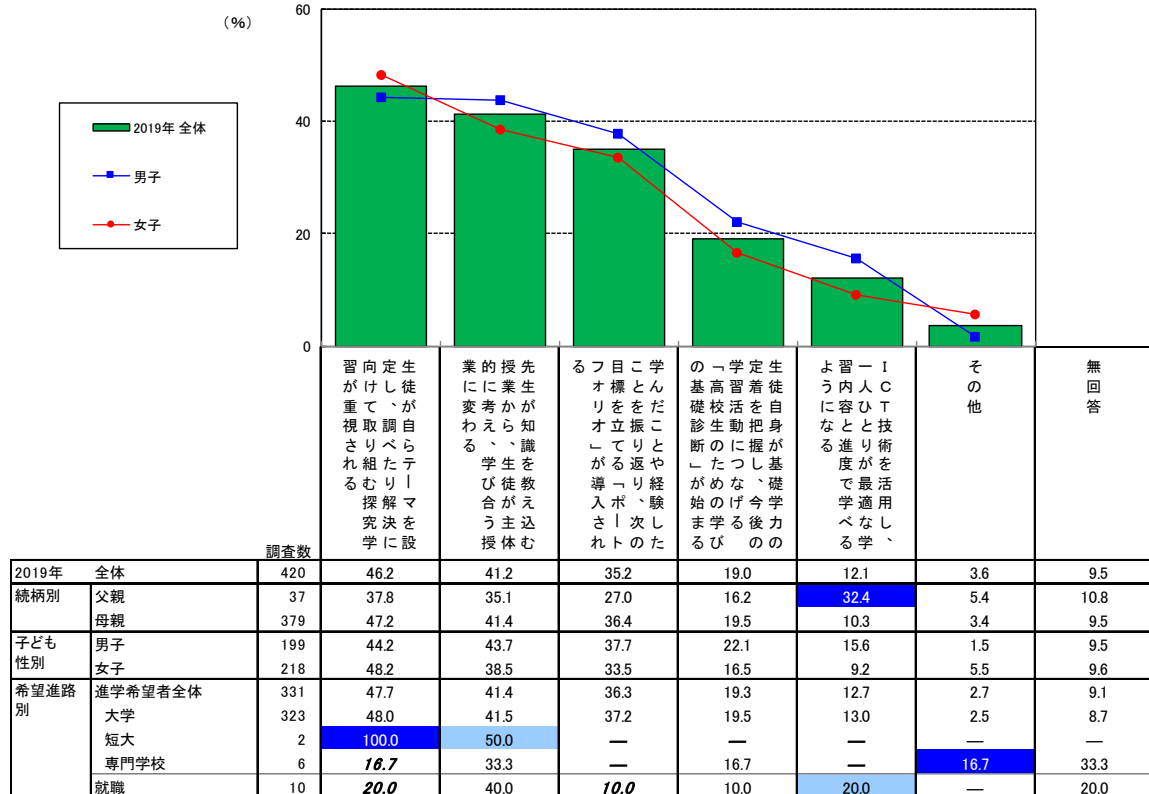
- ①生徒が自らテーマを設定し、調べたり解決に向けて取り組む探究学習が重視される 46%
- ②先生が知識を教え込む授業から、生徒が主体的に考え、学び合う授業に変わる 41%
- ③学んだことや経験したことを振り返り、次の目標を立てる「ポートフォリオ」が導入される 35%

●子どもが通っている高校が教育改革への対応を行っていると感じている保護者に、その取り組み内容を尋ねたところ、回答上位は上記の通り。上位3項目の顔ぶれは同じだが、高校生では3位の“探究学習”がトップなど、順位が異なる。

●続柄別にみると、父親は母親に比べて“ICT技術”が高い。その他の項目は、母親が父親を上回る。

●子どもの性別にみると、男子は女子比べて”学び合う授業”“高校生のための学びの基礎診断”“ICT技術”が高い。

【保護者】子どもが通っている高校での教育改革への取り組み内容（対応を行っていると感じている）／複数回答



※「2019年全体」降順ソート

100.0 「2019年全体」より10ポイント以上高い
100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い
100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

Ⅶ 学校・教師への要望

39. 家庭と学校の役割に関する認識

▶ 保護者は、高校生の教育について「働く意義について教える」「将来の目標を持たせる」のは家庭の役割、「学力をつける」「人間関係を築く力をつける」のは学校の役割と認識。

● 高校生の教育に関する11項目を呈示し、それぞれ「家庭」「学校」「その他」のうち誰の役割なのか該当すると思うものを項目ごとに選んでもらい、回答状況を分類した。

● 「家庭のみ」の役割は、「働く意義について教える」「将来の目標を持たせる」が半数近く。

- ① 働く意義について教える (53%)
- ② 将来の目標を持たせる (47%)
- ③ 長所や個性を見つけて伸ばす (41%)

● 「家庭と学校」両方が担うのは、「進路選択に迷った時相談にのる」「社会のルールを教え、マナーを身につける」「長所や個性を見つけて伸ばす」が3～4割。家庭と学校との連携を期待する回答が多い一方で、「長所や個性を見つけて伸ばす」は「家庭のみ」とする回答が4割を占めており、保護者によって認識が分かれる。

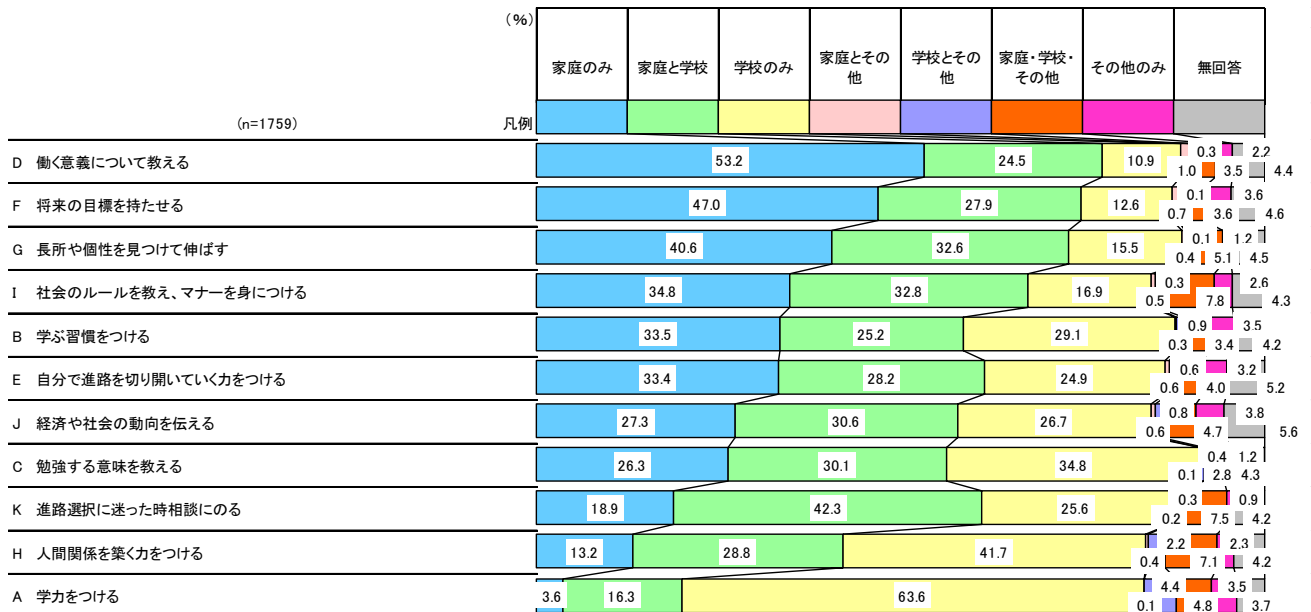
- ① 進路選択に迷った時相談にのる (42%)
- ② 社会のルールを教え、マナーを身につける (33%)
- ③ 長所や個性を見つけて伸ばす (33%)

● 「学校のみ」の役割は、「学力をつける」が64%。

「人間関係を築く力をつける」「勉強する意味を教える」も3～4割。学力に加え人間関係構築についての指導も期待されている。

- ① 学力をつける (64%)
- ② 人間関係を築く力をつける (42%)
- ③ 勉強する意味を教える (35%)

【保護者】高校生に対する役割（全体／「家庭の役割」「学校の役割」「その他の役割」回答組合せ各単一回答）



※「家庭のみ」のスコアで降順ソート

39 Hh Q31S

40.進路指導への要望

▶高校の進路指導に対する高校生の要望は、「もっと進路に関する情報提供をしてほしい」。

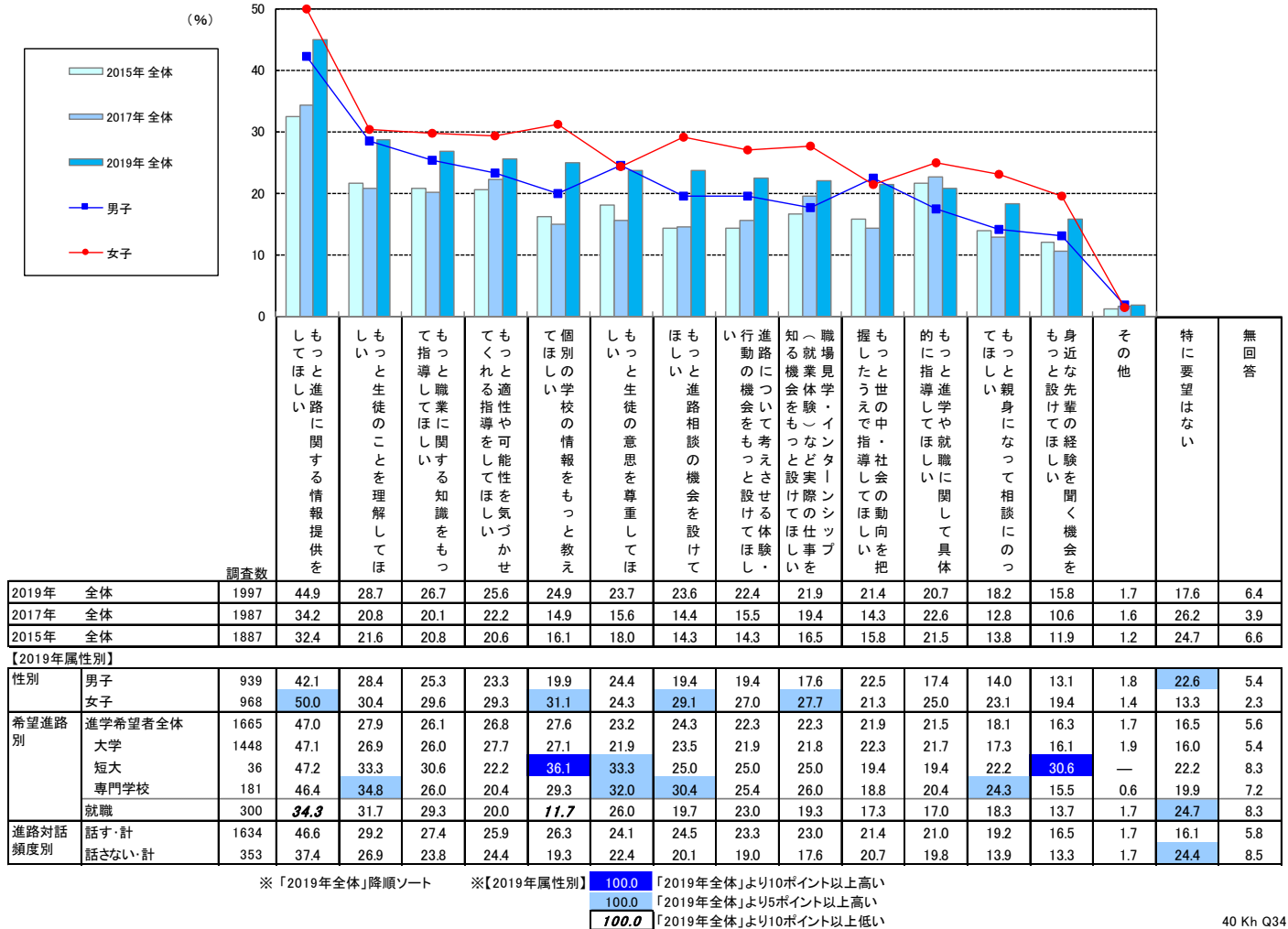
- ①もっと進路に関する情報提供をしてほしい (45%)
- ②もっと生徒のことを理解してほしい (29%)
- ③もっと職業に関する知識をもって指導してほしい (27%)
- ④もっと適性や可能性を気づかせてくれる指導をしてほしい (26%)
- ⑤個別の学校の情報をもっと教えてほしい (25%)

●高校の進路指導について要望することを高校生に選んでもらったところ、回答は上記の通り。情報提供および生徒個人の資質・適性を踏まえた具体的な指導を要望。

●性別にみると、女子は2位が「個別の学校の情報をもっと教えてほしい」。男子に比べて1位「もっと進路に関する情報提供をしてほしい」のスコアも高く、進路の情報提供の要望が男子に比べて強いようだ。男子は4位に「もっと生徒の意思を尊重してほしい」がランクイン。

●フリーコメントでは、「1対1の進路相談」「大学だけでなく専門学校や就職についても教えてほしい」が挙がっており、個々の生徒に向き合った指導をしてほしいという要望がうかがわれる。またここでも「新入試制度」の不安に関するコメントが挙がった。

【高校生】 高校の進路指導について要望すること（全体／複数回答）



40 Kh Q34

<フリーコメント> 高校や教師に対する意見や要望【高校生】

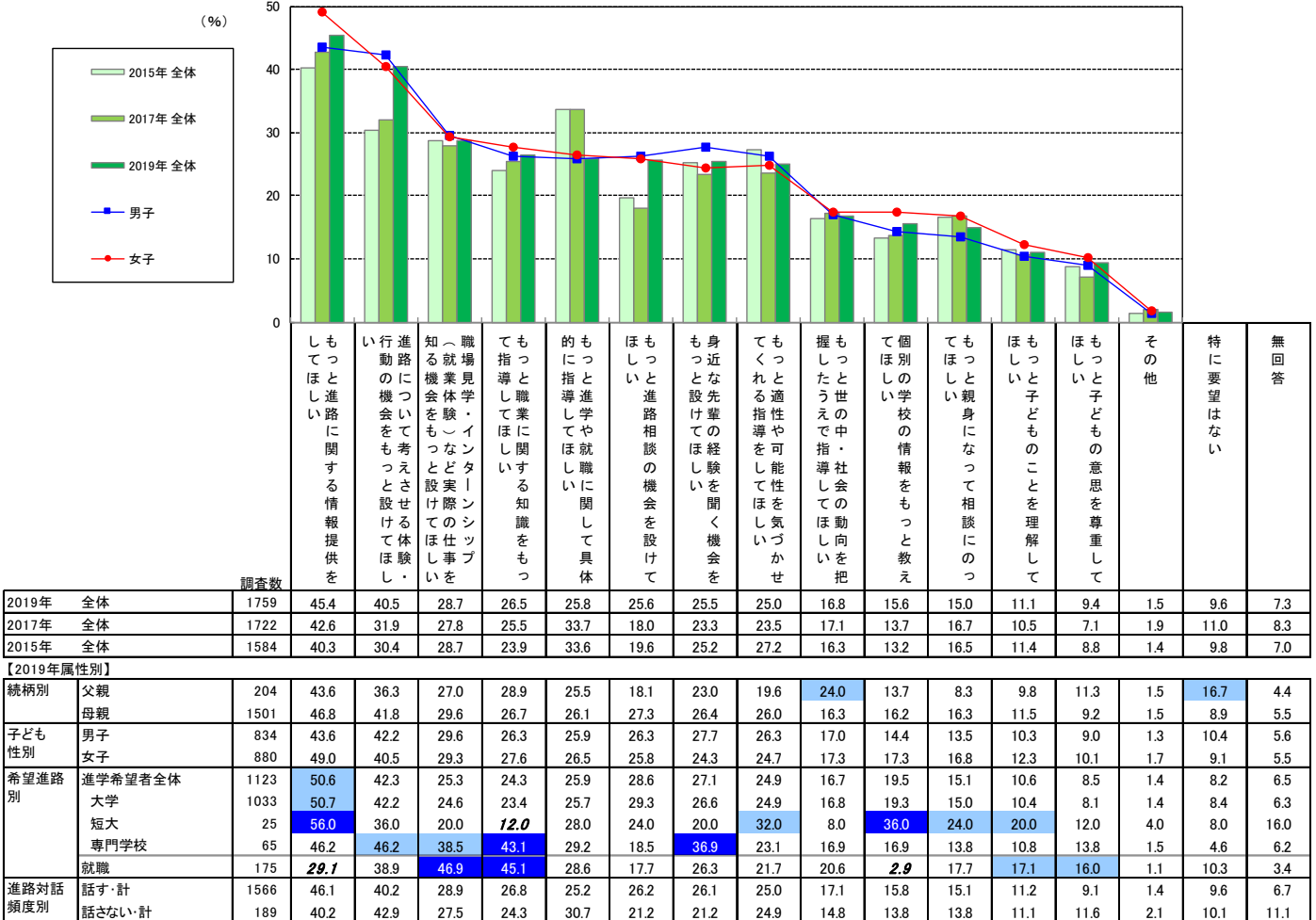
- 1対1の進路相談を増やしてほしい。[愛知県/男子/大学]
- とりあえず国立みたいな雰囲気を出してほしいです。
[東京都/男子/大学]
- 普通科でも、大学だけでなく専門学校や就職についても教えてほしい。
[鳥取県/女子/専門学校]
- もっと分かりやすい説明をしてほしい。オープンキャンパス等に行く機会を設けてほしい。[山梨県/女子/大学]
- 新入試について先生方も分かっていらないようでものすごく不安です。こんなので私たちの大学入試大丈夫なんでしょうか。
[北海道/女子/大学]

▶ 高校の進路指導に対する保護者の要望も、「もっと進路に関する情報提供をしてほしい」。

- ①もっと進路に関する情報提供をしてほしい (45%)
- ②進路について考えさせる体験・行動の機会をもっと設けてほしい (41%)
- ③職場見学・インターンシップなど実際の仕事を知る機会をもっと設けてほしい (29%)
- ④もっと職業に関する知識をもって指導してほしい (27%)
- ⑤もっと進学や就職に関して具体的に指導してほしい (26%)

- 保護者にも、高校の進路指導について要望することを選んでもらったところ、回答は上記の通り。高校生と同様、トップは「もっと進路に関する情報提供をしてほしい」。
- 高校生に比べ「進路について考えさせる体験・行動の機会」「職場見学・インターンシップなど実際の仕事を知る機会」が上位に挙がり、保護者は進路・職業を知る体験・実習の機会への要望が多い。
- 希望進路別にみると、進学希望者全体は、「もっと進路に関する情報提供をしてほしい」、就職希望者は「職場見学・インターンシップなど実際の仕事を知る機会をもっと設けてほしい」がそれぞれトップ。
- フリーコメントでも、職場見学や将来の職業とのつながりのアドバイスなど、将来を見据えてのアドバイスや、子どもの適正・将来の夢にあわせた指導を行ってほしいなどの要望が挙げられている。

【保護者】 高校の進路指導について要望すること (全体/複数回答)



※「2019年全体」降順ソート ※「2019年属性別」
100.0 「2019年全体」より10ポイント以上高い
100.0 「2019年全体」より5ポイント以上高い
100.0 「2019年全体」より10ポイント以上低い

40 Hh Q32

<フリーコメント> 高校や教師に対する意見や要望【保護者】

- 会社側の職業見学会・体験会の増設。[北海道/母親/女子/大学]
- 仕事の経験のためだけでなく、社会で関わる勉強のため、バイトなど有効と思う。[熊本県/母親/男子/就職]
- 将来の職業に対して、大学での学部が多岐にわたり、わかりにくい。保護者としては、その辺りをアドバイスして欲しい。[東京都/母親/女子/大学]
- 子供がやりたい事と適性を見て、指導してほしい。[青森県/母親/女子/大学]
- 子供の将来の夢をきちんと聞いて方向性を教えてあげてほしい。[青森県/母親/男子/何でもいい]
- 新しい入試制度についてもっと詳しい説明と子どもに情報を知らせて欲しい。[東京都/母親/女子/大学]